

令和 6 年度北谷町観光動向分析調査業務

報 告 書

令和 7 年 2 月

北谷町 観光課

令和6年度北谷町観光動向分析調査業務

報 告 書

《目 次》

1 章	業務概要	1
1-1	事業の目的・概要	2
1-2	業務実施フロー	2
2 章	観光統計調査の整理	4
2-1	観光統計資料の整理	5
3 章	国内・国外観光客に係る調査	25
3-1	分析に使用する GPS データの概要	26
3-2	分析結果	31
4 章	観光客満足度・消費動向調査	74
5-1	調査企画	75
5-2	調査結果	81
5-3	調査分析	82
5 章	口コミデータによる観光課題の抽出	110
5-1	分析に使用するデータの概要	111
6 章	観光消費による経済波及効果の把握	119
6-1	経済波及効果の推計	120
6-2	経済波及効果の推計結果	128
7 章	調査結果の利活用に向けた成果報告会の開催	142
7-1	中間報告会	143
7-2	最終報告会	146

1 章 業務概要

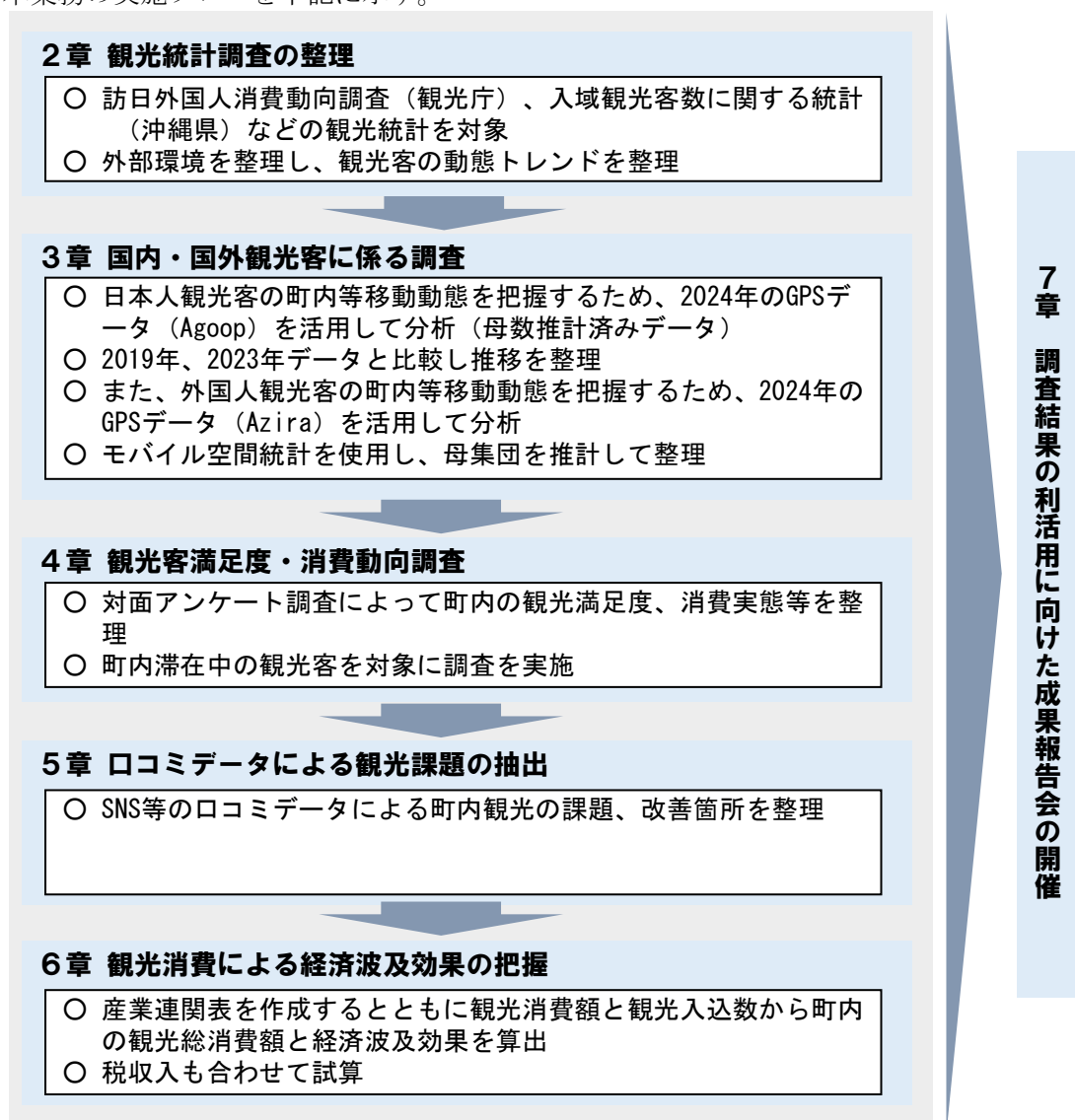
本章では、調査事業の全体概要、結果総括を整理している。

1-1 事業の目的・概要

本業務は、本町における観光統計データの収集、整理、分析を行うことで、本町の観光統計データを整備し、当該データを基に既存の観光振興施策の改善や新規観光振興施策の立案へと繋げることで、効果的な観光振興施策を実施するものである。また、本町の観光関連事業者も活用できる観光統計データとすることでその事業発展に資し、本町と観光関連事業者が一体となってより質の高い観光地形成を図り、本町の観光振興に寄与することを目的とする。

1-2 業務実施フロー

本業務の実施フローを下記に示す。



*過去の調査結果との比較は、3章、4章内で経年変化を整理している。

1-3 調査結果の総括

日本における観光客数の推移については、新型コロナウイルス感染症からの回復が見られており、日本人の国内延べ旅行者は、コロナ禍では半減し顕著な落ち込みを見せたが、2022 年以降は回復傾向が続きコロナ前水準に近づきつつある。

訪日外国人観光客に至っては、2023 年以降は急激な回復を見せ、2024 年はコロナ前よりも多い 4 千万人手前の過去最高水準の人数を記録している。

沖縄県においては、国内客は、今年約 750 万人を記録しており、コロナ前を上回る結果となった。一方、外国人客数はコロナ前水準を上回っておらず、全国的な回復の程度より小さい。ただし、宿泊旅行統計調査（観光庁）では、沖縄県の宿泊者数は、実人数、延べ人数ともに 2023 年よりも減少傾向にある。

人流ビッグデータで北谷町内の観光客数をみると、2024 年の観光客の実人数は 3,185,418 人であり、県内観光客は 479,335 人（15%）、県外観光客は 1,889,424 人（59%）、訪日外国人観光客は 816,659 人（26%）となっている。延べ人数は 4,000,047 人であり、県内観光客は 519,696 人（13%）、県外観光客 2,322,741 人（58%）、訪日外国人観光客は 1,157,638 人（29%）となっている。

2024 年の北谷町に宿泊した観光客の実人数は 620,441 人であり、県内観光客は 15,810 人（3%）、県外観光客は 312,584 人（50%）、訪日外国人観光客は 292,047 人（47%）となっている。また、北谷町に宿泊した観光客の延べ人数（人泊数）は 864,501 人であり、県内観光客は 15,810 人（2%）、県外観光客は 410,561 人（47%）、訪日外国人観光客は 435,395 人（50%）となっている。

県外観光客数の推移をみると、実人数は、2019 年で約 165 万人から 2023 年で約 219 万人、2024 年で約 189 万人と推移している。延べ人数は、2019 年で約 210 万人から 2023 年で約 256 万人、2024 年で約 232 万人と推移しており、実人数、延べ人数ともに減少傾向となっている。昨年からの町内観光客数の減少傾向については、おきなわ観光地域カルテ（OCVB）も同様の傾向を示している。今年度実施した観光客アンケートでは、沖縄県観光の滞在日数が減少傾向にあるため、北谷町の来訪が減少している可能性がある。

観光客アンケートをみると、町内観光の満足度は昨年度同様に高いものとなっているが、昨年度同様に「情報サービス」の満足度は他の項目と比較して相対的に低くなっている。また、ネット・プロモート・スコアは昨年度よりも向上しており、おすすめ度合いが高まっている。

一方、観光消費額は減少傾向にあり、旅行支援割の反動、物価高による消費マインドの低下の影響を受けている可能性が高い。

北谷町の産業連関表を作成し、経済波及効果を試算した。令和 6 年の総観光消費額は、440 億 32 百万円となっており、観光消費がもたらす経済波及効果は、総額で 478 億 76 百万円となっている。経済波及効果を総観光消費額で除して求める波及倍率は、1.09 となっている。また、経済波及効果に伴う雇用誘発数は、5,106 人となっており、税収誘発額は、5 億円となっている。

北谷町の町内総生産のうち、観光消費がもたらす経済波及効果は約 26%を占めており、那覇市と比較しても大きな割合を占めている。

2章 観光統計調査の整理

本章では、観光の外部環境として国、県の観光に関する各種統計等のデータを経年で整理し、観光動向を把握している。

2-1 観光統計資料の整理

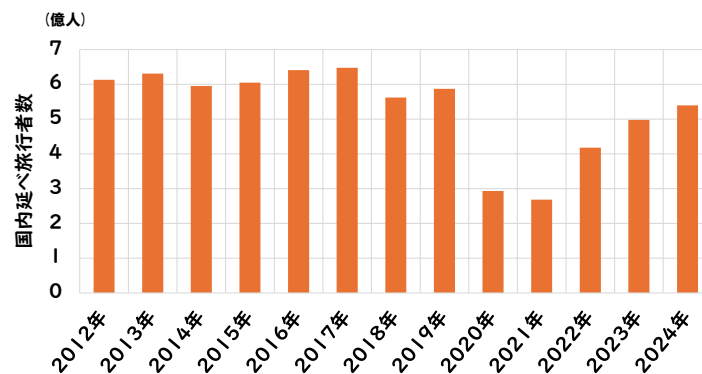
ここでは既存の観光統計調査を用いて、日本全国、沖縄県、北谷町における観光の現状を把握し、外部環境の整理を行う。

(1) 全国における日本人観光客の動向

日本人の国内延べ旅行者（図2-1）は、コロナ前までは概ね年間6億人の国内旅行者がおり横ばいであったが、コロナ禍では半減し、顕著な落ち込みを見せた。しかし、2022年以降は回復傾向が続きコロナ前水準に近づきつつある。

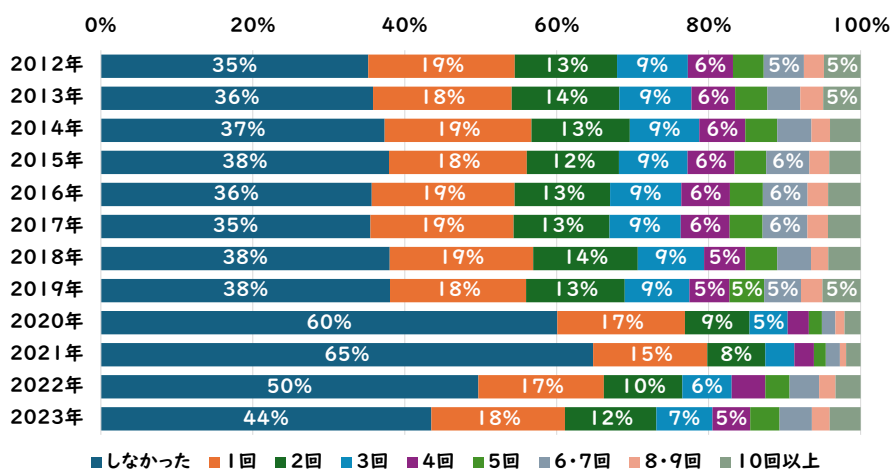
旅行回数の構成（図2-2）をみると、コロナ前までは宿泊旅行する人が6割程度いたが、コロナ禍では構成が4割程度となった。また、日帰り旅行の構成（図2-3）においても、コロナ禍では日帰り旅行しなかった人が75%まで上昇した。しかし、2023年値ではコロナ前水準より6～7%程度旅行する人が少なくなっているため、日本人の国内延べ旅行者数の傾向と同様、観光需要が回復途中にあると考えられる。

品目別旅行消費額（図2-4、図2-5）をみると、宿泊旅行では旅行消費額が高く、各品目で日帰り旅行の2～3倍程度高い傾向にある。年推移では、宿泊・日帰り旅行ともに2020、2021年で各品目の消費額が半減したが、2022年以降は回復傾向にある。なお、旅行者数や旅行回数と同様、コロナ前水準には至っていない。



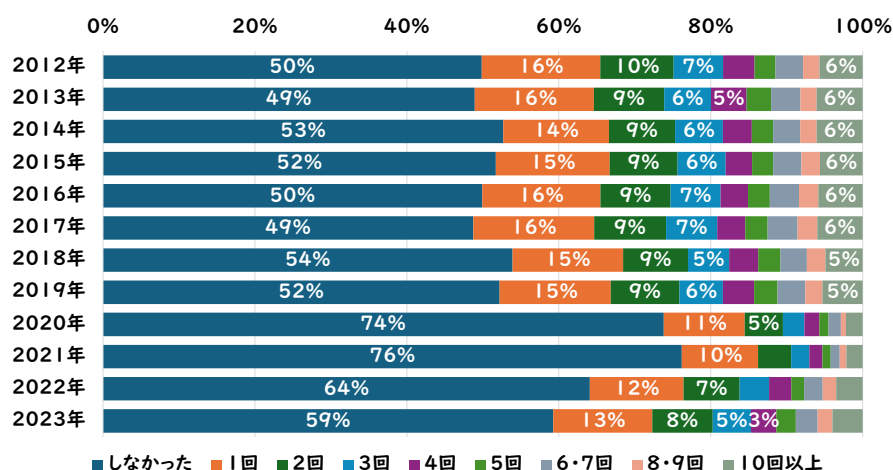
出典) 旅行・観光消費動向調査【観光庁】
* 2024年10～12月期間の数値のみ速報値を利用

図2-1 日本人国内旅行延べ旅行者数の推移



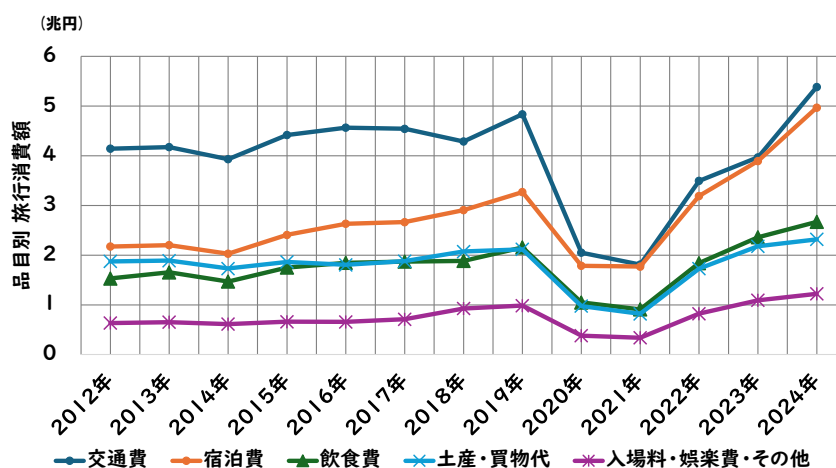
出典) 旅行・観光消費動向調査【観光庁】
* 5%以上のみ数値を表記

図2-2 日本人国内宿泊旅行者の旅行回数



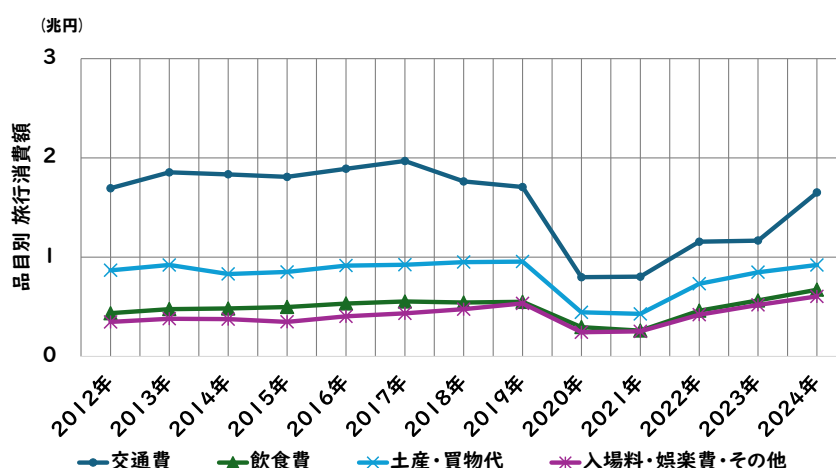
出典) 旅行・観光消費動向調査【観光庁】
* 5 %以上のみ数値を表記

図2-3 日本人国内日帰り旅行者の旅行回数



出典) 旅行・観光消費動向調査【観光庁】
* 2024 年 10～12 月期間の数値のみ速報値を利用

図2-4 日本人国内宿泊旅行者の品目別旅行消費額



出典) 旅行・観光消費動向調査【観光庁】
* 2024 年 10～12 月期間の数値のみ速報値を利用

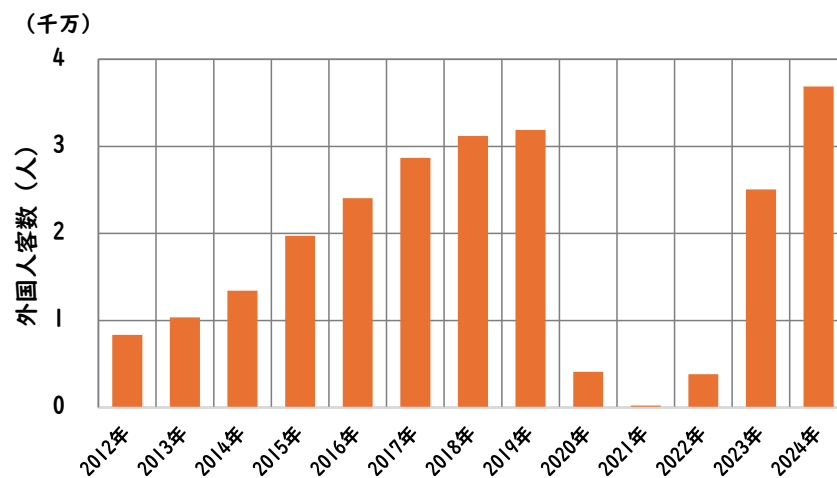
図2-5 日本人国内日帰り旅行者の品目別旅行消費額

（２）全国における訪日外国人観光客の動向

訪日外客数（図２－６）は、2012年から2019年まで年々増加しており2019年時では3千万人を記録していたが、新型コロナウイルス蔓延にともなう入国規制により、2020～2022年は大幅に減少した。しかし、2023年以降は急激な回復を見せ、2024年は4千万人手前の過去最高水準の人数を記録した。

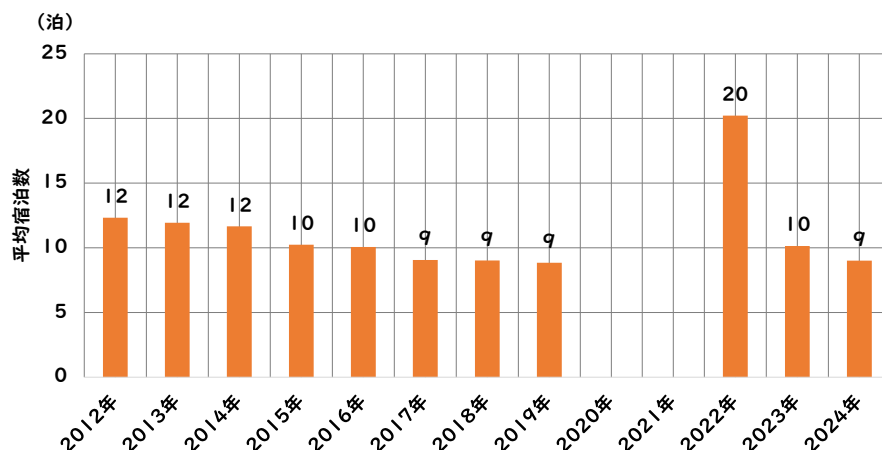
訪日外国人の平均宿泊数（図２－７）はコロナ前水準と同等の9泊程度となっており、国別（図２－８）にみてもコロナ前後で大きな変化はない。

品目別の1人1回あたりの旅行消費単価（図２－９）では、近年（2022年以降）高い状態が続いており物価、宿泊料金の高騰が背景として考えられる。なお、品目別の傾向としては、宿泊料金が最も高く、次いで買い物代が続く。



出典）訪日外客統計【日本政府観光局】

図２－６ 訪日外客数

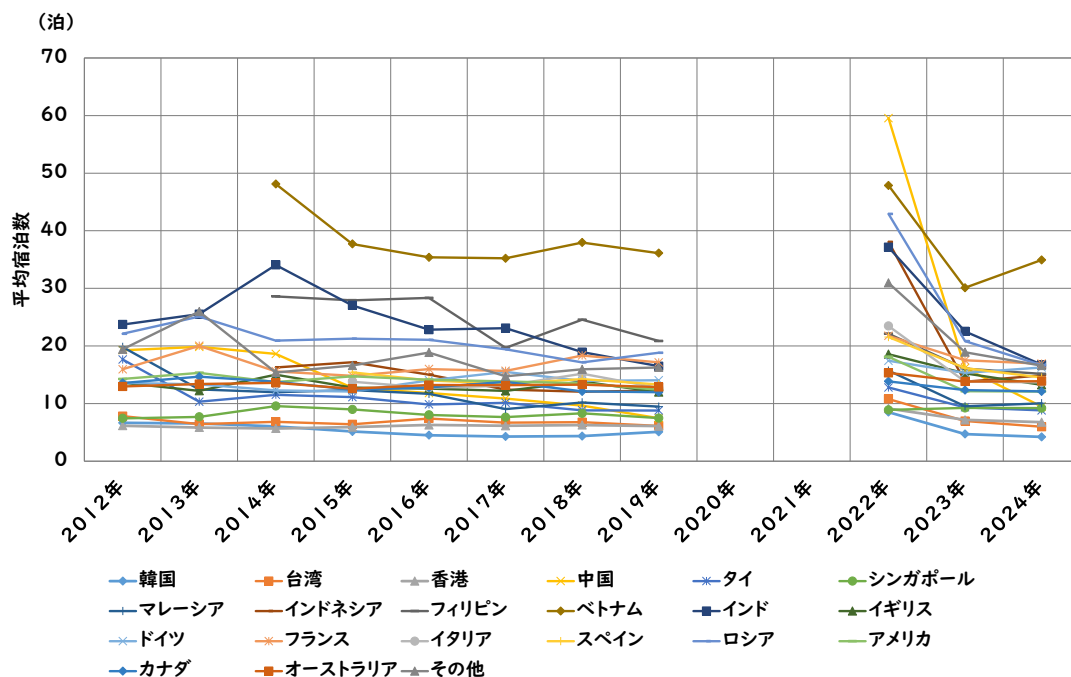


出典）インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）【観光庁】

* 2020、21年は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した月があるため集計から除外

* 2024年は1～9月の数値は2次速報、10～12月期間の数値は1次速報の結果を用い集計

図２－７ 平均宿泊数

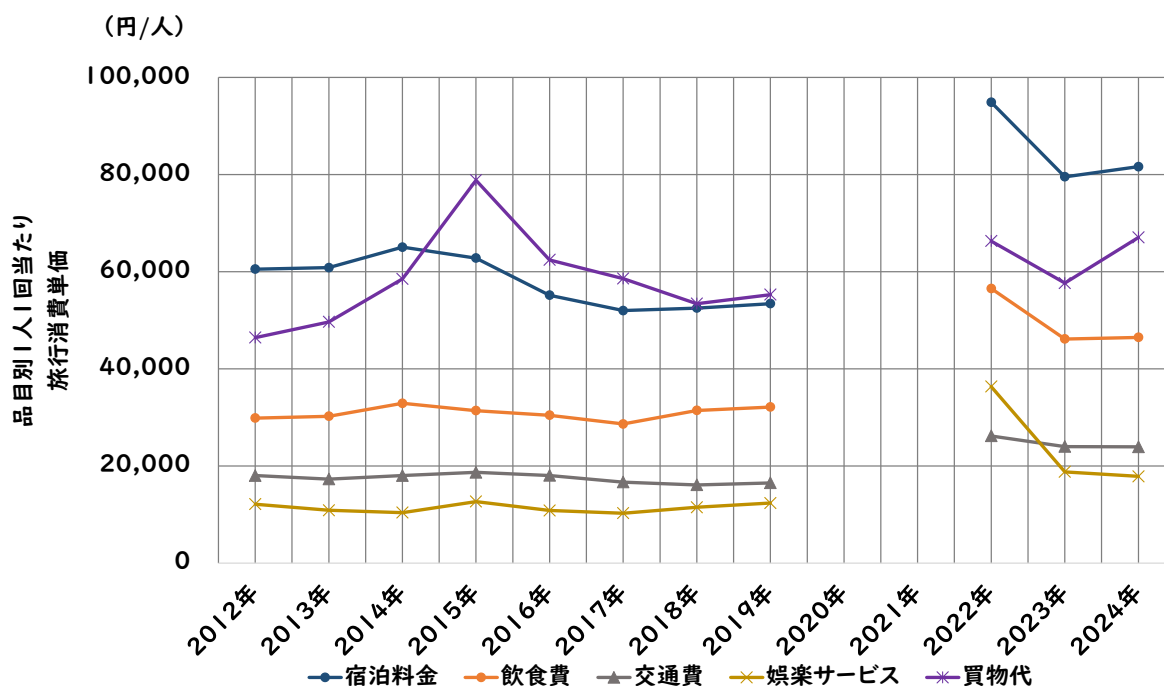


出典) インバウンド消費動向調査(旧訪日外国人消費動向調査)【観光庁】

* 2020、21 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した月があるため集計から除外

* 2024 年は 1～9 月の数値は 2 次速報、10～12 月期間の数値は 1 次速報の結果を用い集計

図 2-8 国・地域別の平均宿泊数



出典) インバウンド消費動向調査(旧訪日外国人消費動向調査)【観光庁】

* 2020、21 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した月があるため集計から除外

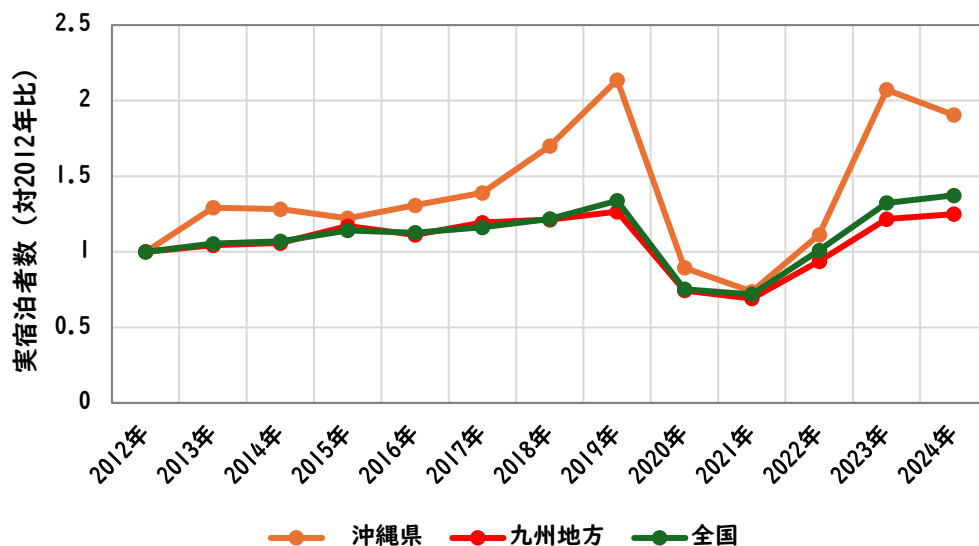
* 2024 年は 1～9 月の数値は 2 次速報、10～12 月期間の数値は 1 次速報の結果を用い集計

図 2-9 品目別 1 人 1 回当たりの旅行消費単価

（３）全国における宿泊旅行の動向

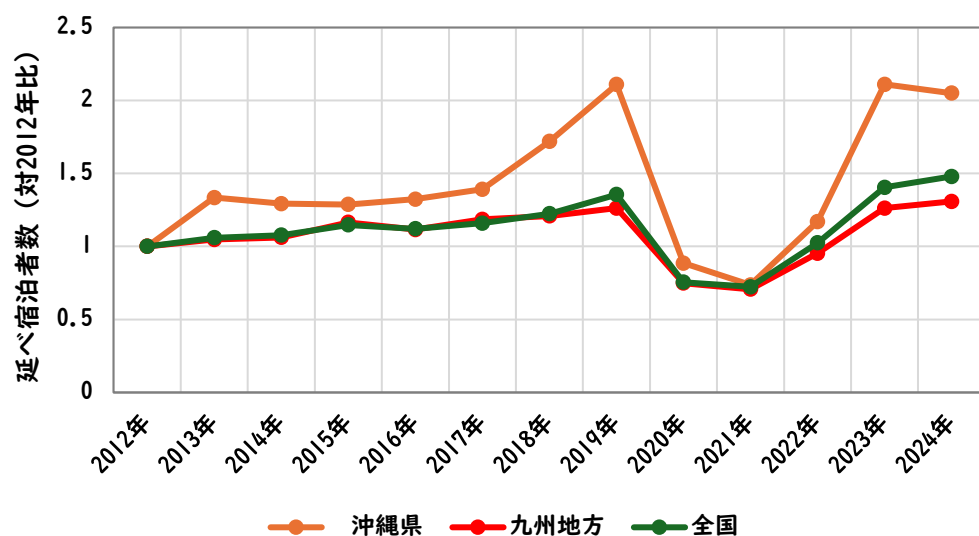
全国的には、国内客及び外国人客を含む実宿泊者数（図２－１０）・延べ宿泊者数（図２－１１）ともに 2012 年値から横ばいもしくは微増となる変化をしてきたが、コロナ禍では減少に転じた。しかし、2022 年以降は回復してきており、2024 年はコロナ前水準と同等の結果となった。

一方、沖縄県ではコロナ前までに急激な宿泊者増加が見られた。また、コロナ禍からの回復も顕著であり、昨年度にコロナ前水準にもどっている。



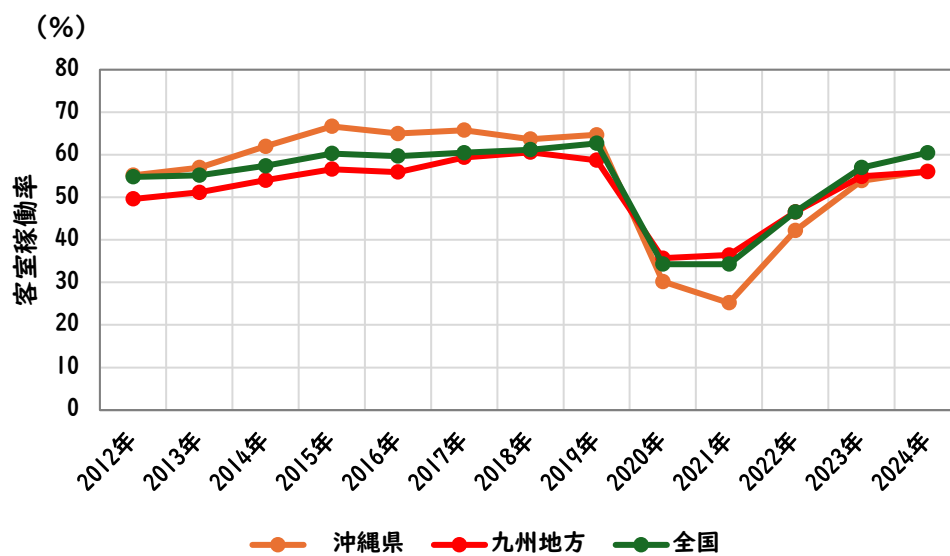
出典）宿泊旅行統計調査【観光庁】
* 2024 年値は 2 次速報値を利用し集計

図 2－10 実宿泊者数の推移



出典）宿泊旅行統計調査【観光庁】
* 2024 年値は 2 次速報値を利用し集計

図 2－11 延べ宿泊者数の推移

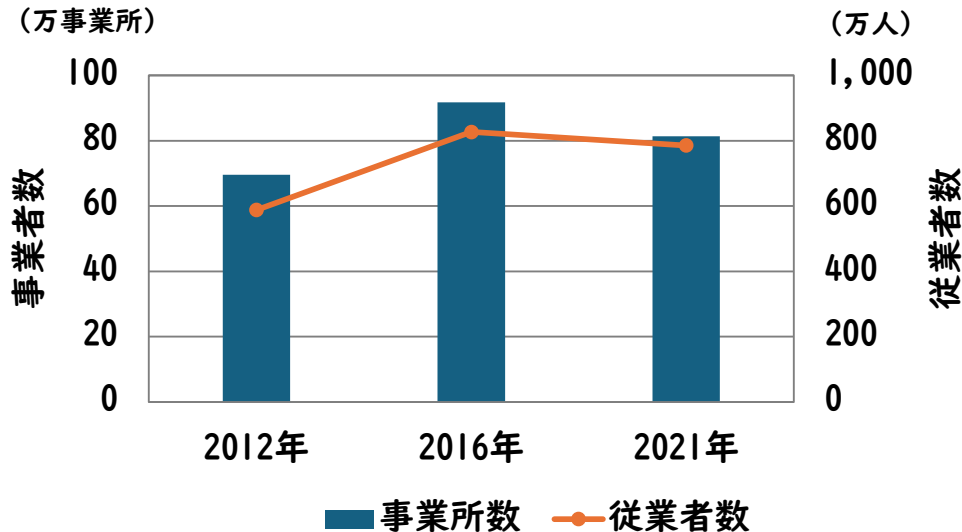


出典) 宿泊旅行統計調査【観光庁】
 * 2024 年値は 2 次速報値を利用し集計

図 2 - 12 客室稼働率の推移

（４）全国における経済活動の動向

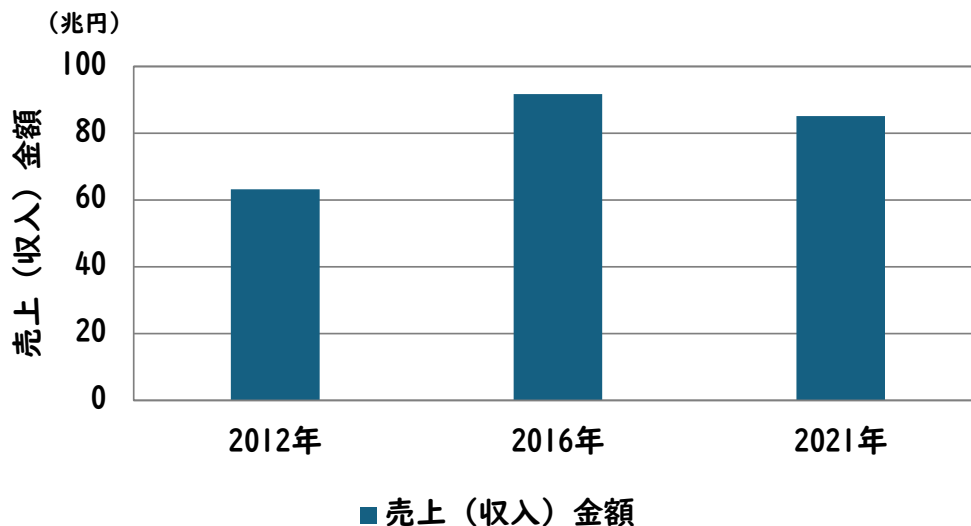
事業所数、従業者数、売上金額（図２－13、図２－14）は、2012年から2016年で増加しているが、2021年で大きく減少した。事業所数では2016年の0.89倍、従業者数では2016年の0.95倍、売上金額では2016年の0.93倍である。



出典）経済センサス活動調査【経済産業省】

※外国の会社及び法人でない団体を除く

図２－13 日本全国の事業者数と従業者数の推移



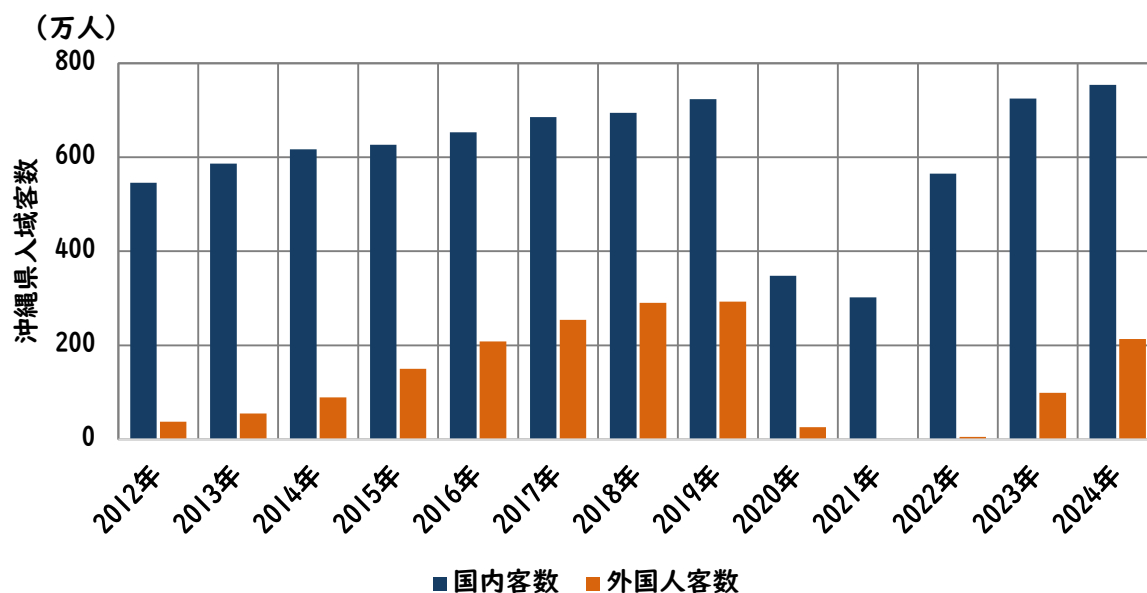
出典）経済センサス活動調査【経済産業省】

※外国の会社及び法人でない団体を除く

図２－14 日本全国の売上金額

(5) 沖縄県における入域観光客数の推移

沖縄県へ来た国内客・外国人客（図2-15）は全国的な傾向と同様、2020、2021年にコロナ禍で減少して以降、回復傾向が続いてきた。国内客に関しては、今年約750万人を記録しており、コロナ前を上回る結果となった。一方、沖縄県における外国人客数はコロナ前水準を上回っておらず、全国的な回復の程度より小さい。

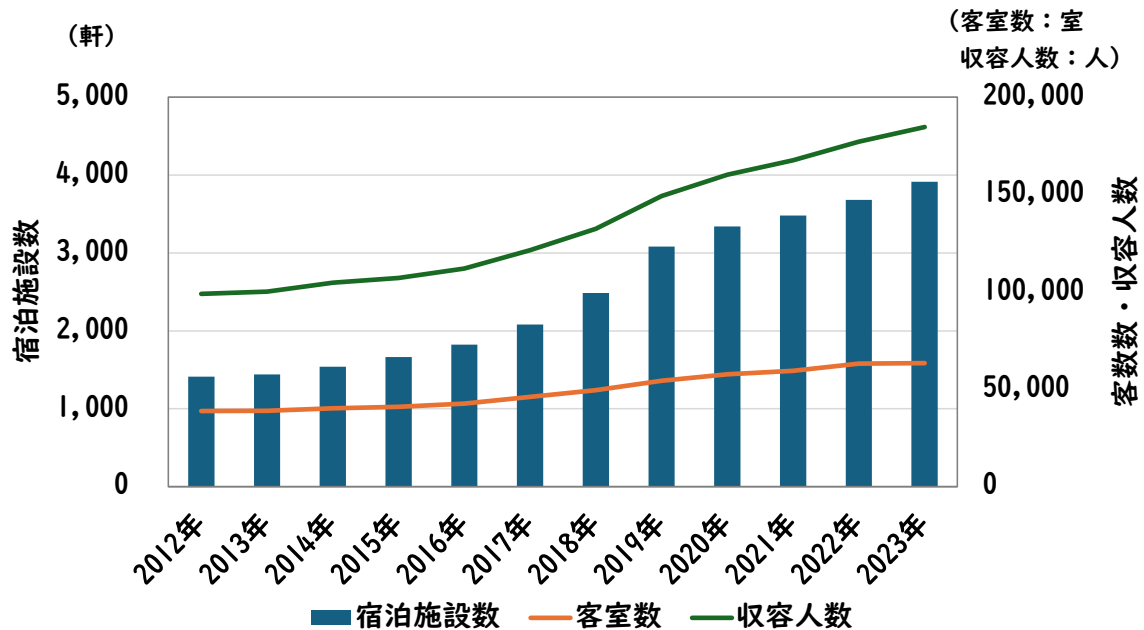


出典) 沖縄県入域観光客統計【沖縄県】

図2-15 沖縄県へ来訪する国内客数・外国人客数の推移

（６）沖縄県における宿泊施設の推移

沖縄県における宿泊施設数・客室数・収容人数（図２－１６）は年々増加傾向であり、2023年では、宿泊施設数が3,914軒、客室数が63,497室、収容人数が184,732人である。このような宿泊施設の増加に伴い宿泊者も増加してきたと考えられる。次頁では沖縄県の市町村別宿泊施設数、客室数、収容人数（表２－１）を示す。



出典）宿泊施設実態調査【沖縄県】

図２－１６ 沖縄県の宿泊施設数・客室数・収容人数の推移

表2-1 沖縄県の市町村別宿泊施設数・客室数・収容人数の推移

地域	市町村	年	宿泊施設数	客室数	収容人数	地域	市町村	年	宿泊施設数	客室数	収容人数	地域	市町村	年	宿泊施設数	客室数	収容人数
南部	那覇市	2012	176	14,633	28,564	中部	沖縄市	2012	17	655	1,400	北部	北中城村	2012	4	338	651
		2013	177	14,433	28,080			2013	16	652	1,392			2013	4	338	651
		2014	181	14,543	28,711			2014	17	653	1,389			2014	4	317	611
		2015	197	15,018	29,945			2015	23	692	1,466			2015	6	337	658
		2016	219	15,857	32,033			2016	26	705	1,580			2016	6	340	684
		2017	271	17,574	35,976			2017	40	886	1,973			2017	6	340	686
		2018	350	18,507	38,240			2018	53	958	2,162			2018	9	343	689
		2019	446	19,917	43,712			2019	93	1,242	3,487			2019	11	384	818
		2020	430	20,601	45,656			2020	83	1,239	3,399			2020	12	419	1,013
		2021	437	20,533	46,438			2021	82	1,308	4,001			2021	12	413	1,017
		2022	459	22,476	50,937			2022	86	1,347	4,085			2022	12	413	1,017
		2023	474	22,258	52,638			2023	97	1,412	4,387			2023	10	397	1,173
	糸満市	2012	11	534	1,623		宜野湾市	2012	4	524	1,515	中部	中城村	2012	0	0	0
		2013	10	529	1,614			2013	7	533	1,537			2013	0	0	0
		2014	9	515	1,600			2014	9	535	1,548			2014	0	0	0
		2015	9	512	1,596			2015	13	543	1,572			2015	0	0	0
		2016	10	514	1,602			2016	14	552	1,592			2016	0	0	0
		2017	17	629	2,090			2017	22	658	1,818			2017	0	0	0
		2018	17	642	2,152			2018	33	761	2,034			2018	1	24	48
		2019	18	654	2,182			2019	44	805	2,336			2019	1	24	48
		2020	16	649	2,212			2020	48	806	2,373			2020	1	24	48
		2021	15	618	2,021			2021	53	907	2,630			2021	1	24	48
		2022	16	1,061	3,036			2022	54	1,246	3,515			2022	2	26	60
		2023	21	1,116	3,278			2023	47	1,182	3,625			2023	3	28	65
	豊見城市	2012	14	436	882	浦添市	2012	6	54	133	西部	西原町	2012	3	32	49	
		2013	11	426	845		2013	5	32	87			2013	3	32	49	
		2014	11	426	845		2014	7	51	116			2014	3	32	49	
		2015	13	438	871		2015	7	49	109			2015	3	32	49	
		2016	17	443	889		2016	10	55	125			2016	3	32	49	
		2017	21	486	973		2017	15	90	201			2017	4	39	56	
		2018	24	504	1,012		2018	25	113	288			2018	4	34	53	
		2019	26	541	1,107		2019	29	150	466			2019	4	33	49	
		2020	26	557	1,160		2020	26	185	581			2020	4	29	45	
		2021	32	568	1,237		2021	18	159	574			2021	3	27	43	
		2022	33	581	1,288		2022	16	290	969			2022	3	27	43	
		2023	11	343	801		2023	17	250	869			2023	0	0	0	
	八重瀬町	2012	4	68	158	中部	うるま市	2012	45	502	1,654	北部	名護市	2012	35	2,391	6,218
		2013	3	60	138			2013	49	517	1,703			2013	38	2,399	6,665
		2014	5	64	146			2014	47	560	2,000			2014	40	2,429	6,815
		2015	4	63	146			2015	47	562	1,976			2015	43	2,385	6,670
		2016	4	65	154			2016	54	647	2,029			2016	48	2,463	6,903
		2017	7	72	177			2017	68	629	2,215			2017	52	2,607	7,390
		2018	8	73	183			2018	89	715	2,572			2018	67	2,828	8,547
		2019	13	82	232			2019	118	908	3,139			2019	101	3,098	9,033
		2020	16	91	281			2020	101	848	2,834			2020	108	3,234	9,418
		2021	17	101	316			2021	101	878	2,859			2021	109	3,274	9,557
		2022	18	107	328			2022	114	915	2,989			2022	109	3,406	9,901
		2023	19	123	332			2023	136	987	3,331			2023	180	3,511	11,310
	南城市	2012	21	166	743	読谷村	2012	31	1,128	3,496	北部	国頭村	2012	15	336	1,090	
		2013	24	175	759		2013	31	1,140	3,469			2013	17	342	1,105	
		2014	26	181	772		2014	32	1,140	3,467			2014	20	348	1,120	
		2015	29	187	830		2015	37	1,153	3,517			2015	22	352	1,149	
		2016	31	193	894		2016	40	1,213	3,719			2016	24	344	1,127	
		2017	46	309	1,346		2017	54	1,247	3,821			2017	28	352	1,154	
		2018	43	299	1,321		2018	71	1,254	3,840			2018	33	362	1,192	
		2019	68	425	1,590		2019	98	1,366	4,268			2019	35	386	1,312	
		2020	81	459	1,817		2020	109	1,529	4,774			2020	36	387	1,317	
		2021	93	493	2,076		2021	117	1,536	4,895			2021	36	394	1,323	
		2022	101	509	2,151		2022	119	1,538	4,934			2022	44	416	1,380	
		2023	107	420	2,034		2023	135	1,534	5,150			2023	36	391	1,292	
南部	与那原町	2012	4	42	72	嘉手納町	2012	4	28	50	北部	大宜味村	2012	6	16	62	
		2013	4	40	69		2013	3	17	38			2013	10	25	90	
		2014	4	40	69		2014	3	17	38			2014	11	26	100	
		2015	4	40	63		2015	4	19	43			2015	11	26	100	
		2016	5	44	72		2016	5	21	45			2016	13	27	115	
		2017	10	51	100		2017	7	26	56			2017	17	34	136	
		2018	9	43	107		2018	8	27	62			2018	20	37	135	
		2019	9	43	107		2019	9	59	162			2019	23	43	190	
		2020	8	42	101		2020	9	61	190			2020	22	42	181	
		2021	9	45	107		2021	9	64	210			2021	21	41	176	
		2022	9	30	75		2022	9	64	210			2022	23	48	218	
		2023	6	28	68		2023	9	54	149			2023	22	34	197	
	南風原町	2012	0	0	0	北谷町	2012	26	746	2,148	東部	東村	2012	8	52	227	
		2013	0	0	0		2013	24	727	2,153			2013	8	53	229	
		2014	1	4	10		2014	28	1,065	3,402			2014	8	53	229	
		2015	3	8	22		2015	34	1,142	3,653			2015	9	54	233	
		2016	3	8	22		2016	35	1,308	4,035			2016	15	62	265	
		2017	4	10	26		2017	51	1,423	4,365			2017	21	68	309	
2018	4	43	98	2018	99	2,060	6,326	2018	33	84	389						
2019	4	43	98	2019	142	2,217	7,302	2019	39	105	452						
2020	4	43	98	2020	162	2,658	8,853	2020	42	114	489						
2021	3	39	88	2021	164	2,782	9,416	2021	43	108	482						
2022	3	39	88	2022	163	2,792	9,424	2022	42	107	478						
2023	1	36	80	2023	131	2,692	8,990	2023	24	74	353						

表2-1 沖縄県の市町村別宿泊施設数・客室数・収容人数の推移

地域	市町村	年	宿泊施設数	客室数	収容人数	地域	市町村	年	宿泊施設数	客室数	収容人数	地域	市町村	年	宿泊施設数	客室数	収容人数
北部	今帰仁村	2012	50	315	1,023	八重山	石垣市	2012	193	4,092	9,968	渡名喜村	2012	10	34	95	
		2013	56	328	1,110			2013	195	3,952	9,726		2013	10	34	95	
		2014	70	356	1,229			2014	203	4,067	9,939		2014	10	34	95	
		2015	84	404	1,373			2015	203	4,048	9,999		2015	10	34	95	
		2016	107	484	1,656			2016	220	4,109	10,459		2016	10	33	95	
		2017	121	564	1,876			2017	258	4,518	11,799		2017	10	33	82	
		2018	130	586	2,064			2018	280	4,652	12,441		2018	10	33	82	
		2019	130	555	1,981			2019	333	5,448	14,055		2019	10	33	82	
		2020	135	592	2,169			2020	384	5,996	15,419		2020	9	29	74	
		2021	143	756	2,809			2021	413	6,134	15,868		2021	9	29	74	
		2022	156	764	2,874			2022	436	6,231	16,183		2022	9	29	74	
		2023	230	787	3,557			2023	458	6,336	17,307		2023	8	22	53	
	本部町	2012	63	934	3,242		竹富町	2012	150	1,542	4,393	南大東村	2012	5	101	170	
		2013	70	960	3,366			2013	143	1,521	4,338		2013	5	101	170	
		2014	84	1,174	4,259			2014	147	1,568	4,471		2014	5	101	170	
		2015	110	1,264	4,542			2015	153	1,585	4,504		2015	5	97	158	
		2016	128	1,296	4,799			2016	158	1,596	4,679		2016	5	97	158	
		2017	161	1,358	5,186			2017	158	1,612	4,638		2017	5	94	168	
		2018	229	1,592	6,322			2018	162	1,651	4,770		2018	5	94	168	
		2019	285	1,862	7,619			2019	152	1,502	4,421		2019	5	94	168	
		2020	311	2,251	9,086			2020	148	1,434	4,229		2020	5	94	168	
		2021	323	2,387	9,871			2021	148	1,414	4,174		2021	5	94	168	
		2022	340	2,400	9,898			2022	149	1,420	4,197		2022	6	108	196	
		2023	363	2,717	11,039			2023	154	1,360	3,973		2023	7	138	264	
	恩納村	2012	65	3,744	13,163	与那国町	2012	25	284	669	北大東村	2012	2	45	100		
		2013	72	4,104	14,381		2013	26	290	676		2013	2	45	100		
		2014	79	4,177	14,634		2014	27	296	684		2014	2	45	100		
		2015	92	4,215	14,807		2015	26	290	752		2015	2	45	100		
		2016	95	4,345	15,272		2016	26	290	752		2016	2	45	100		
		2017	96	4,438	15,740		2017	25	292	760		2017	2	45	100		
		2018	134	4,963	17,371		2018	26	292	760		2018	2	45	100		
		2019	244	5,676	19,973		2019	26	299	783		2019	2	45	100		
		2020	299	5,807	20,861		2020	27	304	793		2020	2	45	100		
		2021	328	5,951	21,592		2021	28	305	799		2021	2	68	104		
		2022	351	6,009	21,821		2022	30	307	809		2022	2	68	104		
		2023	377	6,145	21,806		2023	28	190	475		2023	2	69	94		
	宜野座村	2012	19	118	507	久米島町	2012	27	696	1,996	伊江村	2012	17	171	504		
		2013	19	118	507		2013	25	669	1,965		2013	17	171	504		
		2014	22	127	533		2014	25	665	1,955		2014	17	171	504		
		2015	21	122	495		2015	23	623	1,830		2015	16	162	482		
		2016	24	128	531		2016	24	618	1,562		2016	16	162	482		
		2017	25	133	541		2017	31	635	1,592		2017	16	157	429		
		2018	25	144	566		2018	32	666	1,641		2018	19	192	499		
		2019	30	149	624		2019	30	658	1,618		2019	19	192	499		
		2020	33	162	662		2020	34	661	1,633		2020	16	182	451		
		2021	33	166	673		2021	35	588	1,477		2021	16	183	478		
		2022	33	166	673		2022	40	593	1,508		2022	17	185	484		
		2023	32	147	669		2023	38	576	2,209		2023	20	176	495		
	金武町	2012	4	59	214	渡嘉敷村	2012	33	368	1,497	伊平屋村	2012	15	121	684		
		2013	4	54	204		2013	33	368	1,498		2013	14	110	651		
		2014	6	57	219		2014	35	364	1,485		2014	14	105	629		
		2015	13	65	259		2015	35	363	1,455		2015	14	105	629		
		2016	11	70	268		2016	35	363	1,455		2016	14	105	629		
		2017	19	107	406		2017	35	353	1,427		2017	14	105	629		
		2018	23	121	446		2018	31	328	1,350		2018	14	105	629		
		2019	40	148	613		2019	31	303	1,083		2019	14	109	626		
		2020	40	148	613		2020	34	314	1,117		2020	15	105	619		
		2021	44	194	666		2021	34	315	1,119		2021	16	120	649		
		2022	50	319	1,035		2022	34	315	1,119		2022	20	135	692		
		2023	52	301	1,109		2023	32	261	869		2023	17	131	653		
宮古	宮古島市	2012	184	2,695	7,357	その他離島	2012	73	569	1,804	伊是名村	2012	22	180	517		
		2013	193	2,732	7,427		2013	73	569	1,805		2013	20	167	492		
		2014	214	3,052	8,038		2014	75	576	1,828		2014	20	167	492		
		2015	223	3,110	8,278		2015	77	580	1,836		2015	20	174	512		
		2016	247	3,150	8,332		2016	80	590	1,876		2016	20	171	513		
		2017	234	3,248	8,517		2017	71	534	1,701		2017	19	153	489		
		2018	252	3,534	9,135		2018	71	529	1,689		2018	20	157	497		
		2019	285	3,935	10,215		2019	73	538	1,708		2019	21	155	503		
		2020	389	4,775	12,739		2020	73	534	1,682		2020	21	155	503		
		2021	411	5,596	15,063		2021	70	491	1,572		2021	22	156	513		
		2022	456	5,908	15,870		2022	73	500	1,594		2022	18	134	454		
		2023	496	6,537	17,823		2023	73	451	1,418		2023	19	143	408		
	多良間村	2012	11	65	173	座間味村	2012	9	77	250	粟国村	2012	9	77	250		
		2013	11	65	173		2013	9	77	250		2013	9	77	250		
		2014	11	65	173		2014	9	77	250		2014	9	77	250		
		2015	10	62	166		2015	9	77	250		2015	9	77	250		
		2016	10	73	180		2016	9	77	250		2016	9	77	250		
		2017	12	82	205		2017	9	77	250		2017	9	77	250		
		2018	14	88	215		2018	9	77	250		2018	9	77	250		
		2019	13	73	189		2019	10	81	266		2019	10	81	266		
		2020	13	73	189		2020	10	81	266		2020	10	81	266		
		2021	15	108	213		2021	10	81	266		2021	10	81	266		
		2022	14	103	201		2022	12	83	279		2022	12	83	279		
		2023	10	69	151		2023	12	71	238		2023	12	71	238		

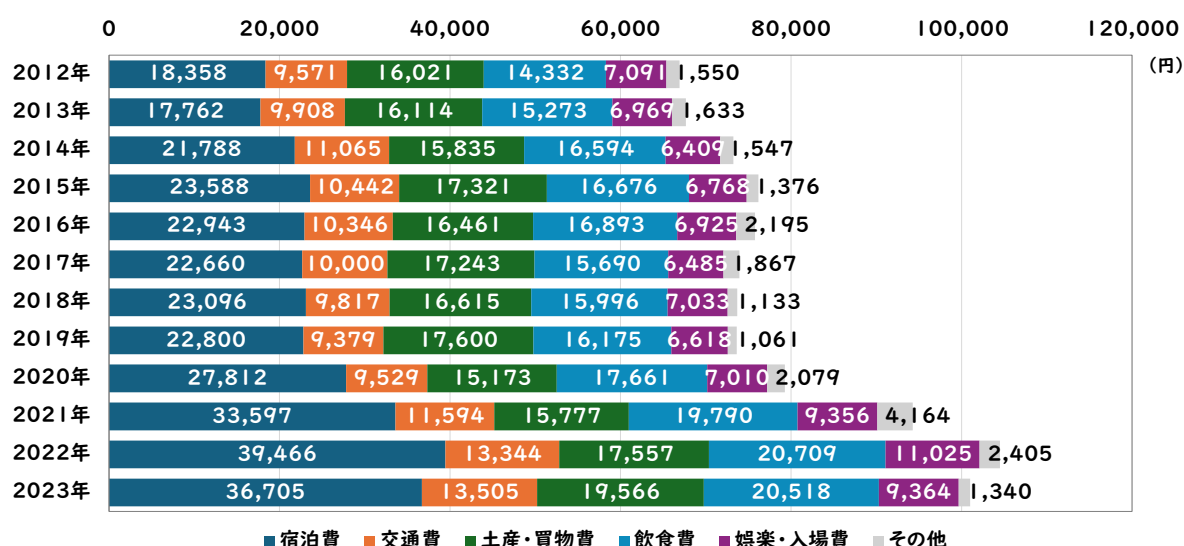
出典) 宿泊施設実態調査【沖縄県】

(7) 沖縄県における観光消費の推移

沖縄県への観光客の費目別消費額（図2-17）を見ると、概ねすべての費目で消費額が増加傾向にある。特に宿泊費は2012年から2倍近く増加しており、県内観光消費額の底上げに寄与している。

居住地別の来訪回数（表2-2）では、すべての来訪回数階級において関東地方居住の観光客が最も多く、全体の4割前後を占める。

来訪回数別の活動内容（表2-3）において、初回来訪者等の訪問回数が少ない観光客は、観光地巡り、沖縄料理、戦跡地参拝、ショッピング、伝統工芸・芸能体験を行う傾向にある。一方で、来訪回数が多い観光客は、保養・休養、釣り、スパ・エステ、伝統工芸・芸能体験といった、1つの活動に多くの時間を割く活動をしやすい傾向にある。なお、これら活動内容構成の経年変化は見られない。



出典）観光統計実態調査【沖縄県】

※四捨五入のため、総額が一致しない場合がある。

※2020年は、国内客の4-6月期、7-9月期及び外国客の4-6月期、7-9月期、10-12月期の調査が中止となったことから、調査を実施できなかった期間については2019年4-6月期、7-9月期の一人当たり消費額（国内客）を用いて試算。

※2021年は、国内客の4-6月期、7-9月期及び外国客の1-12月の調査が中止となったことから、調査を実施できなかった期間については2019年4-6月期、7-9月期の一人当たり消費額（国内客）を用いて試算。

※2022年は、外国空路客の1-3月期から10-12月期及び外国客の1-3月期から10-12月期までの調査が中止となったことから、調査を実施できなかった期間については、2019年同期の一人当たり消費額（外国空路客）を用いて試算。

図2-17 費目別消費額(円)

表2-2 居住地別来訪回数の比率

初めて	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	9%	10%	11%	8%	8%	10%	9%	12%	8%	5%	10%	11%
関東	36%	37%	36%	42%	35%	36%	36%	34%	52%	51%	43%	36%
中部	20%	18%	16%	14%	18%	17%	17%	14%	12%	13%	18%	17%
近畿	15%	15%	17%	19%	20%	19%	21%	17%	21%	20%	16%	17%
中国・四国	8%	9%	9%	7%	11%	7%	8%	11%	3%	4%	6%	7%
九州	12%	11%	12%	10%	9%	11%	9%	12%	5%	7%	8%	11%

2回目	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	8%	7%	8%	8%	8%	5%	6%	5%	4%	5%	7%	9%
関東	37%	39%	39%	37%	35%	32%	38%	35%	55%	52%	45%	39%
中部	17%	18%	15%	14%	16%	15%	16%	18%	13%	9%	16%	17%
近畿	18%	17%	17%	23%	21%	25%	19%	21%	20%	23%	18%	19%
中国・四国	6%	7%	8%	7%	7%	10%	9%	9%	3%	5%	5%	8%
九州	14%	12%	14%	12%	13%	13%	12%	13%	5%	6%	8%	9%

3回目	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	7%	5%	8%	6%	6%	5%	6%	5%	3%	1%	5%	6%
関東	39%	41%	39%	39%	38%	40%	44%	34%	54%	52%	47%	41%
中部	16%	16%	12%	13%	14%	12%	15%	14%	10%	13%	14%	14%
近畿	16%	18%	22%	23%	23%	23%	19%	23%	24%	20%	20%	21%
中国・四国	8%	6%	7%	7%	7%	7%	4%	7%	3%	5%	5%	6%
九州	15%	14%	13%	11%	13%	12%	11%	16%	6%	9%	9%	12%

4回目	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	5%	5%	5%	3%	5%	4%	5%	4%	4%	3%	5%	4%
関東	43%	39%	42%	44%	39%	40%	39%	36%	54%	49%	47%	42%
中部	17%	14%	12%	12%	14%	11%	14%	15%	11%	15%	16%	16%
近畿	20%	21%	20%	23%	24%	28%	21%	26%	23%	21%	19%	22%
中国・四国	4%	7%	7%	6%	5%	2%	7%	5%	3%	5%	4%	6%
九州	12%	14%	15%	13%	12%	15%	14%	13%	5%	6%	8%	10%

5～9回目	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	5%	6%	7%	4%	4%	6%	5%	5%	3%	4%	5%	5%
関東	43%	44%	43%	44%	44%	45%	44%	43%	53%	57%	49%	43%
中部	12%	13%	12%	11%	12%	10%	11%	13%	9%	12%	15%	14%
近畿	18%	18%	19%	22%	25%	22%	23%	21%	25%	18%	20%	22%
中国・四国	6%	5%	5%	7%	5%	4%	5%	6%	3%	3%	4%	5%
九州	16%	14%	13%	12%	11%	13%	12%	13%	6%	6%	8%	11%

10～19回目	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	4%	4%	4%	2%	4%	4%	4%	5%	3%	4%	3%	5%
関東	46%	43%	45%	47%	47%	45%	44%	42%	57%	51%	51%	45%
中部	12%	13%	10%	9%	9%	11%	11%	10%	10%	11%	12%	14%
近畿	16%	20%	19%	22%	23%	20%	23%	22%	22%	21%	21%	21%
中国・四国	5%	5%	6%	6%	4%	4%	6%	5%	3%	5%	4%	5%
九州	17%	16%	17%	15%	12%	14%	13%	16%	5%	8%	9%	10%

20回目以上	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道・東北	3%	3%	3%	3%	1%	3%	3%	4%	2%	2%	3%	3%
関東	40%	41%	39%	45%	47%	46%	45%	39%	56%	60%	51%	46%
中部	8%	11%	7%	9%	8%	8%	8%	10%	8%	8%	12%	13%
近畿	19%	17%	22%	23%	21%	20%	25%	23%	21%	16%	20%	22%
中国・四国	4%	4%	7%	4%	5%	4%	3%	4%	4%	2%	4%	5%
九州	25%	24%	22%	17%	17%	18%	16%	19%	9%	11%	10%	11%

出典) 観光統計実態調査【沖縄県】

表2-3 来訪回数別の活動内容比率

観光地巡り	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	26%	27%	24%	23%	21%	19%	20%	19%	13%	9%	15%	17%
2回目	24%	23%	22%	20%	22%	21%	21%	19%	14%	12%	17%	17%
3回目	15%	15%	16%	17%	15%	15%	16%	14%	13%	12%	13%	13%
4回目	9%	9%	9%	10%	9%	10%	10%	10%	9%	11%	10%	9%
5から9回目	16%	15%	18%	20%	20%	20%	19%	23%	25%	26%	23%	24%
10から19回目	6%	7%	7%	7%	9%	9%	9%	9%	13%	15%	12%	12%
20回目以上	5%	4%	4%	4%	5%	5%	4%	5%	13%	15%	9%	8%

保養・休養	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	13%	13%	12%	12%	14%	12%	11%	11%	6%	5%	8%	9%
2回目	15%	16%	15%	15%	16%	14%	13%	15%	9%	6%	10%	10%
3回目	14%	13%	15%	13%	14%	12%	13%	11%	9%	8%	10%	9%
4回目	8%	9%	10%	9%	10%	11%	10%	8%	7%	9%	8%	7%
5から9回目	22%	25%	24%	25%	22%	24%	24%	27%	26%	24%	27%	27%
10から19回目	15%	13%	13%	14%	15%	16%	18%	14%	19%	20%	19%	18%
20回目以上	13%	10%	12%	12%	10%	11%	12%	15%	24%	28%	19%	18%

海水浴・マリレジャー	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	16%	20%	16%	15%	16%	12%	12%	14%	11%	5%	12%	14%
2回目	22%	21%	20%	18%	18%	17%	18%	16%	14%	14%	15%	15%
3回目	14%	15%	15%	15%	15%	15%	13%	14%	12%	12%	13%	13%
4回目	9%	10%	10%	11%	11%	12%	12%	11%	11%	10%	10%	9%
5から9回目	24%	22%	24%	25%	23%	25%	25%	29%	25%	31%	25%	26%
10から19回目	10%	9%	9%	10%	11%	11%	14%	11%	16%	11%	15%	14%
20回目以上	5%	3%	6%	5%	6%	6%	6%	6%	12%	17%	10%	9%

ダイビング	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	11%	16%	11%	12%	14%	11%	8%	11%	9%	6%	12%	16%
2回目	16%	17%	14%	12%	17%	12%	11%	10%	12%	7%	13%	14%
3回目	11%	12%	11%	12%	13%	11%	9%	8%	9%	11%	10%	9%
4回目	7%	7%	6%	5%	4%	8%	9%	6%	8%	11%	8%	8%
5から9回目	21%	20%	24%	21%	21%	21%	22%	22%	21%	20%	19%	19%
10から19回目	19%	15%	18%	19%	14%	19%	19%	17%	14%	17%	17%	14%
20回目以上	14%	15%	16%	19%	16%	18%	22%	26%	27%	29%	21%	21%

ゴルフ	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	7%	9%	11%	8%	8%	7%	7%	8%	5%	7%	9%	5%
2回目	16%	9%	13%	13%	11%	13%	14%	10%	9%	13%	11%	10%
3回目	15%	11%	12%	16%	13%	7%	12%	9%	10%	11%	9%	7%
4回目	14%	11%	10%	12%	6%	9%	13%	9%	11%	7%	8%	7%
5から9回目	20%	28%	23%	29%	35%	22%	24%	28%	26%	20%	29%	34%
10から19回目	14%	18%	16%	13%	13%	21%	18%	20%	17%	15%	17%	16%
20回目以上	14%	14%	16%	10%	14%	21%	12%	16%	23%	28%	18%	21%

釣り	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	14%	11%	9%	2%	11%	3%	4%	8%	6%	7%	9%	5%
2回目	22%	11%	8%	7%	13%	4%	10%	8%	13%	3%	6%	11%
3回目	3%	12%	7%	7%	8%	12%	17%	5%	7%	8%	13%	10%
4回目	7%	9%	13%	12%	11%	10%	15%	7%	6%	12%	9%	6%
5から9回目	29%	29%	27%	21%	32%	31%	24%	38%	26%	22%	24%	31%
10から19回目	14%	15%	19%	29%	15%	23%	27%	16%	16%	12%	19%	20%
20回目以上	10%	12%	17%	21%	12%	17%	4%	18%	25%	36%	20%	18%

スパ・エステ	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	11%	14%	13%	11%	11%	10%	7%	8%	7%	12%	11%	8%
2回目	17%	17%	16%	13%	16%	16%	17%	17%	20%	3%	12%	12%
3回目	15%	15%	16%	11%	15%	16%	7%	10%	11%	5%	12%	9%
4回目	11%	9%	12%	10%	8%	9%	13%	8%	11%	7%	11%	7%
5から9回目	23%	24%	20%	31%	27%	28%	21%	26%	24%	27%	24%	24%
10から19回目	18%	13%	16%	12%	13%	14%	20%	17%	14%	13%	16%	19%
20回目以上	5%	7%	7%	12%	10%	8%	15%	14%	12%	32%	13%	21%

出典) 観光統計実態調査【沖縄県】

表2-3 来訪回数別の活動内容比率

スポーツ大会等	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	6%	27%	10%	2%	15%	10%	15%	15%	8%	26%	10%	9%
2回目	20%	12%	23%	11%	11%	14%	5%	15%	9%	7%	7%	13%
3回目	16%	14%	12%	19%	9%	16%	12%	14%	17%	0%	12%	12%
4回目	6%	7%	8%	13%	4%	6%	8%	9%	15%	7%	7%	6%
5から9回目	28%	18%	19%	21%	30%	31%	18%	27%	9%	14%	25%	27%
10から19回目	10%	12%	19%	16%	17%	16%	25%	10%	0%	15%	21%	16%
20回目以上	14%	9%	9%	17%	14%	8%	17%	10%	43%	30%	19%	17%
エコツアー	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	10%	15%	15%	16%	13%	18%	18%	9%	10%	9%	15%	14%
2回目	22%	17%	8%	9%	13%	18%	15%	16%	18%	15%	15%	18%
3回目	16%	18%	14%	20%	14%	12%	8%	16%	12%	14%	15%	12%
4回目	13%	16%	13%	5%	11%	9%	13%	13%	8%	14%	10%	9%
5から9回目	19%	20%	31%	35%	29%	30%	24%	27%	26%	22%	26%	28%
10から19回目	16%	11%	11%	9%	11%	4%	19%	13%	12%	11%	10%	12%
20回目以上	3%	4%	6%	6%	8%	9%	3%	7%	15%	16%	9%	8%
伝統工芸・芸能体験	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	22%	26%	23%	17%	23%	20%	18%	15%	13%	11%	19%	17%
2回目	24%	21%	25%	19%	18%	19%	23%	19%	19%	13%	17%	19%
3回目	14%	16%	16%	17%	15%	18%	13%	15%	9%	15%	14%	14%
4回目	6%	11%	8%	12%	11%	8%	11%	13%	9%	9%	10%	9%
5から9回目	19%	17%	18%	22%	18%	23%	21%	26%	26%	26%	23%	18%
10から19回目	9%	6%	6%	8%	10%	8%	12%	8%	12%	13%	10%	10%
20回目以上	5%	3%	4%	5%	4%	4%	3%	5%	14%	14%	7%	13%
ショッピング	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	21%	25%	23%	20%	19%	18%	17%	18%	11%	8%	15%	16%
2回目	22%	21%	21%	18%	21%	17%	20%	18%	13%	10%	16%	16%
3回目	13%	15%	15%	15%	14%	13%	16%	11%	11%	9%	12%	13%
4回目	8%	9%	9%	10%	9%	9%	9%	9%	8%	9%	9%	9%
5から9回目	20%	16%	18%	23%	18%	22%	20%	24%	26%	21%	24%	22%
10から19回目	10%	8%	8%	8%	11%	10%	12%	11%	15%	19%	11%	13%
20回目以上	6%	6%	7%	7%	8%	10%	6%	9%	17%	24%	12%	11%
戦跡地参拝	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	34%	34%	26%	26%	26%	26%	30%	29%	20%	11%	20%	22%
2回目	23%	22%	23%	21%	24%	16%	20%	22%	15%	10%	19%	20%
3回目	11%	14%	18%	16%	10%	13%	12%	11%	11%	10%	11%	10%
4回目	9%	9%	9%	10%	9%	10%	6%	8%	8%	16%	8%	8%
5から9回目	14%	13%	15%	17%	20%	21%	19%	19%	17%	20%	21%	23%
10から19回目	5%	5%	5%	6%	7%	8%	10%	8%	13%	13%	10%	11%
20回目以上	4%	4%	4%	4%	4%	6%	3%	4%	15%	19%	11%	6%
沖縄料理を楽しむ	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	22%	23%	21%	18%	19%	16%	17%	16%	11%	8%	15%	15%
2回目	21%	21%	20%	18%	20%	17%	17%	18%	12%	10%	17%	16%
3回目	13%	14%	15%	15%	14%	14%	15%	13%	11%	11%	12%	12%
4回目	8%	9%	8%	9%	10%	9%	10%	9%	9%	10%	9%	9%
5から9回目	19%	18%	19%	23%	20%	22%	20%	24%	25%	23%	25%	24%
10から19回目	9%	8%	9%	9%	10%	12%	13%	11%	14%	17%	11%	14%
20回目以上	8%	6%	7%	7%	7%	9%	7%	9%	17%	21%	12%	11%
イベント	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	-	-	-	12%	10%	14%	14%	9%	0%	11%	7%
2回目	-	-	-	-	16%	21%	15%	15%	12%	9%	11%	11%
3回目	-	-	-	-	13%	12%	12%	7%	10%	1%	8%	14%
4回目	-	-	-	-	6%	5%	8%	15%	9%	2%	10%	7%
5から9回目	-	-	-	-	23%	16%	19%	21%	17%	27%	23%	24%
10から19回目	-	-	-	-	15%	16%	16%	12%	11%	16%	14%	18%
20回目以上	-	-	-	-	15%	19%	15%	16%	32%	45%	24%	19%

*2012年～2015年は、イベントと伝統行事を同一カテゴリにまとめ調査している。

出典) 観光統計実態調査【沖縄県】

表2-3 来訪回数別の活動内容比率

伝統行事	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	-	-	-	17%	11%	30%	24%	12%	8%	16%	18%
2回目	-	-	-	-	24%	20%	28%	14%	12%	9%	18%	16%
3回目	-	-	-	-	11%	9%	9%	18%	9%	7%	8%	8%
4回目	-	-	-	-	2%	3%	3%	7%	1%	14%	8%	6%
5から9回目	-	-	-	-	15%	10%	11%	8%	18%	28%	20%	17%
10から19回目	-	-	-	-	14%	24%	10%	19%	11%	15%	12%	17%
20回目以上	-	-	-	-	18%	24%	9%	10%	37%	19%	19%	19%

*2012年～2015年は、イベントと伝統行事を同一カテゴリにまとめ調査している。

イベント・伝統行事	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	11%	21%	13%	19%	-	-	-	-	-	-	-	-
2回目	21%	16%	15%	17%	-	-	-	-	-	-	-	-
3回目	16%	15%	17%	11%	-	-	-	-	-	-	-	-
4回目	5%	8%	6%	11%	-	-	-	-	-	-	-	-
5から9回目	18%	18%	19%	21%	-	-	-	-	-	-	-	-
10から19回目	14%	9%	13%	12%	-	-	-	-	-	-	-	-
20回目以上	17%	13%	17%	10%	-	-	-	-	-	-	-	-

*2016年以降は、イベントと伝統行事をそれぞれ分けて調査している。

コンサート	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	-	-	-	12%	21%	17%	24%	15%	8%	10%	14%
2回目	-	-	-	-	17%	14%	16%	13%	13%	12%	10%	11%
3回目	-	-	-	-	11%	14%	12%	13%	14%	7%	7%	6%
4回目	-	-	-	-	4%	15%	13%	13%	6%	1%	11%	14%
5から9回目	-	-	-	-	27%	23%	17%	17%	11%	28%	21%	25%
10から19回目	-	-	-	-	15%	8%	9%	10%	22%	1%	19%	12%
20回目以上	-	-	-	-	11%	6%	15%	10%	20%	43%	22%	19%

*2015年から調査カテゴリに追加された。

新婚旅行	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	31%	50%	40%	35%	33%	27%	31%	41%	23%	13%	27%	38%
2回目	29%	24%	38%	30%	29%	26%	33%	29%	26%	29%	27%	26%
3回目	17%	10%	9%	10%	21%	18%	20%	11%	20%	20%	20%	17%
4回目	4%	4%	2%	3%	6%	14%	10%	10%	7%	12%	9%	8%
5から9回目	19%	8%	10%	18%	9%	13%	3%	8%	19%	22%	13%	9%
10から19回目	0%	2%	0%	3%	2%	0%	3%	0%	4%	3%	3%	2%
20回目以上	0%	2%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	1%	1%	1%	1%

ウェディング	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	34%	25%	23%	24%	26%	34%	26%	21%	17%	13%	26%	26%
2回目	22%	25%	24%	24%	27%	21%	23%	27%	24%	22%	24%	23%
3回目	12%	20%	16%	13%	18%	17%	14%	14%	19%	19%	18%	16%
4回目	9%	7%	7%	9%	6%	3%	8%	9%	5%	12%	10%	10%
5から9回目	13%	15%	13%	14%	12%	13%	13%	11%	22%	20%	14%	17%
10から19回目	5%	3%	10%	6%	8%	5%	5%	5%	9%	10%	5%	5%
20回目以上	4%	5%	7%	9%	3%	6%	11%	11%	5%	4%	4%	1%

帰省・親戚等訪問	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	5%	6%	4%	4%	4%	4%	3%	5%	4%	0%	3%	4%
2回目	8%	9%	8%	7%	4%	4%	6%	6%	7%	5%	6%	5%
3回目	9%	8%	6%	7%	6%	5%	7%	2%	3%	6%	8%	9%
4回目	6%	5%	4%	6%	10%	4%	7%	6%	4%	7%	5%	6%
5から9回目	19%	21%	20%	28%	20%	21%	19%	27%	19%	21%	24%	18%
10から19回目	21%	20%	23%	22%	22%	18%	22%	21%	19%	15%	22%	23%
20回目以上	33%	32%	34%	26%	34%	45%	37%	33%	44%	45%	32%	35%

友人・知人の訪問	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	-	8%	7%	7%	8%	6%	8%	5%	6%	7%	6%
2回目	-	-	10%	12%	11%	6%	12%	10%	7%	4%	10%	9%
3回目	-	-	9%	8%	10%	9%	10%	10%	5%	5%	8%	9%
4回目	-	-	7%	10%	5%	6%	7%	6%	5%	11%	6%	6%
5から9回目	-	-	23%	26%	23%	22%	17%	27%	20%	14%	23%	22%
10から19回目	-	-	17%	14%	20%	20%	21%	18%	15%	20%	16%	19%
20回目以上	-	-	26%	23%	23%	29%	26%	21%	42%	39%	30%	28%

*2014年から調査カテゴリに追加された。

出典) 観光統計実態調査【沖縄県】

表 2-3 来訪回数別の活動内容比率

会議・研修	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	18%	13%	15%	15%	16%	11%	14%	14%	6%	8%	20%	17%
2回目	19%	16%	11%	15%	18%	19%	19%	15%	17%	9%	17%	13%
3回目	14%	14%	14%	10%	13%	13%	19%	12%	7%	5%	10%	12%
4回目	6%	10%	9%	12%	8%	10%	7%	11%	9%	26%	7%	8%
5から9回目	22%	19%	18%	22%	21%	21%	21%	22%	23%	9%	20%	26%
10から19回目	11%	11%	16%	12%	12%	12%	9%	12%	7%	27%	9%	11%
20回目以上	10%	16%	15%	15%	12%	14%	11%	13%	31%	18%	16%	13%

仕事	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	10%	8%	8%	8%	9%	7%	8%	7%	7%	7%	10%	7%
2回目	10%	9%	7%	10%	9%	9%	10%	8%	9%	7%	11%	11%
3回目	9%	9%	10%	11%	9%	9%	9%	7%	11%	7%	9%	10%
4回目	7%	7%	7%	8%	6%	6%	9%	6%	7%	9%	6%	8%
5から9回目	20%	21%	19%	17%	22%	21%	19%	24%	19%	20%	20%	21%
10から19回目	14%	17%	20%	16%	15%	20%	19%	19%	14%	13%	17%	15%
20回目以上	29%	30%	30%	31%	30%	28%	26%	29%	34%	36%	26%	27%

ワーケーション	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3%	7%	8%
2回目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4%	8%	10%
3回目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6%	8%	6%
4回目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10%	9%	7%
5から9回目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19%	27%	28%
10から19回目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15%	19%	19%
20回目以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41%	23%	23%

*2021年から調査カテゴリに追加された。

プロスポーツ キャンプ見学	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	15%	12%	12%	8%	11%	11%	9%	11%	4%	10%	11%
2回目	-	11%	17%	12%	15%	14%	13%	7%	5%	7%	12%	12%
3回目	-	13%	14%	13%	13%	10%	15%	7%	11%	24%	10%	10%
4回目	-	7%	9%	7%	10%	9%	8%	6%	11%	17%	6%	10%
5から9回目	-	30%	23%	34%	24%	29%	24%	36%	27%	15%	29%	29%
10から19回目	-	14%	17%	15%	17%	18%	22%	23%	27%	20%	19%	15%
20回目以上	-	9%	8%	6%	13%	9%	7%	11%	7%	14%	14%	14%

*2013年から調査カテゴリに追加された。

空手	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	-	-	-	-	-	-	-	0%	0%	25%	21%	16%
2回目	-	-	-	-	-	-	-	20%	34%	0%	20%	0%
3回目	-	-	-	-	-	-	-	35%	10%	0%	14%	0%
4回目	-	-	-	-	-	-	-	0%	0%	0%	11%	0%
5から9回目	-	-	-	-	-	-	-	20%	0%	0%	18%	0%
10から19回目	-	-	-	-	-	-	-	0%	10%	0%	0%	43%
20回目以上	-	-	-	-	-	-	-	24%	46%	75%	17%	40%

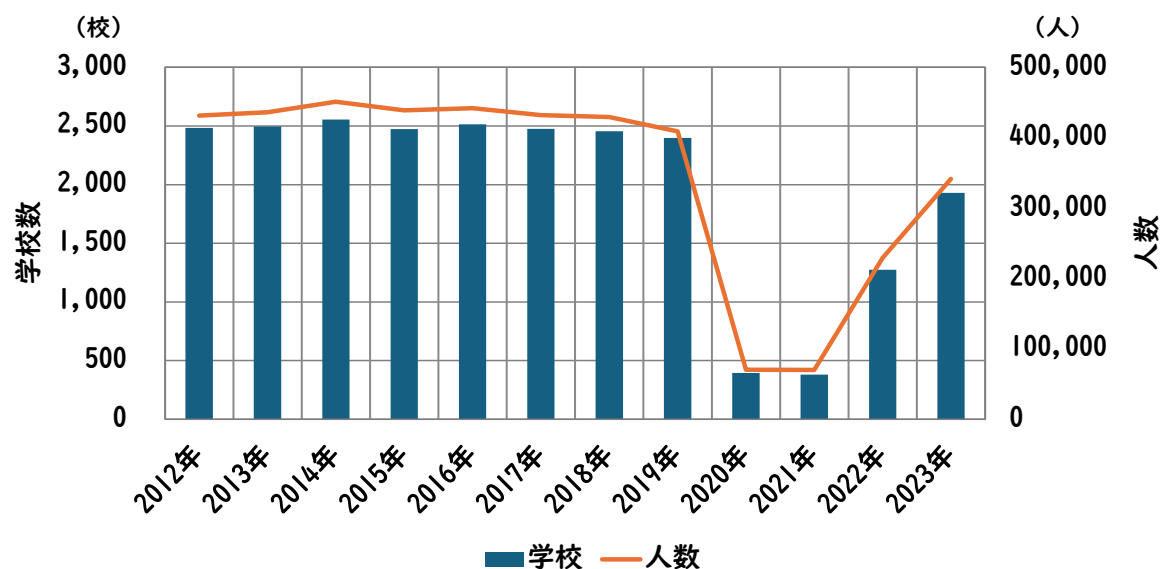
*2019年から調査カテゴリに追加された。

その他	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
初めて	13%	16%	8%	12%	10%	8%	11%	10%	9%	6%	10%	9%
2回目	17%	14%	15%	16%	16%	13%	16%	17%	8%	4%	9%	15%
3回目	12%	12%	19%	8%	14%	7%	14%	11%	7%	5%	10%	10%
4回目	11%	10%	8%	13%	11%	12%	12%	10%	6%	19%	7%	8%
5から9回目	23%	21%	19%	18%	21%	29%	20%	21%	21%	22%	28%	23%
10から19回目	13%	13%	16%	13%	10%	15%	16%	14%	19%	21%	16%	16%
20回目以上	11%	15%	15%	20%	17%	16%	12%	16%	31%	23%	20%	19%

出典) 観光統計実態調査【沖縄県】

(8) 沖縄県における修学旅行数の推移

コロナ前においては修学旅行先に沖縄県を選ぶ学校数及び旅行人数が安定して同水準となっていたが、コロナ禍では大幅に減少（図2-18）した。その後、2022年以降回復傾向にあるが、コロナ前までには至っていない。



出典) 修学旅行に関する統計【沖縄県】

図2-18 修学旅行の学校数と人数

(9) 北谷町における主要イベント来客数

各イベントの来客数増減（表2-4）は、イベントによって傾向が異なり、増減を繰り返すなどしているが、2019年では、北谷ニライハーリー、シーポートちやたんカーニバル、プロ野球キャンプの来客数が減少した。

表2-4 主要イベントの来客数

イベント名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
北谷ニライハーリー	5,700	5,800	7,500	10,000	12,000	5,000	3,000	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響により開催なし	3,000
シーポートちやたんカーニバル	73,000	90,000		98,300	42,000	74,345	71,000	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響により花火のみ開催
ハローウィンミハマ	3,000	7,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響によりオンラインイベントを開催
C-1ちやたんグルメバトル	30,000	30,000	34,000	13,000	13,500	15,390	18,113	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響により開催なし	15,829
プロ野球キャンプ	26,520	25,900	34,000	39,864	70,705	65,532	55,452	無観客開催	17,678	
生涯学習センターまつり	1,800	2,100	2,300	2,400	2,000	2,150	2,612	新型コロナの影響により開催なし	新型コロナの影響により開催なし	3,200

出典）北谷町統計書【北谷町】

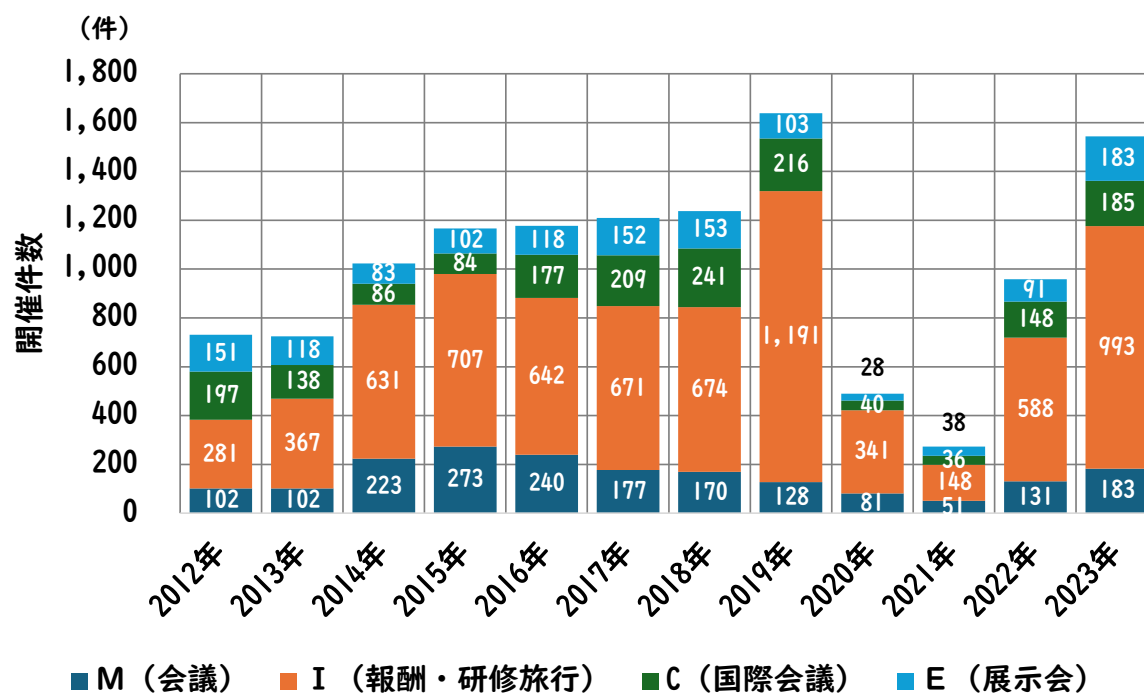
※2015年のシーポートちやたんカーニバルについては、台風の接近により中止

※2018年及び令和元年のC-1ちやたんグルメバトルは、産業まつりと合同開催

※計数カウンターによる数値。下2桁は切り捨て（プロ野球キャンプを除く）

(10) 沖縄県における MICE 開催実績の推移

MICE の開催実績（図 2－19）についても、他の動向と同様、コロナによる開催数大幅減少が見られ、近年は回復傾向にある。特に展示会については、近年でも最高水準の開催件数となっている。



出典) MICE 開催実態調査事業報告書【沖縄県】

図 2－19 MICE 開催実績推移

3 章 国内・国外観光客に係る調査

本章では、北谷町の観光動向（内部環境）として、人流ビッグデータ（GPS データ）から町内観光客数や滞在時間、流出入時刻等を過去 3 カ年で整理し、町内の観光動向を把握している。

3-1 分析に使用する GPS データの概要

(1) 分析データの概要

GPS データは、位置情報を取得しているスマートフォンのアプリ提供者等が販売しており、本調査では、日本人については株式会社 Agoop のデータ、外国人については Azira のデータを使用する。

データ特性は、下表（表 3-1）のとおりである。株式会社 Agoop のデータは、月の有効ユーザー数約 160 万人、データの取得ピッチは約 9 分、取得可能データは性別、年齢、居住エリア、勤務等である。（性別、年齢は一部のみ）

表 3-1 分析使用 GPS データの概要

	【日本人】 株式会社 Agoop	【外国人】 Azira
アプリ概要	140 種類のアプリケーション（歩数計、Wi-Fi 場所等）	アプリケーション
ユーザー数	約 160 万/月ユーザー数	16 億を超えるユーザー（全世界サンプル数）
データ取得ピッチ	平均 9 分	非公開
分析粒度	ポイントデータ	ポイントデータ
取得可能データ	性別、年代、推定居住地と推定勤務地、観測軽度、観測緯度等。 ※性別、年齢を確実に取得しているものではなく、アプリケーション上の回答であり、回答は任意。	国籍、観測軽度、観測緯度等。 ※性別、年代の取得は不可能。

GPS データを用いて分析する北谷町での日本人観光動態の分析項目は下表（図 3-2）のとおりである。

表 3-2 分析結果内容一覧

分析結果概要	居住地、性別、年代、月別の来訪観光客数の推移、北谷町内宿泊率、観光スポット別の流入流出時間
国内・国外観光客	居住地、性別、滞在場所、観光スポットにおける滞在人数、観光スポット間の移動状況
大型イベントやスポーツキャンプの詳細分析	シーポートちゃたんカーニバル、中日ドラゴンズ春季キャンプ
リピーターの観光特性	リピート人数、リピート率、平均来訪日数
サンセットビューライン	サンセットビューライン間の移動状況

(2) データ分析の前処理

1) 分析対象とする主な観光地

分析対象とする観光地スポットは、令和5年度業務と同様の14施設と2024年11月20日にオープンした北谷町立博物館を加えた15施設を基本とする。滞在を判定するため、観光地スポットについては施設形状を作成、その他については250mメッシュ単位で分析を行った。なお、北谷フィッシャリーナ及び美浜アメリカンビレッジに関しては、より詳細に分析できるように分割を行った。(表3-3、図3-1、図3-2)

表3-3 観光スポット

観光スポット	備考
美浜アメリカンビレッジ	「デポアイランドシーサイド」、「美浜駐車場」、「イオン北谷」、「映画館」、「デポアイランド」、「デポABC・Fプラザ」、「グルメ館・ドラゴンパレス」、「シーサイドスクエア」、「ボクネン美術館」、「メイクマン美浜店」、「体験型アミューズメント」、「観光情報センター」、「ボードウォーク_アメリカンビレッジ」、「ホテル（結婚式場あり）」に分割
北谷フィッシャリーナ	「うみんちゅワーフ」、「商業施設_フィッシャリーナ」、「ボードウォーク_フィッシャリーナ」、「デポセントラル」、「結婚式場」に分割
北谷公園	
サンセットビーチ	
アラハビーチ・安良波公園	
宮城海岸	
砂辺馬場公園・モニュメントエリア	
謝苺公園	
山手通り	
テルメヴィラちゅら一ゆ	
うちなあ家	
ハンビーフリーマーケット	土曜日・日曜日のみ
サンエーハンビータウン	
ユニオン北谷店	
北谷町立博物館	追加施設（2024年11月20日オープン）

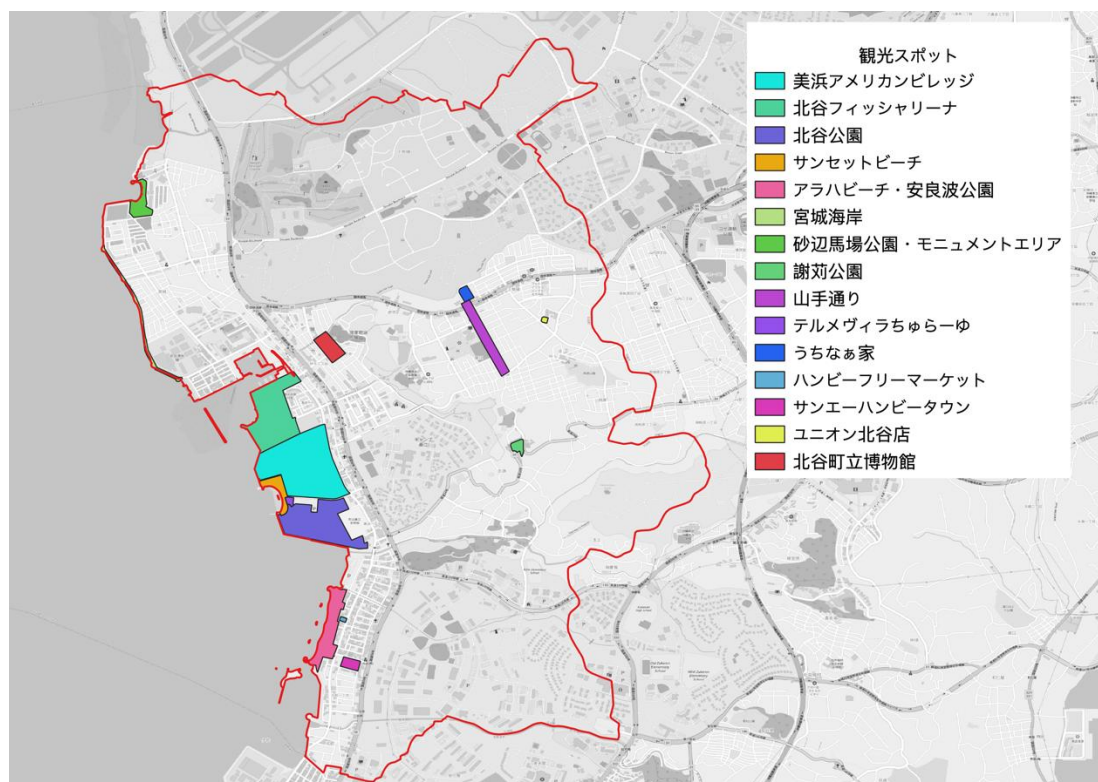


図3-1 観光スポットの位置

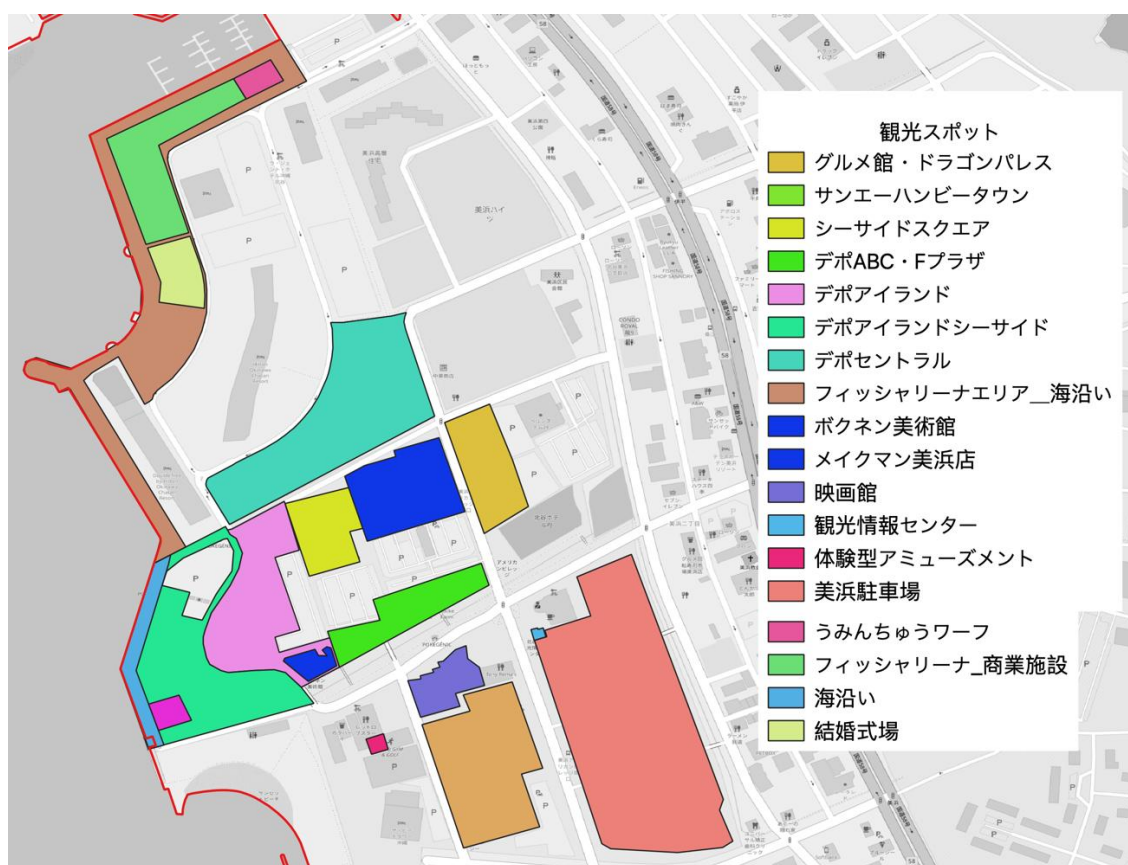


図3-2 北谷フィッシャリーナと美浜アメリカンビレッジの詳細

2) データ定義

令和5年度業務と同様に本調査では、「北谷町居住者以外で北谷町に滞在」した人を観光客と定義した。なお、北谷町への訪問回数が多い場合は通勤や取引先への納品等の可能性があるため、滞在回数等を考慮した。観光客以外と判断する主な項目は以下の通りである。(表3-4)

ただし、外国人については日本人と異なり、日本政府観光局(JNTO)「外国人旅行動向」によると平均滞在日数が16日～18日と長期滞在であるため、除外項目は設定しない。

表3-4 除外項目

除外項目	除外基準
北谷町民	北谷町居住者
通勤	1月に10回以上北谷町に滞在している人
納品等	1年で4回以上北谷町に滞在している人
長期滞在者	2週間以上滞在している人

宿泊者については、夜間(2時から4時)に最も多く観測された場所を宿泊地として定義した。

3) 滞在時間の設定

観光スポットについては施設形状で分析を行うため、それぞれで滞在時間が異なることが考えられる。令和5年度業務との比較を行うため、本業務で追加した北谷町立博物館を除く14施設においては、令和5年度業務と同様の基準である。北谷町立博物館においては、平均滞在時間を算出し、平均時間を参考に基準を設定した。

基準以上観測された場合のみ、滞在と定義した。観光スポットの平均滞在時間と滞在時間の基準は、以下の通りである。(表3-5、図3-3)

表3-5 観光スポットごとの基準の滞在時間

観光スポット	基準の滞在時間	備考
アラハビーチ・安良波公園	20 分	令和5年度業務 と同様の基準
サンエーハンビータウン	25 分	
サンセットビーチ	15 分	
テルメヴィラちゅら一ゆ	30 分	
北谷フィッシャリーナ	25 分	
ユニオン北谷店	10 分	
北谷公園	20 分	
宮城海岸	10 分	
山手通り	20 分	
砂辺馬場公園・モニュメントエリア	10 分	
美浜アメリカンビレッジ	40 分	
謝荊公園	15 分	
うちなあ家	10 分	
ハンビーフリーマーケット	10 分	
250m メッシュ（その他）	15 分	
北谷町立博物館	5 分	追加施設

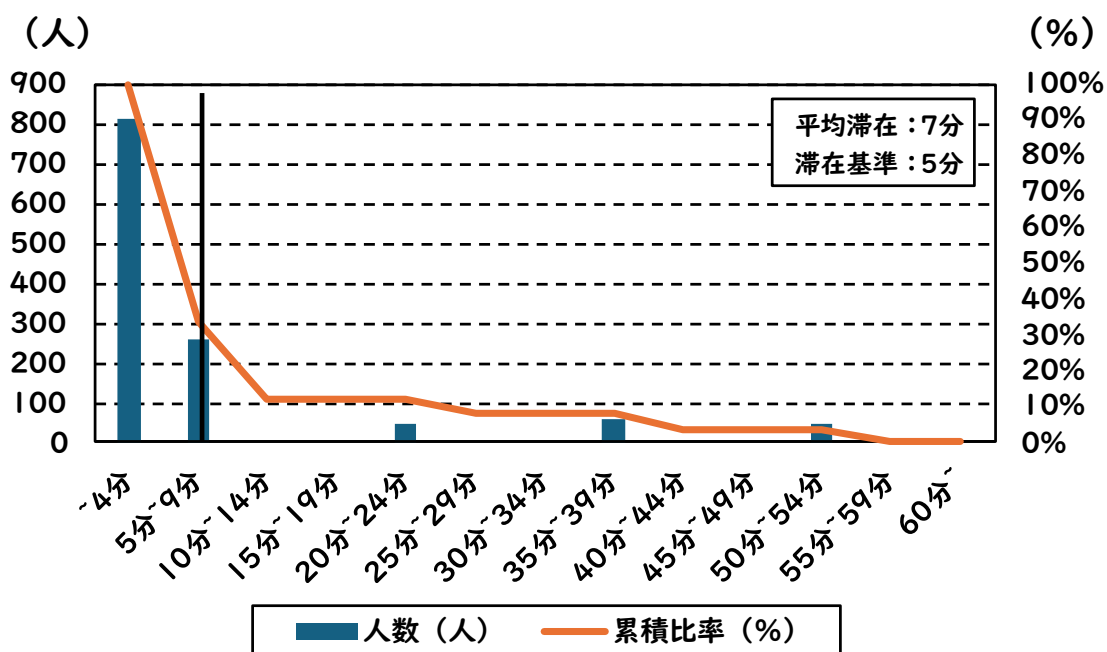


図3-3 北谷町立博物館の平均滞在時間及び滞在基準

3-2 分析結果

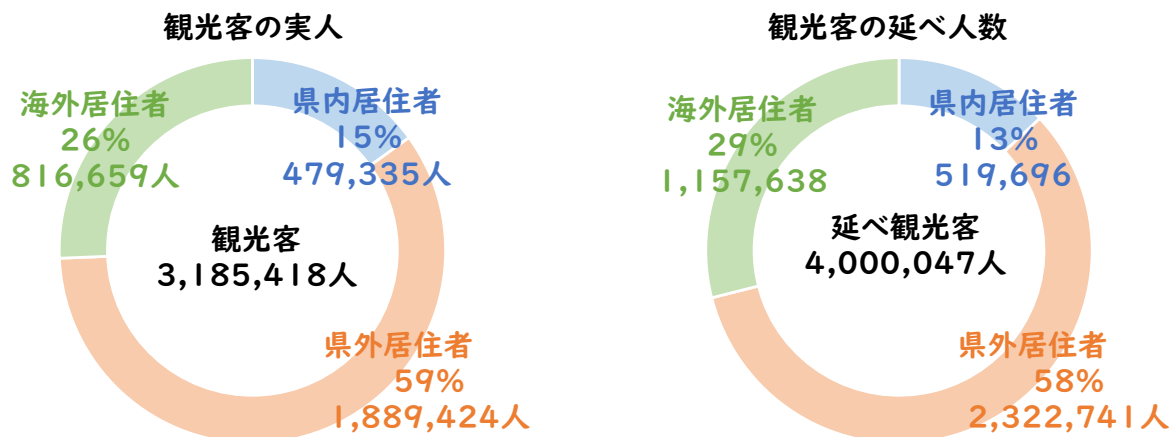
(1) 北谷町来訪者の観光動態

1) 観光客数

2024年の観光客の実人数は3,185,418人であり、沖縄県内居住者は479,335人(15%)、沖縄県外居住者は1,889,424人(59%)、海外居住者は816,659人(26%)となった。

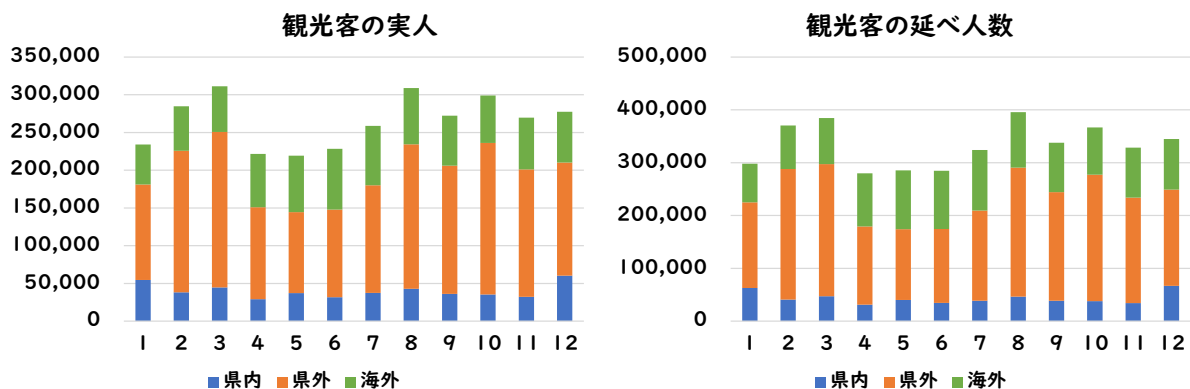
また、観光客の延べ人数は4,000,047人であり、沖縄県内居住者は519,696人(13%)、沖縄県外居住者は2,322,741人(58%)、海外居住者は1,157,638人(29%)となった。(図3-4)

月別来訪観光客数の推移を見ると1月、4月から6月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。(図3-5)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-4 2024年の観光客数（分析対象者）



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-5 2024年の月別観光客数の推移

2) 北谷町内宿泊者数

2024 年の北谷町に宿泊した観光客の実人数は 620,441 人であり、沖縄県内居住者は 15,810 人 (3%)、沖縄県外居住者は 312,584 人 (50%)、海外居住者は 292,047 人 (47%) となった。

また、北谷町に宿泊した観光客の延べ人数(人泊数)は 864,501 人であり、沖縄県内居住者は 15,810 人 (2%)、沖縄県外居住者は 410,561 人 (47%)、海外居住者は 435,395 人 (50%) となった。(図 3-6)

月別北谷町内宿泊者の推移を見ると 1 月、4 月から 6 月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。(図 3-7)

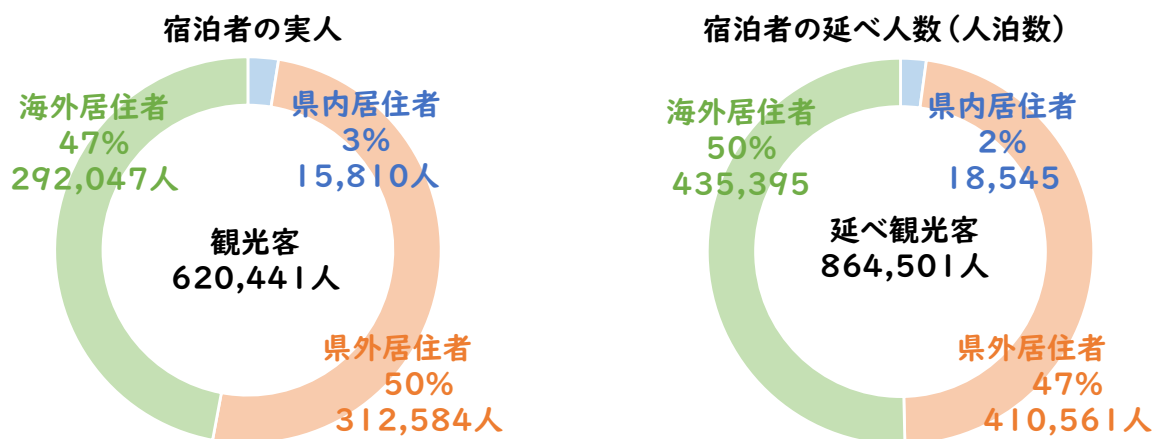
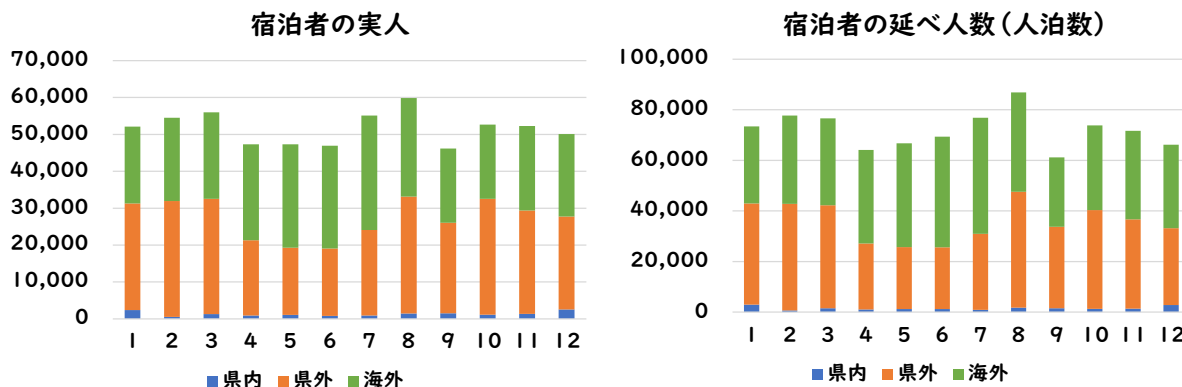


図 3-6 2024 年の北谷町内宿泊者数



※1 月 31 日～2 月 1 日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の 1 月で集計

図 3-7 2024 年の月別北谷町内宿泊者数の推移

3) 宿泊場所

美浜アメリカンビレッジや北谷フィッシャリーナの宿泊が多く、それぞれ北谷町宿泊者の約10%以上である。(図3-8)

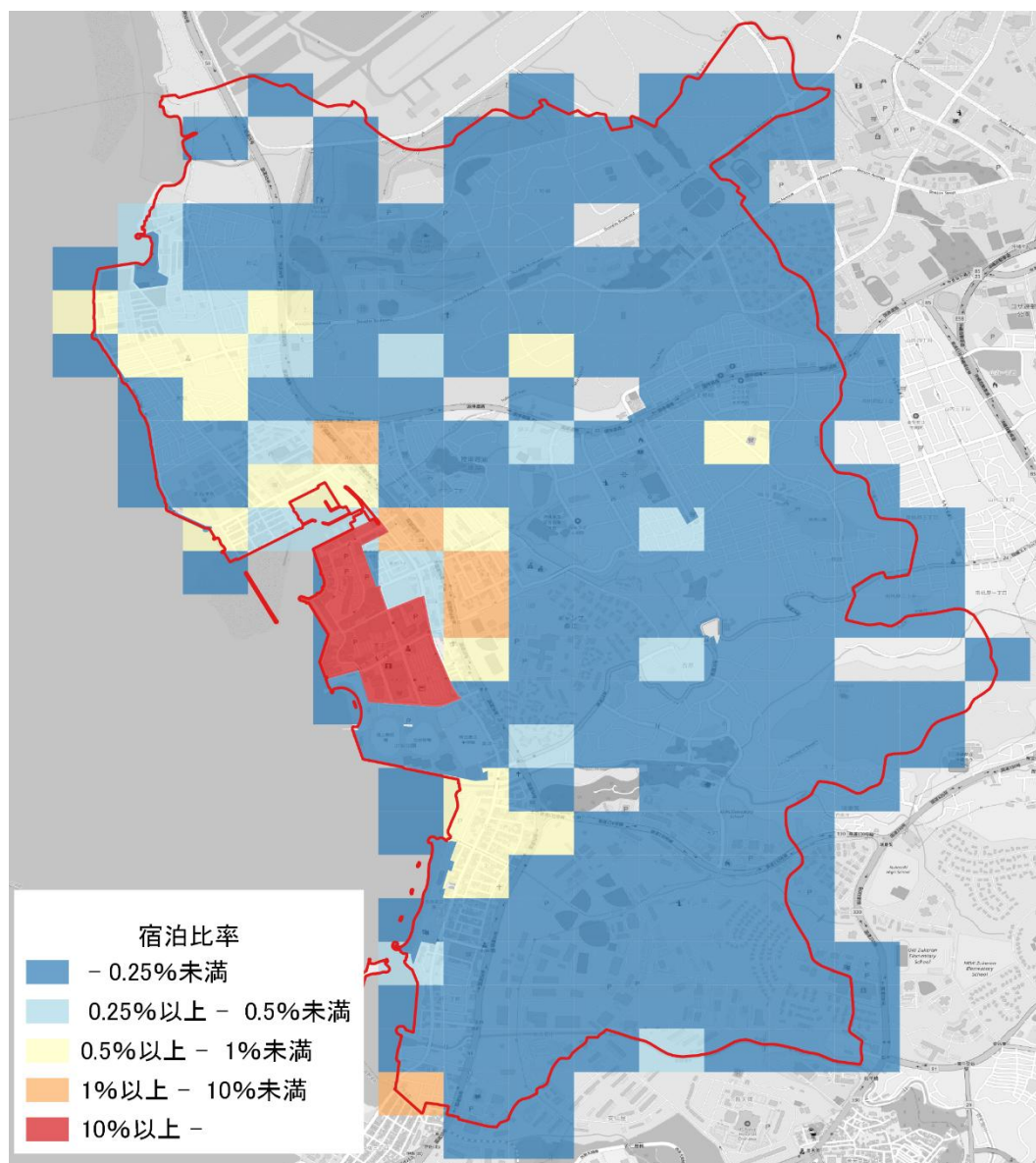
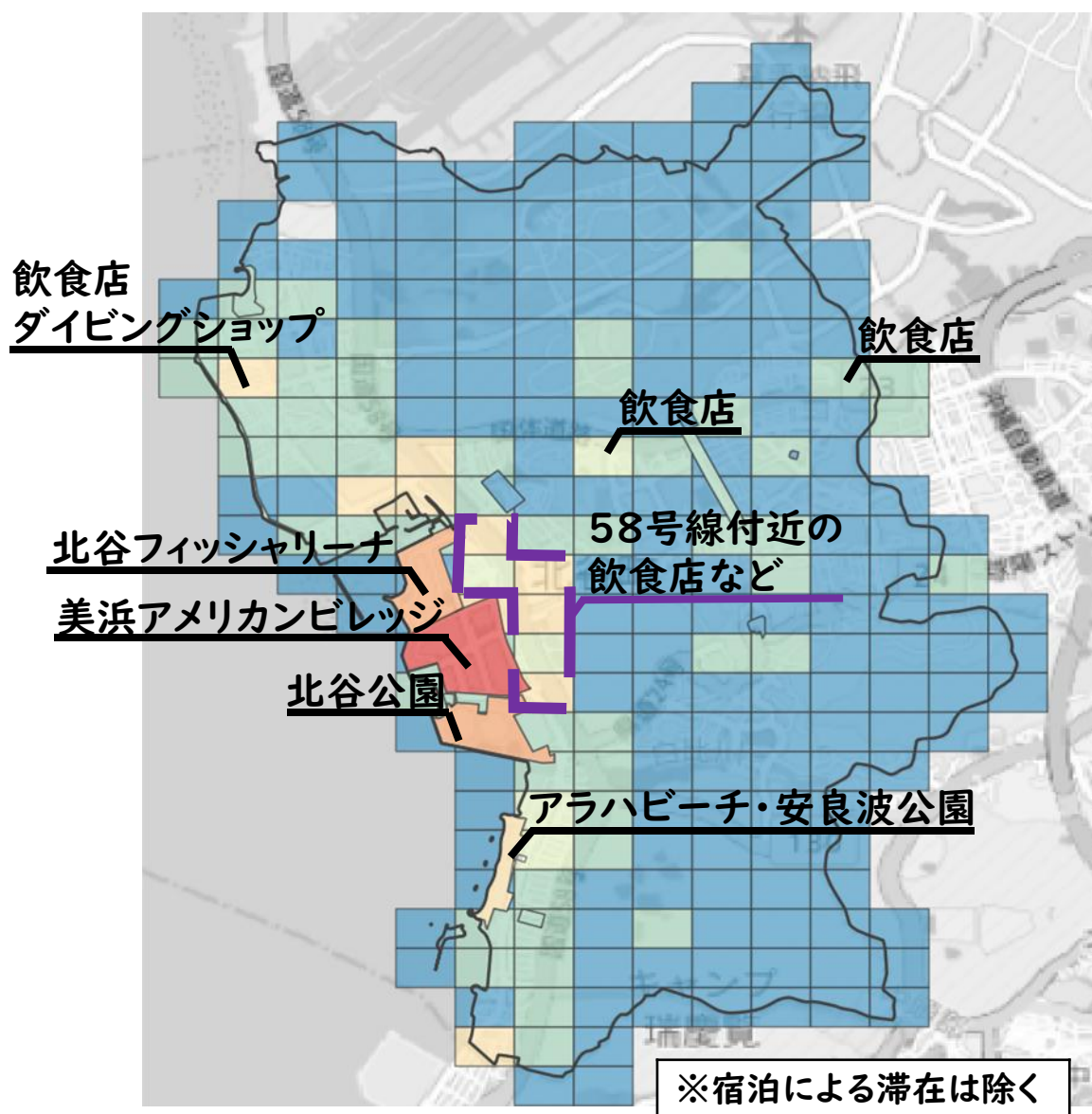


図3-8 2024年の宿泊場所

4) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 259 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 52%ともっとも高い。次いで、北谷フィッシャリーナは、約 55 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 11%である。また、北谷公園やアラハビーチ・安良波公園も他の観光スポット比べ滞在者が多く、北谷公園で約 11 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 2%、アラハビーチ・安良波公園で 7 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 1%である。(図 3－9)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%
北谷公園	26,008	84,922	2,905	113,835	4%	3%	0%	2%
アラハビーチ・安良波公園	13,727	46,464	10,841	71,032	2%	2%	1%	1%

※滞在延べ数比率が 1 %以上観光スポットを表で表示

図 3－9 滞在場所

5) 施設別滞在者比率

北谷公園は、海外居住者の比率が低く、その他の観光スポットは、県内が20%、県外が60～70%、海外が15～30%である。

博物館については、会館したばかりで県内の訪問者の割合が多いと考えられる。(図3-10)

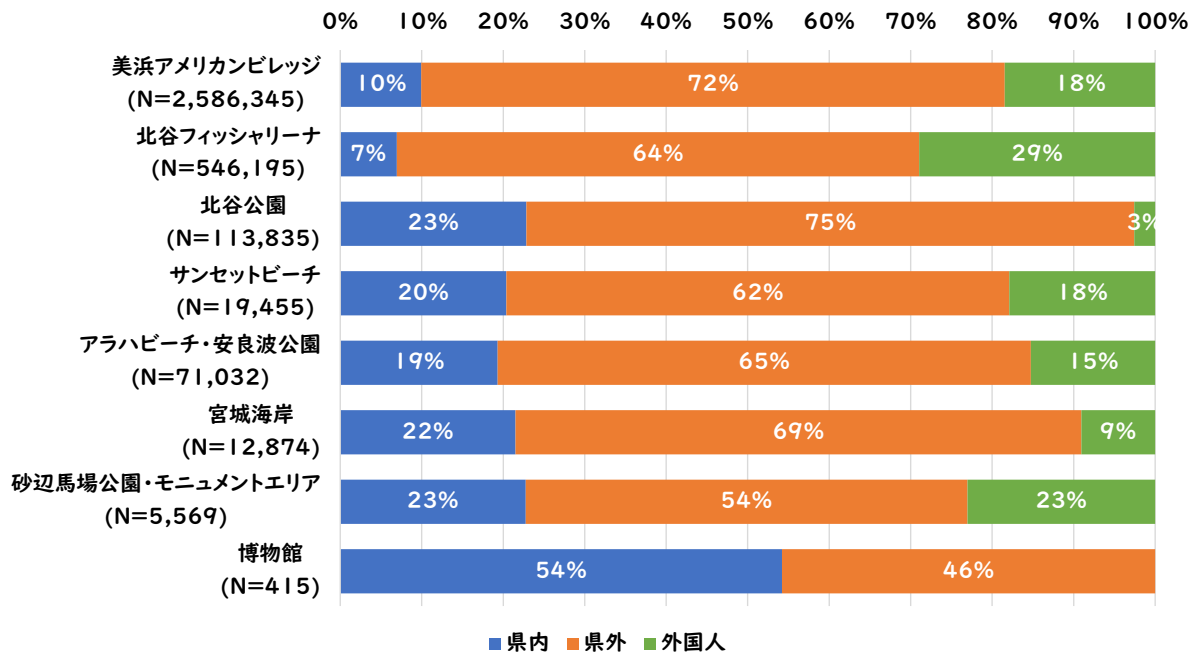


図3-10 施設別滞在者比率

6) 観光スポット別の流入流出時刻

各観光スポットの流入時刻、流出時刻を整理した。流入は各観光スポットで初めて観測された時刻、流出は各観光スポットで最後に観測された時刻である。

美浜アメリカンビレッジ

8時台から22時台にかけて流入と流出がある。特に流入では12時台から18時台が高い傾向にある。流出では14時台から16時台が高い傾向にある。(図3-11)

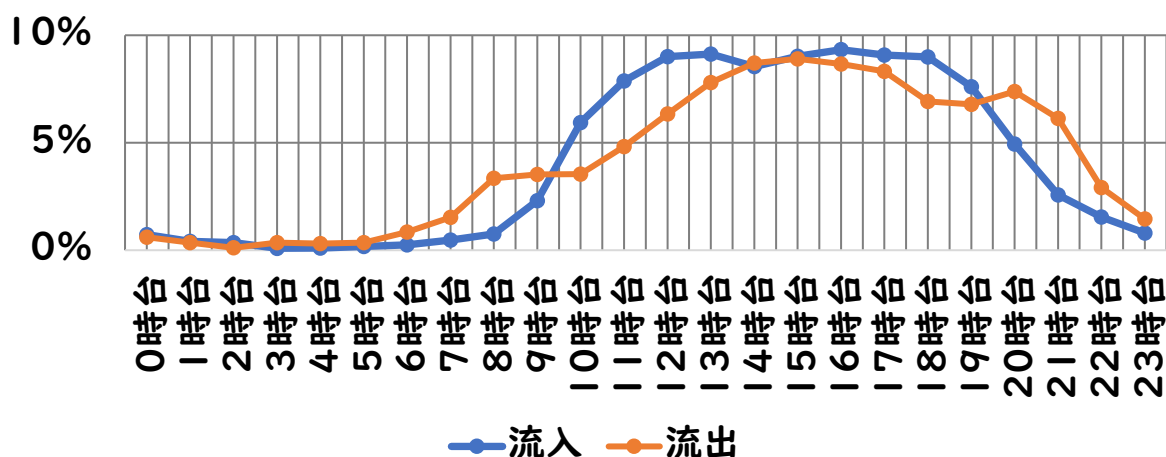


図3-11 美浜アメリカンビレッジの流入流出時刻

北谷フィッシャリーナ

7時台から23時台にかけて流入と流出がある。特に流出では8時台から9時台が高い傾向にある。流入では17時台から20時台が高い。(図3-12)

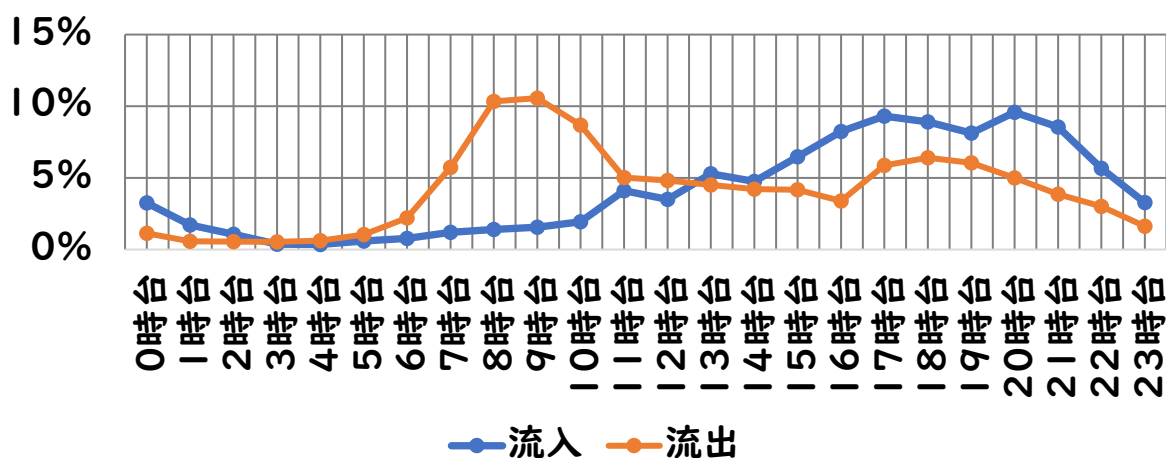


図3-12 北谷フィッシャリーナの流入流出時刻

北谷公園

7 時台から 16 時台にかけて流入と流出がある。特に流入では 9 時台と 12 時台が高い傾向にある。流出では 14 時台から 16 時台が高い。(図 3-13)

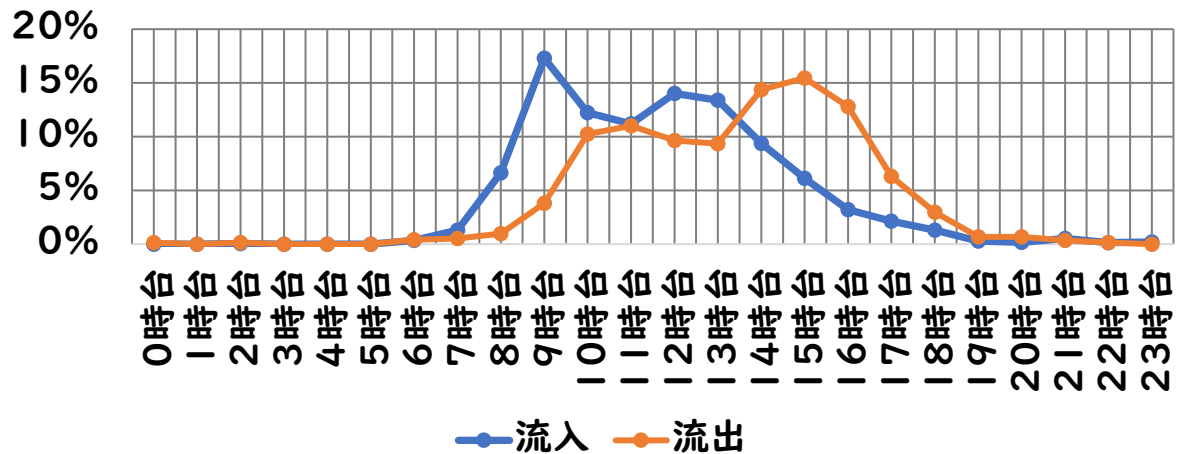


図 3-13 北谷公園の流入流出時刻

サンセットビーチ

7 時台から 23 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-14)

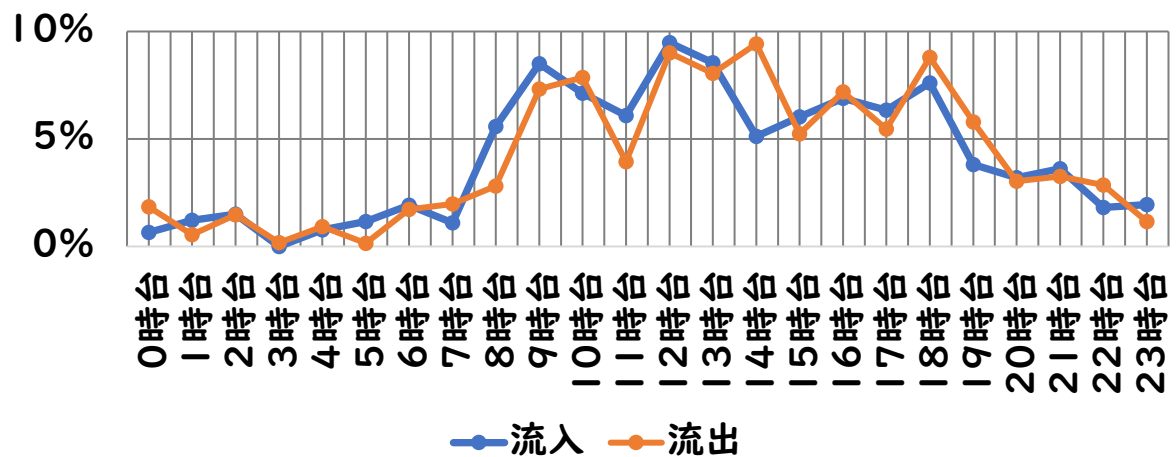


図 3-14 サンセットビーチの流入流出時刻

アラハビーチ・安良波公園

8時台から19時台にかけて流入と流出がある。特に流入では11時から12時台と15時台が高い傾向にある。流出では16時台が最も高い。(図3-15)

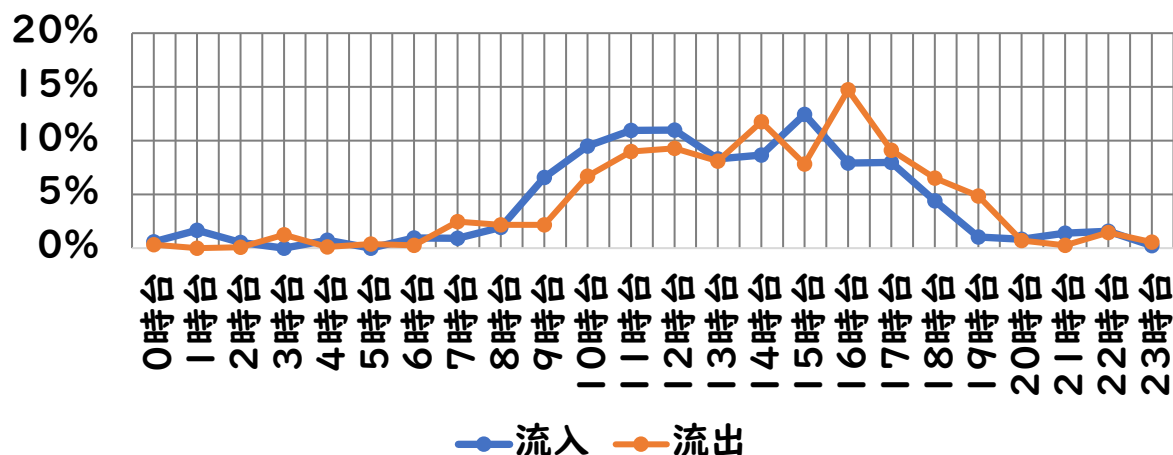


図3-15 アラハビーチ・安良波公園の流入流出時刻

宮城海岸

6時台から19時台にかけて流入と流出がある。特に流入では8時台が最も高い。(図3-16)

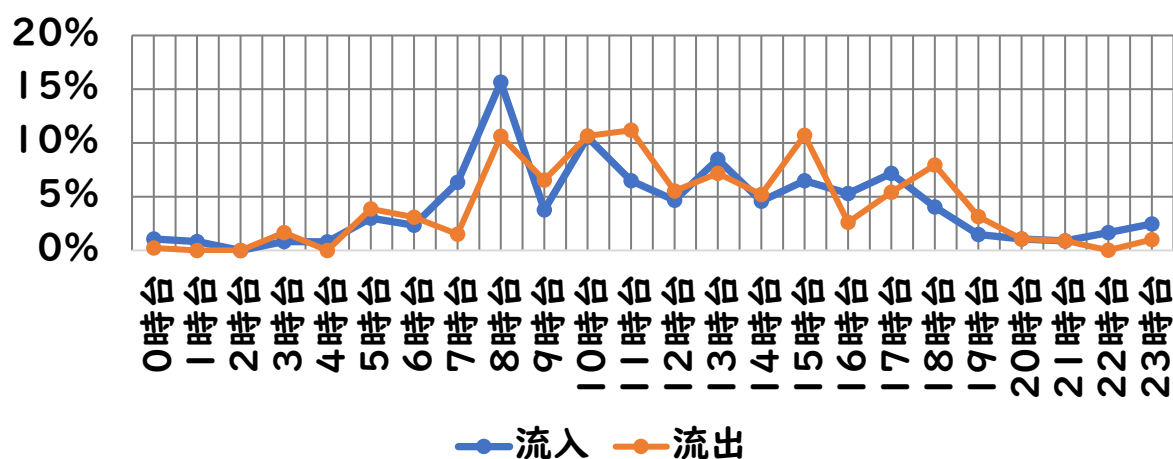


図3-16 宮城海岸の流入流出時刻

砂辺馬場公園・モニュメントエリア

6 時台から 21 時台にかけて流入と流出がある。流入と流出ともに、10 時台から 15 時台にかけて高い傾向にある。(図 3-17)

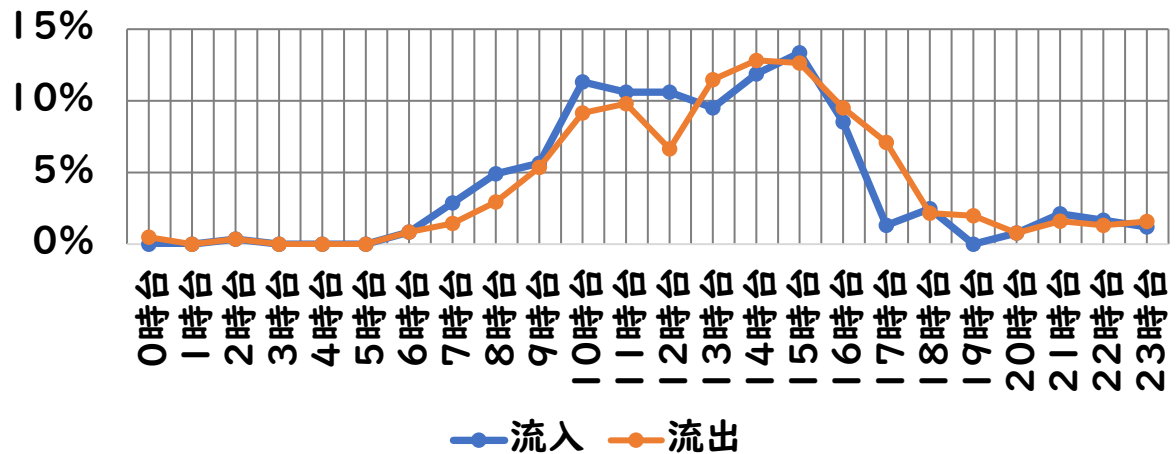


図 3-17 砂辺馬場公園・モニュメントエリアの流入流出時刻

謝荊公園

10 時台から 21 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-18)

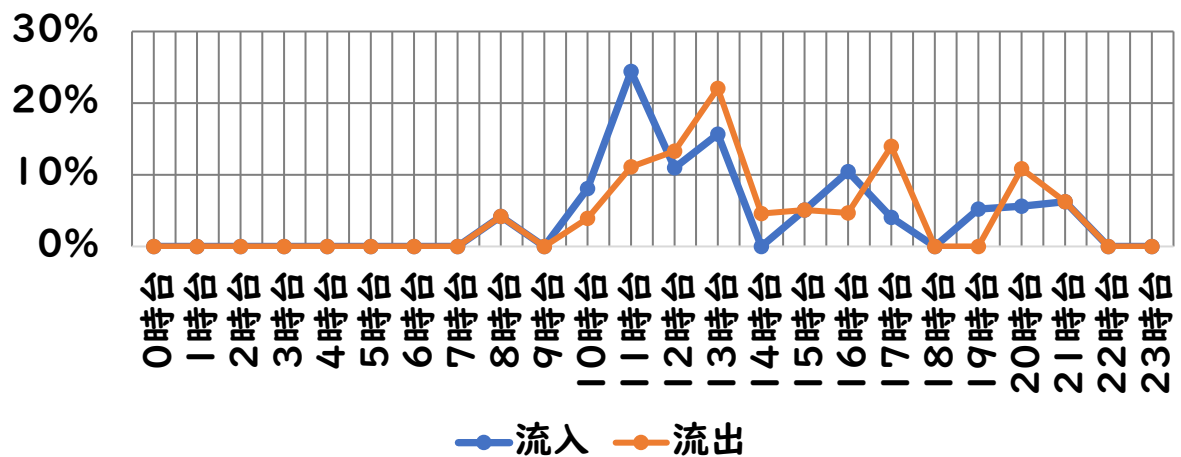


図 3-18 謝荊公園の流入流出時刻

山手通り

9時台から21時台にかけて流入と流出がある。特に流入では15時台と19時台が高い傾向にある。(図3-19)

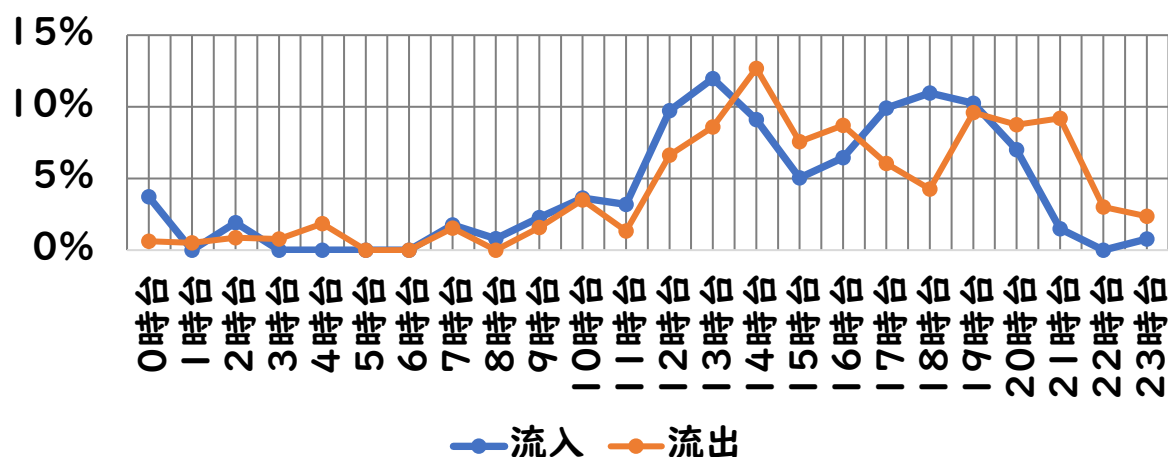


図3-19 山手通りの流入流出時刻

テルメヴィラちゅら一ゆ

9時台から21時台にかけて流入と流出がある。流入では18時台が最も高い傾向にある。流出では19時台が最も高い。(図3-20)

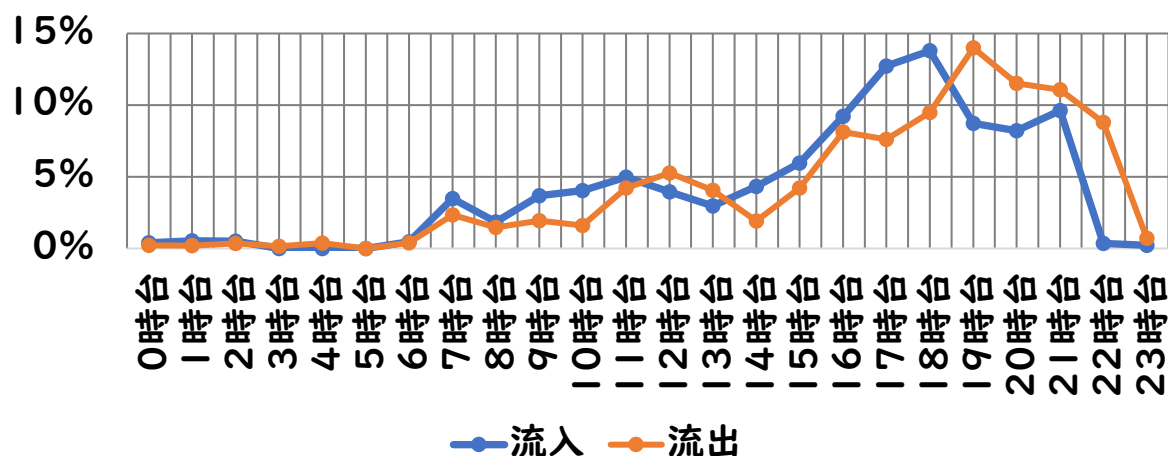


図3-20 テルメヴィラちゅら一ゆの流入流出時刻

うちなあ家

10 時台から 17 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-21)

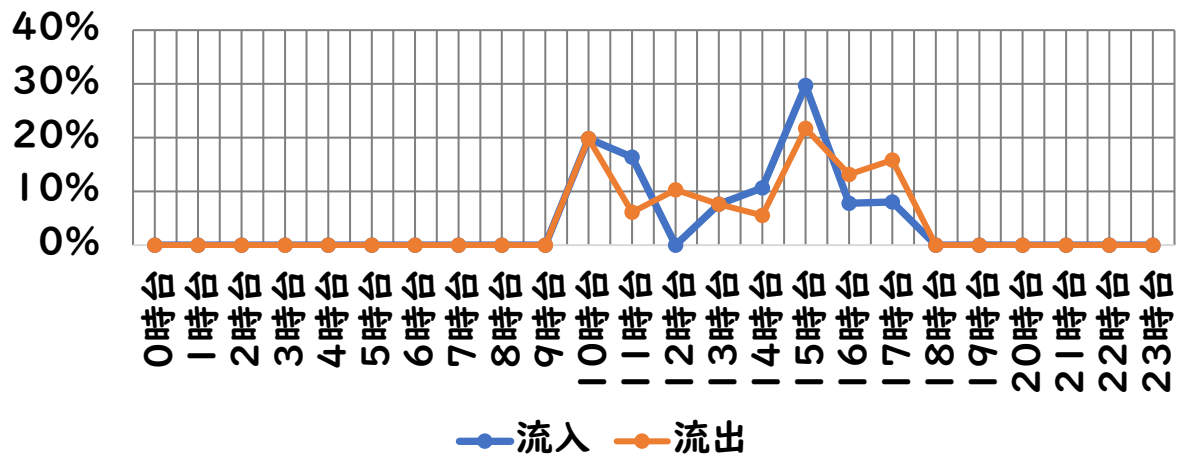


図 3-21 うちなあ家の流入流出時刻

ハンビーフリーマーケット

滞在が見られなかった。

北谷町立博物館

10 時台から 15 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-22)

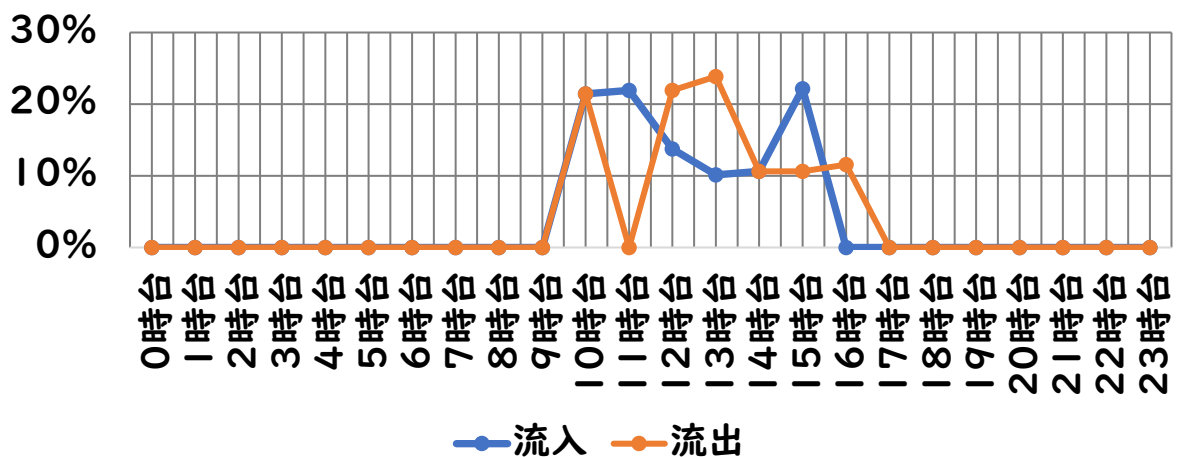


図 3-22 北谷町立博物館の流入流出時刻

7) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の74%である。上位5位までで、全体の90%をカバーしている。(表3-6、図3-23)

表3-6 観光スポット間移動上位10位

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	363,838	74%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	29,298	6%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	24,064	5%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	23,674	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	15,187	3%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄北谷公園	10,242	2%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	6,841	1%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	2,708	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	2,215	0.5%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄宮城海岸	2,123	0.4%

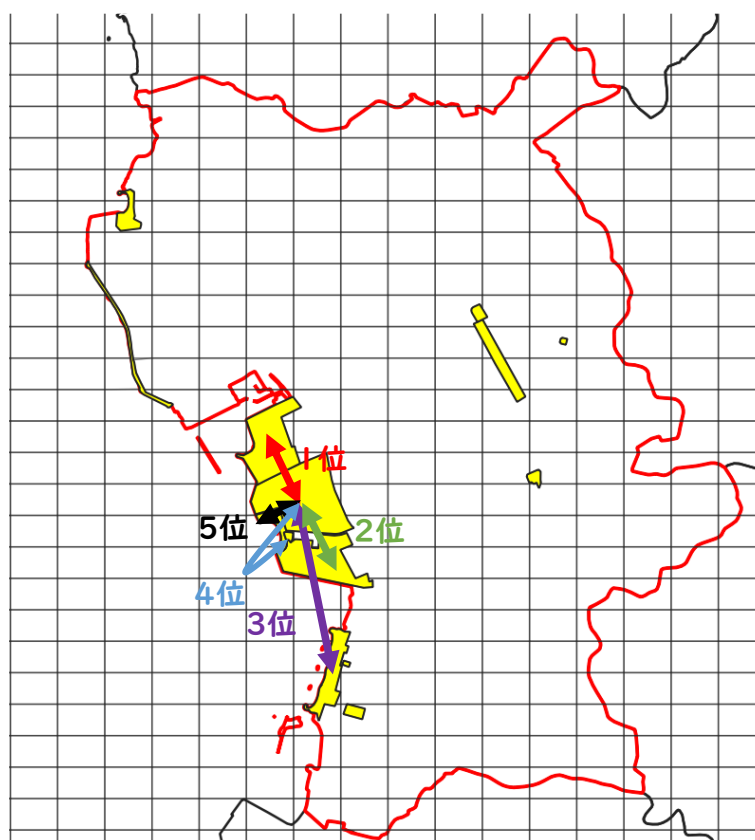


図3-23 観光スポット間移動上位5位

8) 北谷町観光スポット（施設）と町外観光スポット（施設）間の周遊状況

国際通り、美ら海水族館、首里城など観光施設の割合が高い。（表 3－7）

表 3－7 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位 5 位

上位 5 位	町外観光スポット	比率
1 位	国際通り（那覇市）	3%
2 位	美ら海水族館（本部町）	2%
3 位	那覇空港（那覇市）	2%
4 位	イオンモール沖縄ライカム（北中城村）	2%
5 位	首里城（那覇市）	1%

※滞在が多い施設についても表示している。

(2) 沖縄県内居住者の観光動態

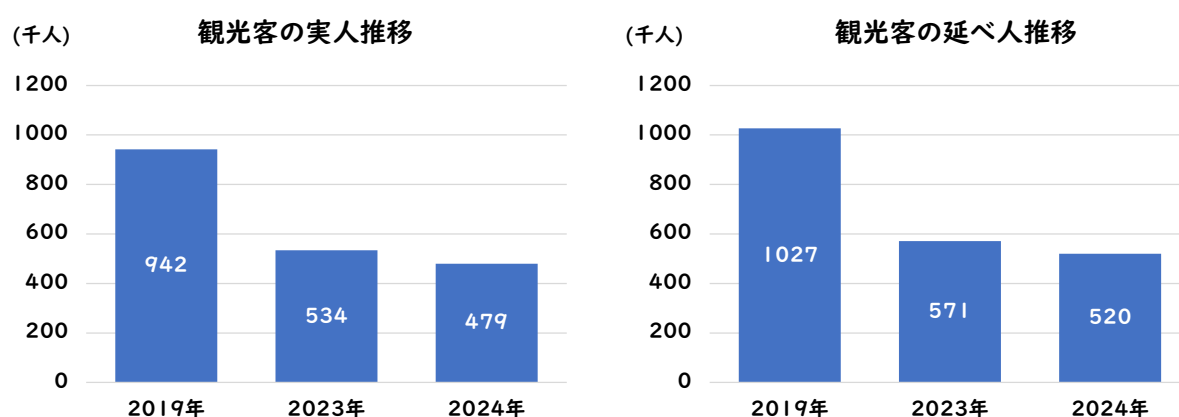
北谷町観光客のうち、沖縄県内居住者に着目し、集計を行う。

1) 観光客数

沖縄県内居住者の観光客実人数は、2019年で約94万人から2023年で約53万人、2024年で約48万人と推移しており、減少傾向である。

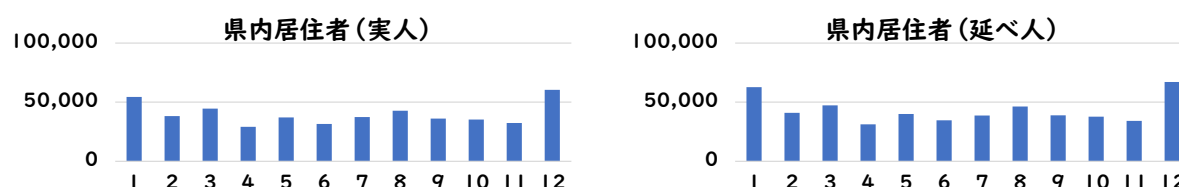
沖縄県内居住者の観光客延べ人数は、2019年で約103万人から2023年で約57万人、2024年で約52万人と推移しており、減少傾向である。(図3-24)

2024年における沖縄県内居住者の観光客の月別推移は、1月と12月が他の月と比べ観光客数が多い。(図3-25)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-24 沖縄県内居住者の観光客数の推移(年別)



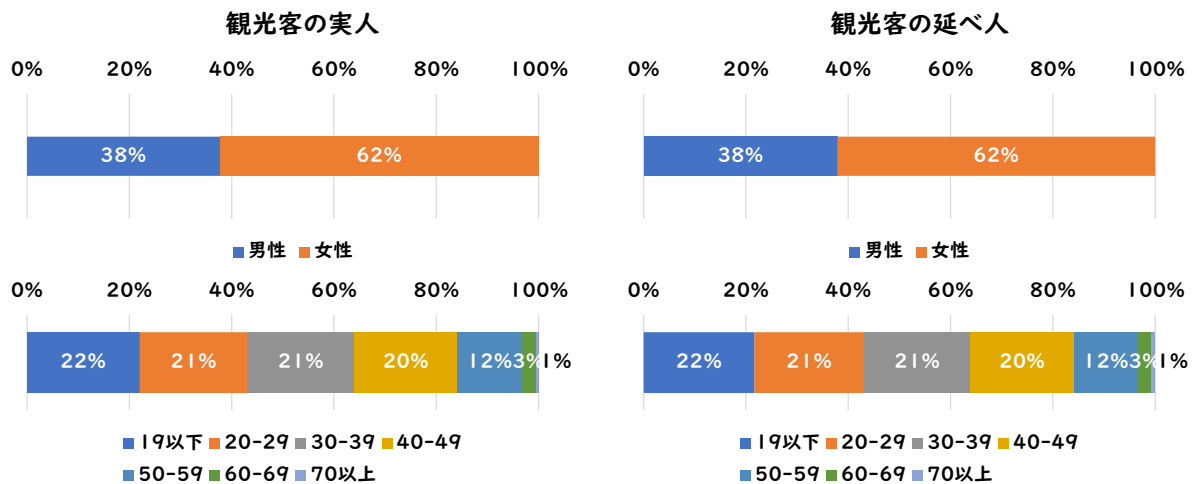
※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-25 2024年の月別沖縄県内居住者の観光客数の推移

2) 性別・年代

観光客の男女比は、実人と延べ人ともに男性 38%、女性 62%である。観光客の年代比は、実人と延べ人ともに 49 歳以下の各年代がそれぞれ 20%である。ただし、性別・年齢は一部のデータのみ取得が可能なため、注意が必要である。(図 3-26)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図 3-26 2024 年の沖縄県内居住者の観光客の性別構成比 (上：性別 下：年代)

3) 居住地

観光客の居住地の上位 5 位の順は、「那覇市」「沖縄市」「うるま市」「浦添市」「宜野湾市」である。(図 3-27、図 3-28)

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	那覇市	233,830	那覇市	121,580	那覇市	108,107
2位	沖縄市	93,362	沖縄市	55,052	沖縄市	46,479
3位	うるま市	77,173	うるま市	48,757	うるま市	44,212
4位	浦添市	71,959	浦添市	39,419	浦添市	38,384
5位	宜野湾市	61,659	宜野湾市	34,664	宜野湾市	33,998

図 3-27 2024 年県内観光客の居住地 (実数)

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	那覇市	248,978	那覇市	141,357	那覇市	112,495
2位	沖縄市	112,069	沖縄市	82,369	沖縄市	55,274
3位	うるま市	83,374	うるま市	59,287	うるま市	47,569
4位	浦添市	75,686	宜野湾市	46,632	浦添市	40,207
5位	宜野湾市	74,568	浦添市	46,255	宜野湾市	37,934

図 3-28 2024 年県内観光客の居住地 (延べ数)

4) 北谷町内宿泊者

沖縄県内居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した実人数は、2019年で約8万人から2023年で約3万人、2024年で約2万人と推移しており、減少傾向である。

沖縄県内居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した延べ人数（人泊数）は、2019年で約10万人から2023年で約4万人、2024年で約2万人と推移しており、減少傾向である。（図3－29）

2024年における沖縄県内居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した人数の月別推移は、1月と12月が他の月と比べ宿泊者数が多い。（図3－30）

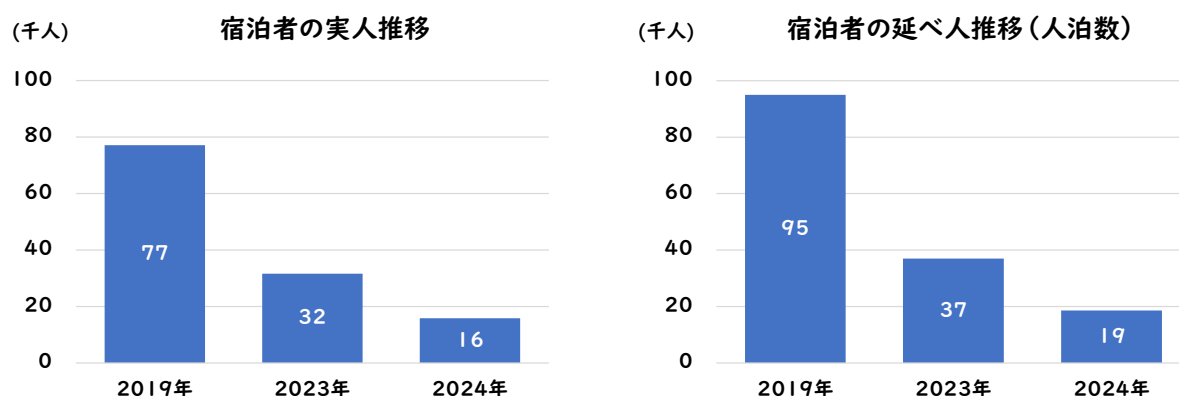
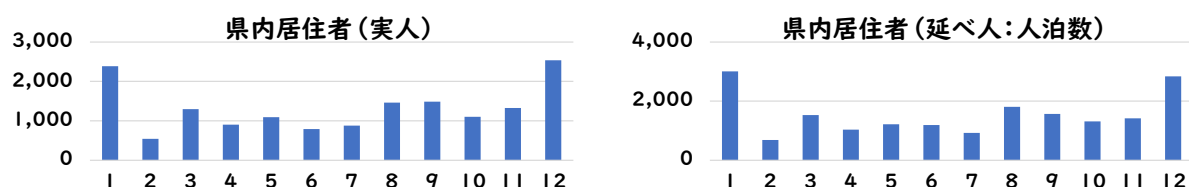


図3－29 北谷町内宿泊者数の推移（年別）

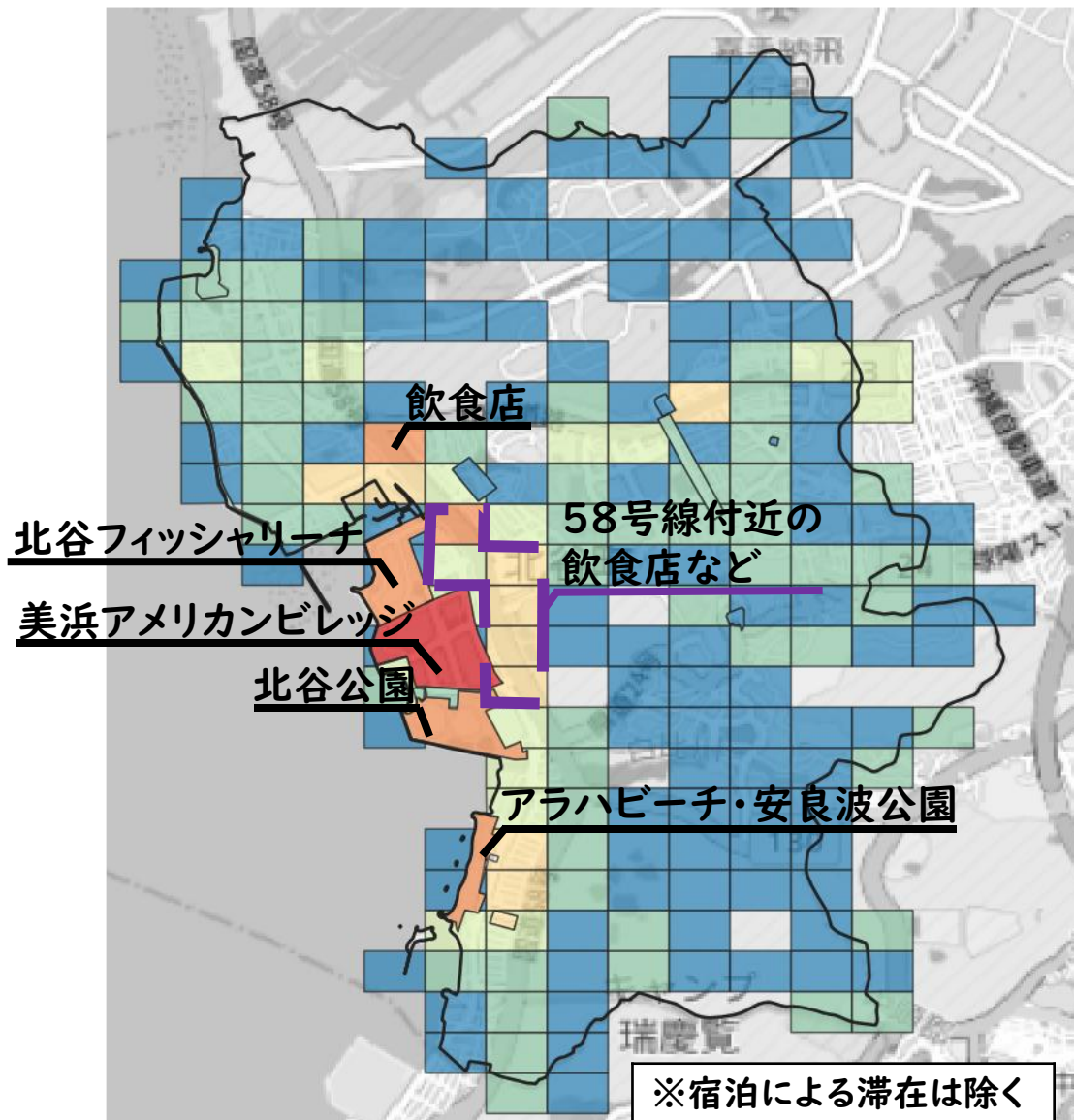


※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3－30 2024年の月別北谷町内宿泊者数の推移

5) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 26 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 52%ともっとも高い。次いで、北谷フィッシャリーナは、約 4 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 11%である。また、北谷公園やアラハビーチ・安良波公園も他の観光スポット比べ滞在者が多く、北谷公園で約 3 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 2%、アラハビーチ・安良波公園で 1 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 1%である。(図 3-31)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%
北谷公園	26,008	84,922	2,905	113,835	4%	3%	0%	2%
アラハビーチ・安良波公園	13,727	46,464	10,841	71,032	2%	2%	1%	1%

※県内居住者比率が1%以上の観光スポットを表で表示

図 3-31 沖縄県内居住者の滞在場所

6) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の52%である。上位5位までで、全体の89%をカバーしている。(表3-8、図3-32)

表3-8 観光スポット間移動上位10位

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	10,721	52%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	3,517	17%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	2,276	11%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	1,128	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	732	4%
6位	アラハビーチ・安良波公園⇄北谷公園	498	2%
7位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	240	1%
8位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	172	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	171	1%
10位	北谷フィッシャリーナ⇄宮城海岸	137	1%

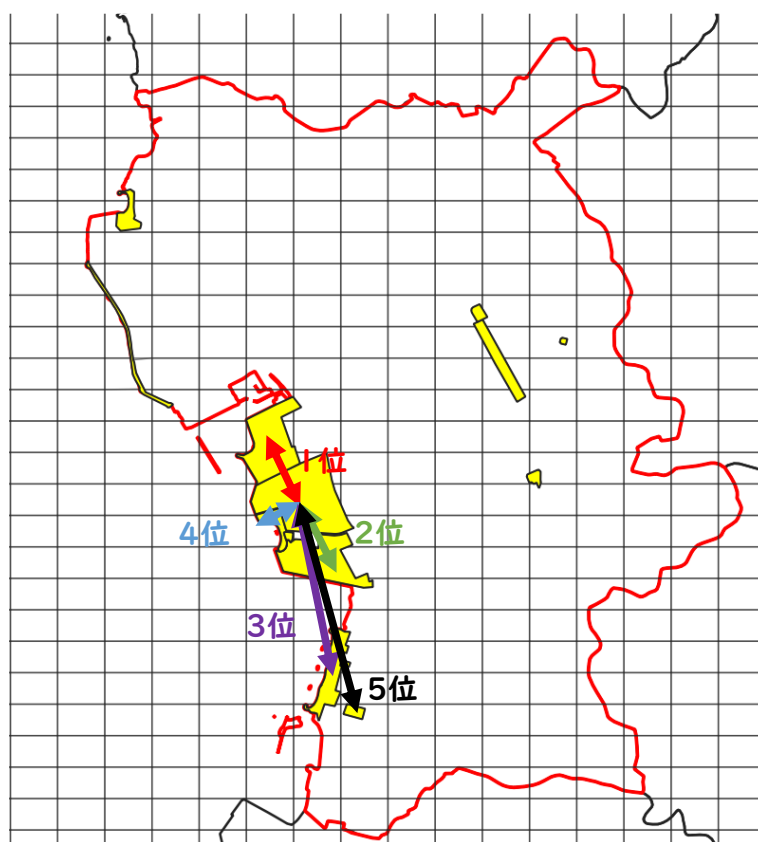


図3-32 観光スポット間移動上位5位

6) 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況

ショッピング施設の割合が高い。(表3-9)

表3-9 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位5位

上位5位	町外観光スポット	比率
1位	イオンモール沖縄ライカム(北中城村)	2%
2位	サンエー浦添西海岸 PARCO city(浦添市)	2%
3位	はにんす宜野湾(宜野湾市)	1%
4位	サンエーコンベンションシティ(宜野湾市)	1%
5位	那覇オーパ(那覇市)	0%

※滞在が多い施設についても表示している。

(3) 沖縄県外居住者の観光動態

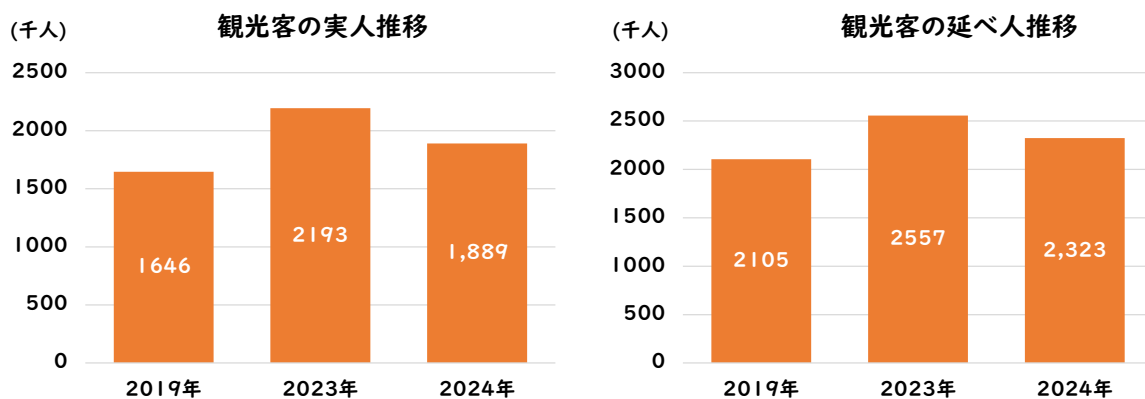
北谷町観光客のうち、沖縄県外居住者に着目し、集計を行う。

1) 観光客数

沖縄県外居住者の観光客実人数は、2019年で約165万人から2023年で約219万人、2024年で約189万人と推移している。

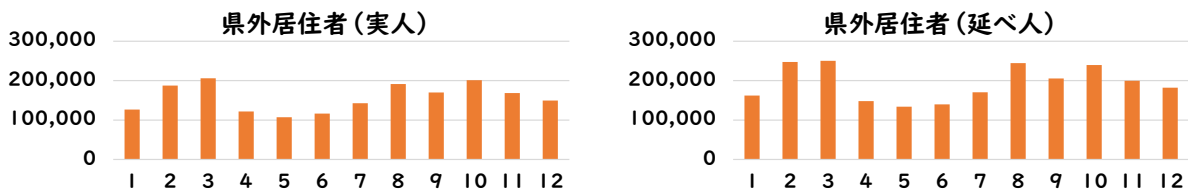
沖縄県外居住者の観光客延べ人数は、2019年で約210万人から2023年で約256万人、2024年で約232万人と推移している。(図3-33)

2024年における沖縄県外居住者の観光客の月別推移は、1月、4月から6月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。(図3-34)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-33 沖縄県外居住者の観光客数の推移(年別)



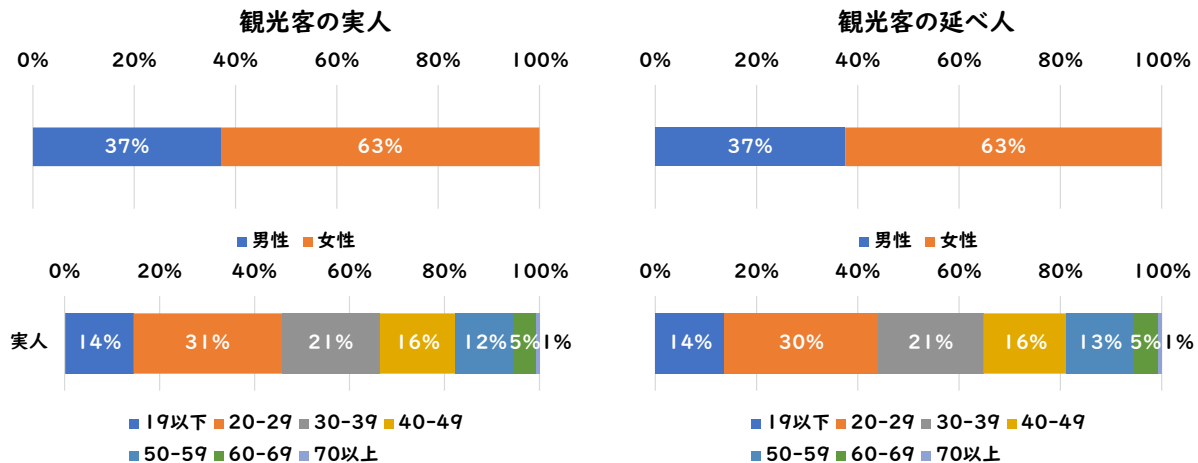
※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-34 2024年の月別沖縄県外居住者の観光客数の推移

2) 性別・年代

観光客の男女比は、実人と延べ人ともに男性 37%、女性 63%である。観光客の年代比は、実人と延べ人ともに 20 代が最も高く約 30%である。次いで 30 代の 21%である。ただし、性別・年齢は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。(図 3-35)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図 3-35 2024 年の沖縄県外居住者の観光客の性別構成比（上：性別 下：年代）

3) 居住地

観光客の県外居住地に着目すると、東京都、愛知県、神奈川県、大阪府が 2019 年、2023 年、2024 年で 1 位から 4 位である。(図 3-36、図 3-37)

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	東京都	231,359	東京都	361,603	東京都	274,799
2位	大阪府	141,029	大阪府	215,081	大阪府	166,095
3位	愛知県	136,604	神奈川県	189,495	神奈川県	161,232
4位	神奈川県	132,275	愛知県	178,566	愛知県	149,484
5位	福岡県	106,807	福岡県	123,927	埼玉県	108,608
6位	埼玉県	93,749	埼玉県	122,183	福岡県	103,727
7位	千葉県	88,033	千葉県	118,310	千葉県	102,329
8位	兵庫県	82,962	兵庫県	114,764	兵庫県	88,948
9位	北海道	50,510	北海道	64,729	静岡県	48,696
10位	静岡県	42,133	京都府	57,645	京都府	40,136

図 3-36 2024 年県外観光客の居住地（実数）

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	東京都	303,754	東京都	378,537	東京都	353,262
2位	愛知県	177,080	大阪府	247,962	神奈川県	201,649
3位	大阪府	174,760	神奈川県	222,449	大阪府	199,263
4位	神奈川県	172,828	愛知県	209,485	愛知県	190,970
5位	福岡県	129,900	埼玉県	144,408	埼玉県	135,370
6位	埼玉県	123,911	福岡県	139,218	福岡県	123,911
7位	千葉県	114,661	千葉県	136,370	千葉県	123,437
8位	兵庫県	98,796	兵庫県	130,001	兵庫県	107,636
9位	北海道	68,715	北海道	79,950	北海道	72,383
10位	静岡県	51,745	京都府	65,151	茨城県	61,136

図3-37 2024年県外観光客の居住地（延べ数）

4) 北谷町内宿泊者

沖縄県外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した実人数は、2019年で約63万人から2023年で約54万人、2024年で約31万人と推移している。

沖縄県外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した延べ人数（人泊数）は、2019年で約85万人から2023年で約72万人、2024年で約41万人と推移している。（図3-38）

2024年における沖縄県外居住者の観光客の月別推移は、4月から6月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。（図3-39）

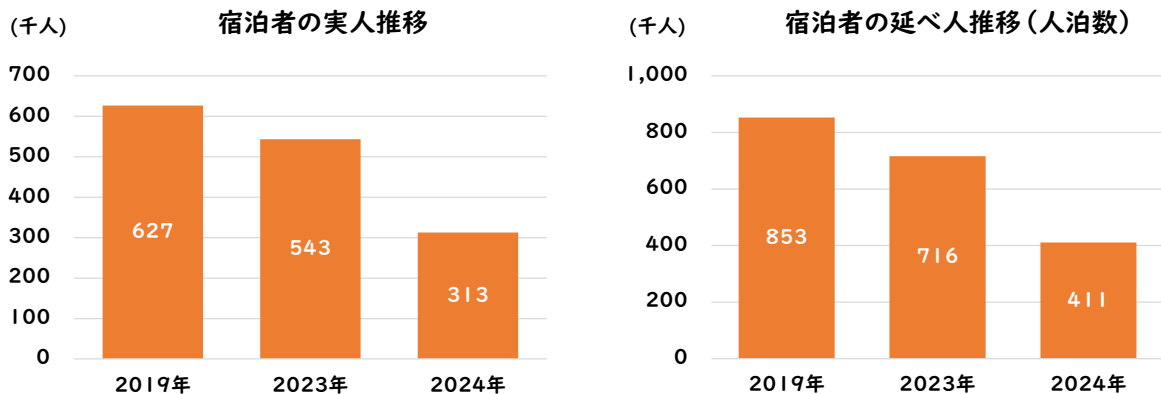
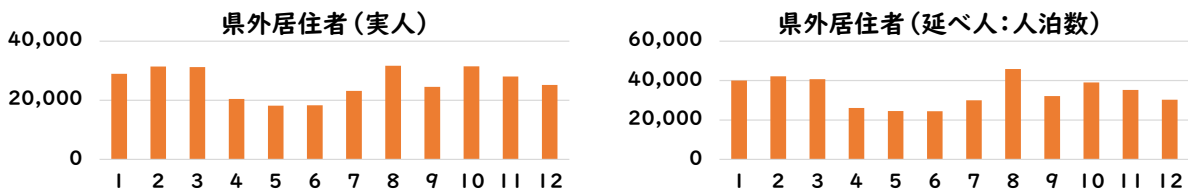


図3-38 沖縄県外居住者の観光客数の推移（年別）

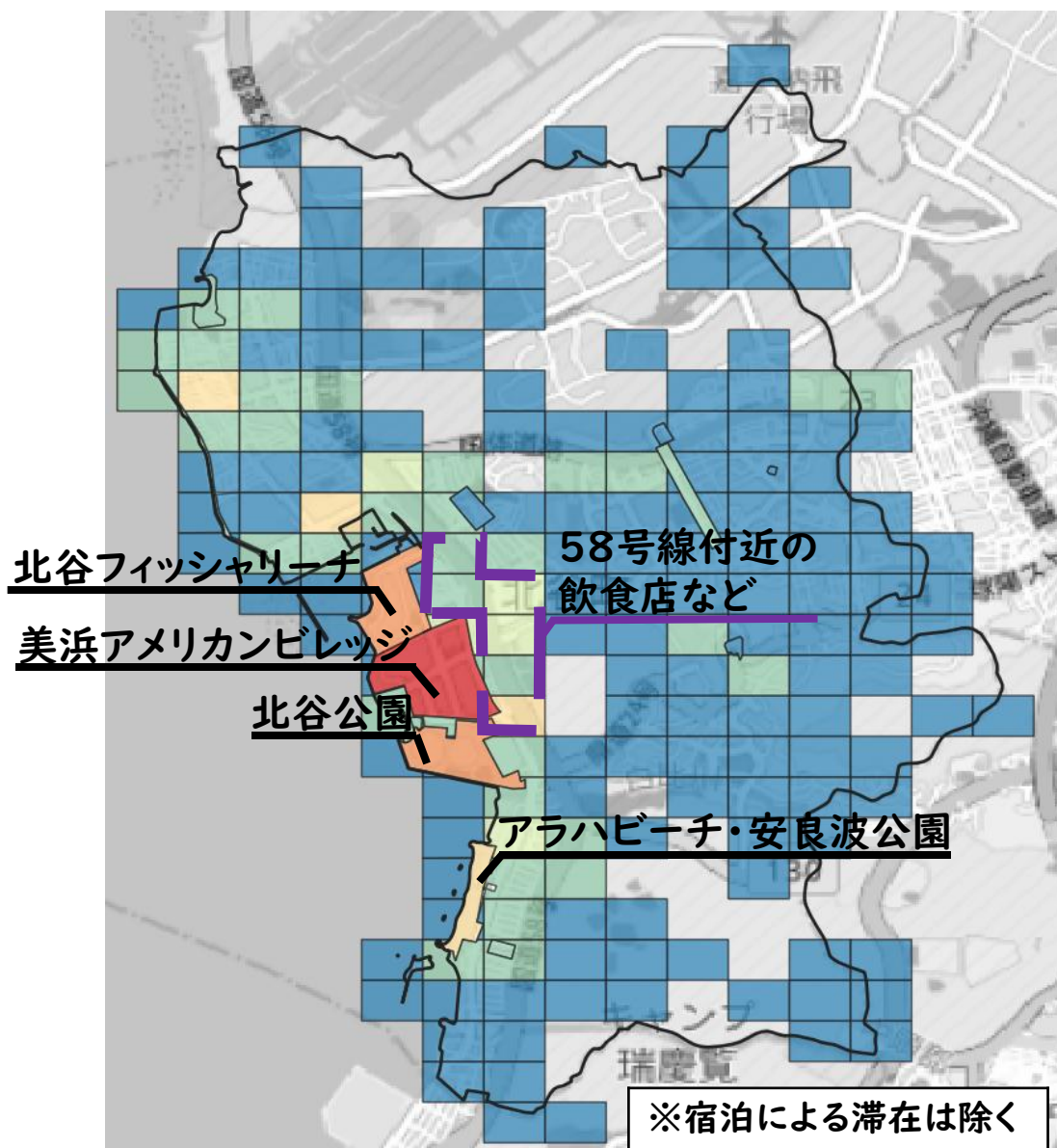


※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-39 2024年の月別沖縄県外居住者の観光客数の推移

5) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 185 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 64%ともっとも高い。次いで、北谷フィッシャリーナは、約 35 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 12%である。また、北谷公園やアラハビーチ・安良波公園も他の観光スポット比べ滞在者が多く、北谷公園で約 8 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 3%、アラハビーチ・安良波公園で 5 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 2%である。(図 3-40)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%
北谷公園	26,008	84,922	2,905	113,835	4%	3%	0%	2%
アラハビーチ・安良波公園	13,727	46,464	10,841	71,032	2%	2%	1%	1%

※県外居住者比率が1%以上の観光スポットを表で表示

図 3-40 沖縄県外居住者の滞在場所

6) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の72%である。上位5位までで、全体の92%をカバーしている。(表3-10、図3-41)

表3-10 観光スポット間移動上位10位

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	273,522	72%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	25,521	7%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	19,514	5%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	17,476	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	11,614	3%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄北谷公園	10,047	3%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	5,507	1%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄宮城海岸	1,871	0.4%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	1,865	0.3%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	1,810	0.2%

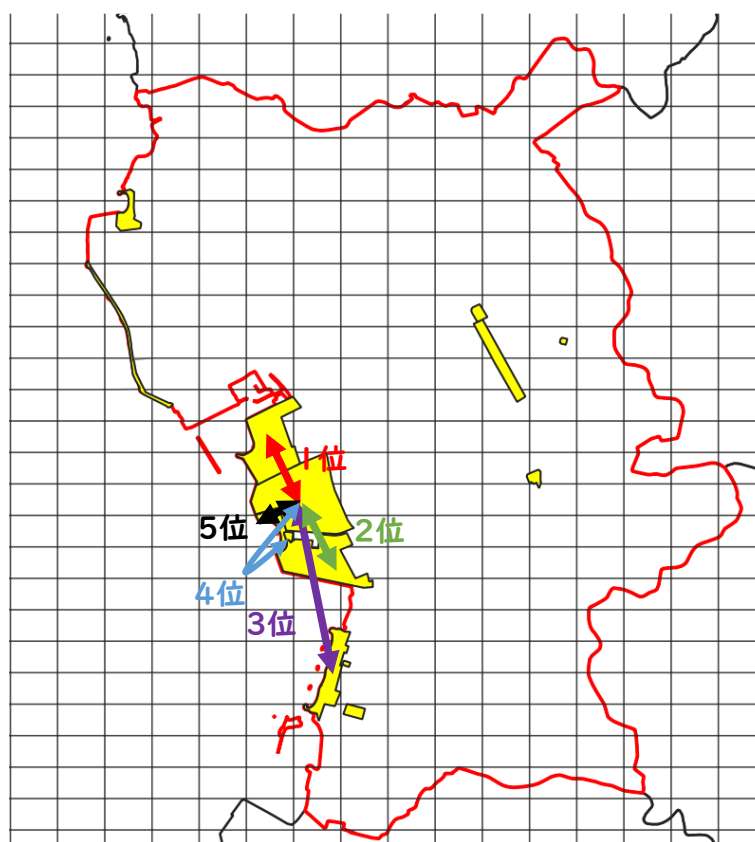


図3-41 観光スポット間移動上位5位

7) 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況

国際通り、美ら海水族館、首里城などの観光施設の割合が高い。

年別に見ると 2019 年は、那覇空港が最も高いが、2023 年と 2024 年は国際通りである。各年の 1 位から 3 位は「那覇空港」「美ら海水族館」「国際通り」である。(表 3-11)

表 3-11 年別北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位 5 位

上位 5 位	2019 年		2023 年		2024 年	
	観光地	比率	観光地	比率	観光地	比率
1 位	那覇空港 (那覇市)	4%	国際通り (那覇市)	5%	国際通り (那覇市)	3%
2 位	美ら海水族館 (本部町)	3%	那覇空港 (那覇市)	5%	美ら海水族館 (本部町)	3%
3 位	国際通り (那覇市)	2%	美ら海水族館 (本部町)	3%	那覇空港 (那覇市)	2%
4 位	ラグナガーデン (宜野湾市)	1%	首里城 (那覇市)	2%	首里城 (那覇市)	1%
5 位	リザンシーパー ク谷茶ベイ (恩納村)	1%	リザンシーパー ク谷茶ベイ (恩納村)	1%	リザンシーパー ク谷茶ベイ (恩納村)	1%

※滞在が多い施設についても表示している。

(4) 沖縄県外居住者の観光動態

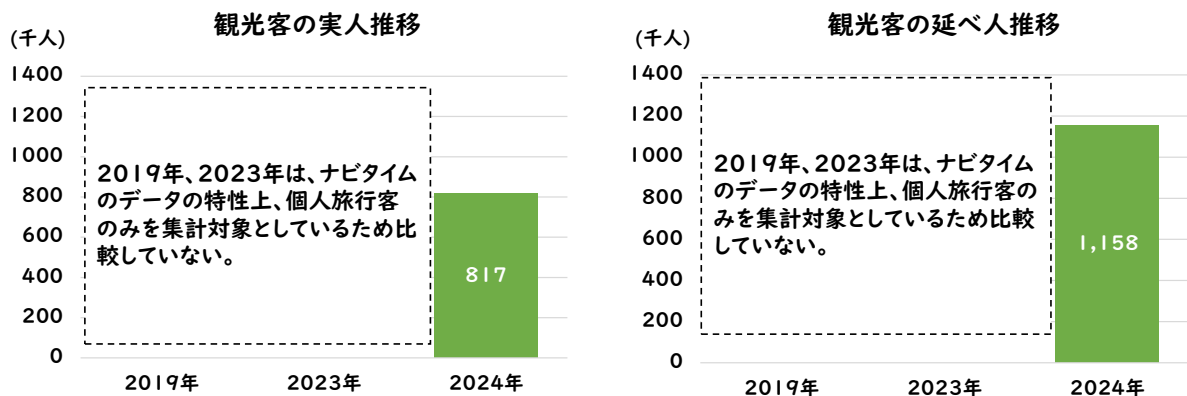
北谷町観光客のうち、海外居住者に着目し、集計を行う。

1) 観光客数

海外居住者の観光客実人数は、2024年で約82万人となっている。

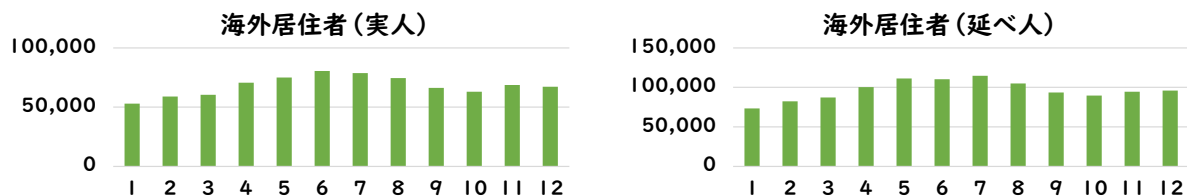
海外居住者の観光客延べ人数は、2024年で約116万人となっている。(図3-42)

2024年における海外居住者の観光客の月別推移は、7月の来訪観光客が他の月と比べ最も多い。1年を通して、閑散期があまりない。(図3-43)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-42 海外居住者の観光客数の推移（年別）



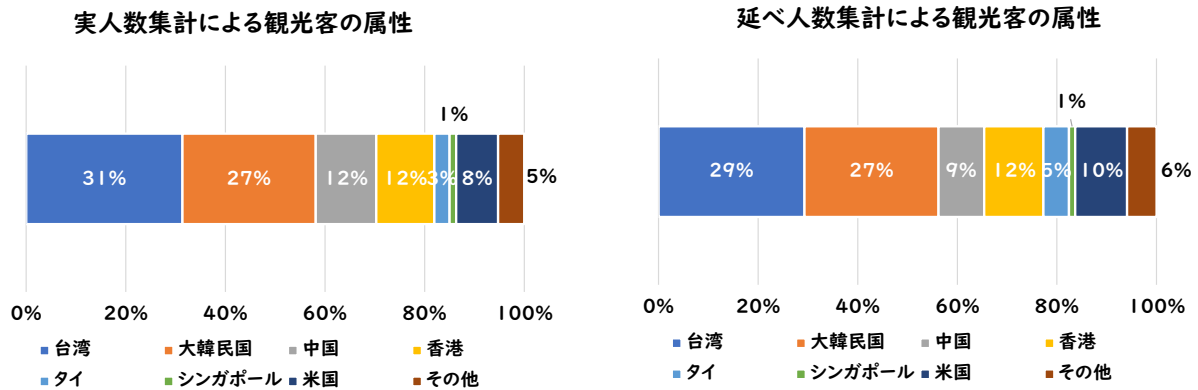
※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-43 2024年の月別海外居住者の観光客数の推移

2) 居住地

台湾からの来訪が最も高く全体の約3割であり、次いで韓国も同程度である。全体としてアジア圏からの来訪が多く、全体の8割である。(図3-44)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-44 2024年の海外居住者の観光客の居住地

3) 北谷町内宿泊者

海外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した実人数は、2024年で約29万人である。

海外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した延べ人数（人泊数）は、2024年で約43万人である。(図3-45)

2024年における海外居住者の観光客の月別推移は、7月の来訪観光客が他の月と比べ最も多い。(図3-46)

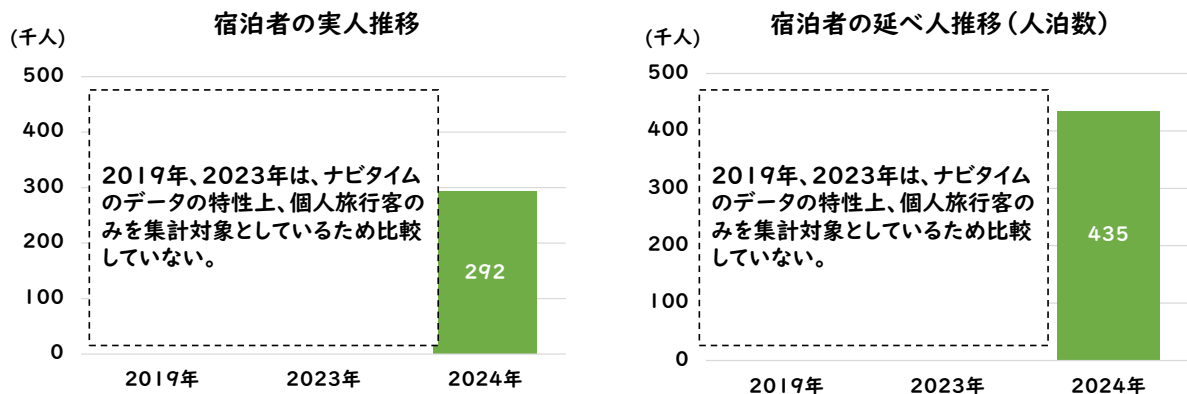
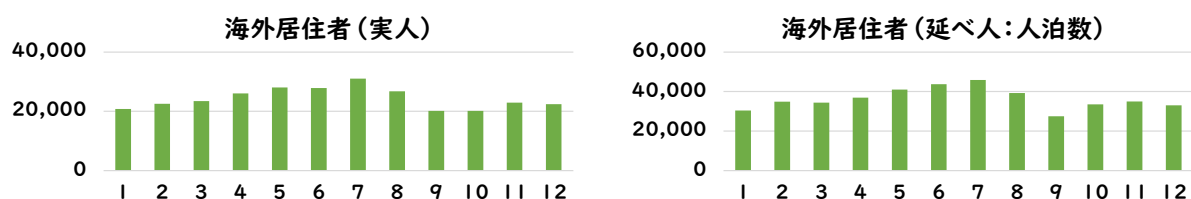


図3-45 年別北谷町内宿泊者数の推移



※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

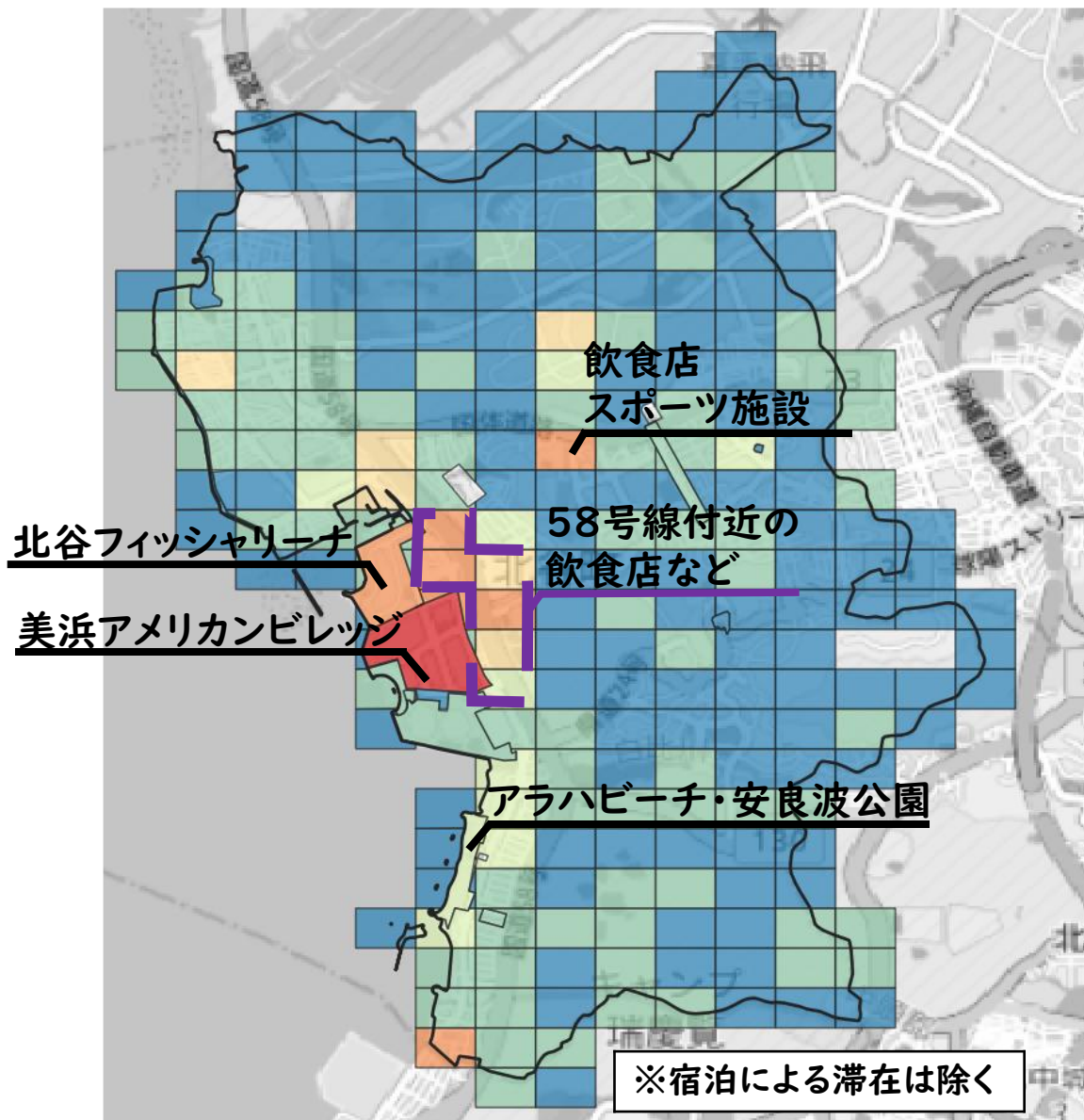
図3-46 2024年の月別海外居住者の観光客数の推移

4) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 48 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 32%である。

北谷フィッシャリーナは、約 35 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 11%である。

(図 3-47)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%

※海外居住者比率が1%以上の観光スポットを表で表示

図 3-47 海外居住者の滞在場所

5) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の85%である。上位10位までで、全体の97%をカバーしている。(表3-12、図3-48)

表3-12 観光スポット間移動上位10位

上位5位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	79,595	85%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	5,958	6%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	2,445	3%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	2,274	4%
5位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	1,163	1%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	352	0.4%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	264	0.3%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	260	0.2%
9位	美浜アメリカンビレッジ⇄ユニオン北谷店	194	0.2%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	166	0.1%

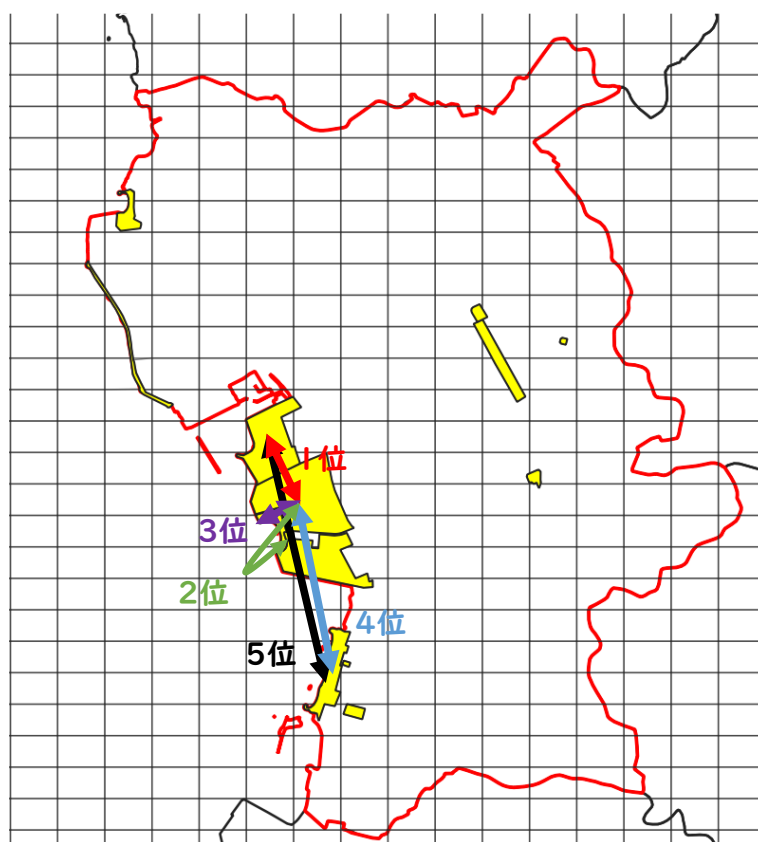


図3-48 観光スポット間移動上位5位

6) 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況

国際通り、美ら海水族館、首里城などの観光施設の割合が高い。(表 3-13)

表 3-13 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位 10 位

上位 5 位	町外観光スポット	比率
1 位	イオンモール沖縄ライカム（北中城村）	3%
2 位	国際通り（那覇市）	2%
3 位	美ら海水族館（本部町）	2%
4 位	首里城（那覇市）	1%
5 位	那覇空港（那覇市）	1%

※滞在が多い施設についても表示している。

(5) シーポートちやたんカーニバルの分析

1) 分析対象日と分析対象場所

分析を行うシーポートちやたんカーニバルは2019年7月13日～14日、2024年9月28日～29日に開催されている。なお、シーポートちやたんカーニバルについては、観光客以外として除外した「北谷町民」、「通勤者や納品者」、「長期滞在者」も対象として集計している。

分析対象の場所は、開催場所であるサンセットビーチを対象とした。下図のオレンジ色のメッシュ部分（図3-49）である。



図3-49 分析対象の場所

2) シーポートちやたんカーニバル開催期間中のサンセットビーチ延べ来訪者

2019年のイベント開催期間中にサンセットビーチを訪れた人数は20,008人観測された。

2024年のイベント開催期間中にサンセットビーチを訪れた人数は33,795人観測された。

(表3-14)

表3-14 サンセットビーチ来訪者数

年	来訪者数	比
2019	20,008 人	
2024	33,642 人 (日本人) 153 人 (海外)	1.69 (2024 年/2019 年)

（６）中日ドラゴンズ春季キャンプの分析

中日ドラゴンズ春季キャンプは、2019年2月1日～2月27日、2023年2月1日～2月26日、2024年2月1日～25日に北谷公園（Agre スタジアム北谷）で行われている。

１）キャンプ期間中の北谷町来訪者

2019年に行われた中日ドラゴンズ春季キャンプの北谷町来訪者数は、255,957人であった。

2023年に行われた中日ドラゴンズ春季キャンプの北谷町来訪者数は、334,537人であった。

2024年に行われた中日ドラゴンズ春季キャンプの北谷町来訪者数は、268,414人であった。

（表3-15）

表3-15 キャンプ期間中の北谷町来訪者数

年	来訪者数	比
2019	255,957 人	
2023	334,537 人	1.31 (2023 年/2019 年)
2024	268,414 人	1.05 (2024 年/2019 年)

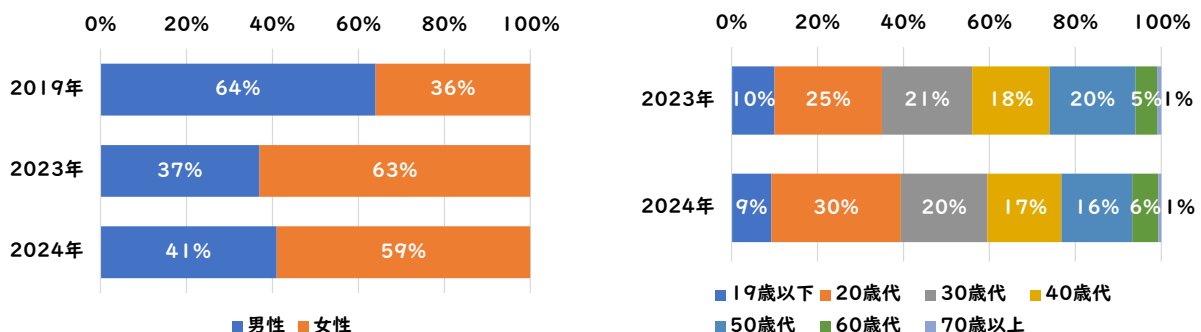
※1 度北谷町外に出て再び北谷町内を訪れた場合、町内を出た日と再び訪れた日が同じならば1カウントとして集計。

キャンプ期間中の来訪者の男女比を見ると、2019年は女性より男性の方が高いが、2023年、2024年では、男性より女性の割合が高くなっている。

年齢構成比を見ると、20代が最も高く25%であり、次いで30代の21%である。30代以下で全体の56%である。

2024年キャンプ期間期間中の来訪者の男女比を見ると、男性より女性の方が高い。年齢構成比を見ると、20代が最も高く30%であり、次いで30代の20%である。30代以下で全体の59%である。

ただし、性別と年齢は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。（図3-50）



*1 度北谷町に出て再び北谷町を訪れた場合、町内を出た日と再び訪れた日が同じならば1カウントとして集計。

図3-50 キャンプ期間中の北谷町来訪者の性別と年代の構成比

2) 春季キャンプに訪れた人の宿泊状況

春季キャンプに訪れた観光客が北谷町内に宿泊しているか確認するため、春季キャンプ期間中に北谷公園を訪れた観光客の宿泊場所について分析を行った。

2019年では20,319人の町内宿泊があったが、2023年では14,794人、2024年では14,635人と推移しており、減少傾向である。(図3-51)

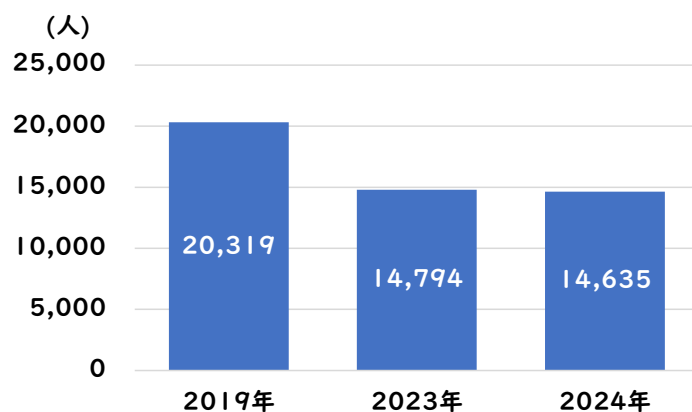


図3-51 宿泊した人数の推移（人泊数（県内・県外居住者））

(7) リピーターの観光特性

1) リピーター率

2019年、2023年、2024年の3年のうち1回でも北谷町に滞在があったサンプルは、約135,789であった。

そのうち少なくとも2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルは3,985サンプル（リピート率約3%）であった。また、3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルは58サンプル（リピート率約0.04%）であった。（表3-16）

表3-16 リピート率

	サンプル数	リピート率
2019年、2023年、2024年に1回でも 北谷町に滞在があった	135,789	
2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年 と2024年）北谷町に滞在があった	3,985	3%
3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在が あった	58	0.04%

2) リピーターの観光特性

2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルに着目すると、平均来訪日数は1回目で1.61、2回目で1.57と減少している。来訪1日当たりの滞在場所数は、1回目で1.01、2回目で0.96と減少している。以上のことから、リピートするほど来訪日数が減少し、訪れる滞在場所も少なくなることが分かった。

3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルに着目すると、平均来訪日数は1回目で2.00、2回目で2.06、3回目で2.03と推移している。来訪1日当たりの滞在場所数は、1回目で1.20、2回目で1.1、3回目で0.95と減少している。以上のことから、来訪日数は約2日と変わらないが、訪れる滞在場所が少なくなることが分かった。（図3-17、図3-18）

表3-17 2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年と2024年）

北谷町に滞在があったサンプル

	サンプル数	来訪日数 合計	滞在場所 合計	平均 来訪日数	滞在場所/ 来訪日数
1回目	3,985	6,423	6,523	1.61	1.01
2回目		6,260	6,003	1.57	0.96

表3-18 3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプル

	サンプル数	滞在日数 合計	滞在场所 合計	平均 滞在日数	滞在场所/日数
1回目	58	116	139	2.00	1.20
2回目		120	132	2.06	1.1
3回目		118	112	2.03	0.95

（8）サンセットビューライン間の移動

1）サンセットビューライン構想

約7キロの美しい海岸線や商業・リゾート施設に抱かれた北谷町の西海岸地域において、「砂浜・宮城エリア」「美浜エリア」「北前エリア」の3つのエリアに分け、取り組んでいる事業や検討している事業を有機的に結び付け、統一的に進めるために、「サンセットビューライン構想」を位置付けて取り組んでいる。（図3-52）



図3-52 サンセットビューライン構想の3つのエリアと事業

3) サンセットビューラインの分析場所

サンセットビューライン構想における西海岸地域の3つのエリアを下図のように分け、分析対象場所とし、エリア間の移動量を分析した。(図3-53)

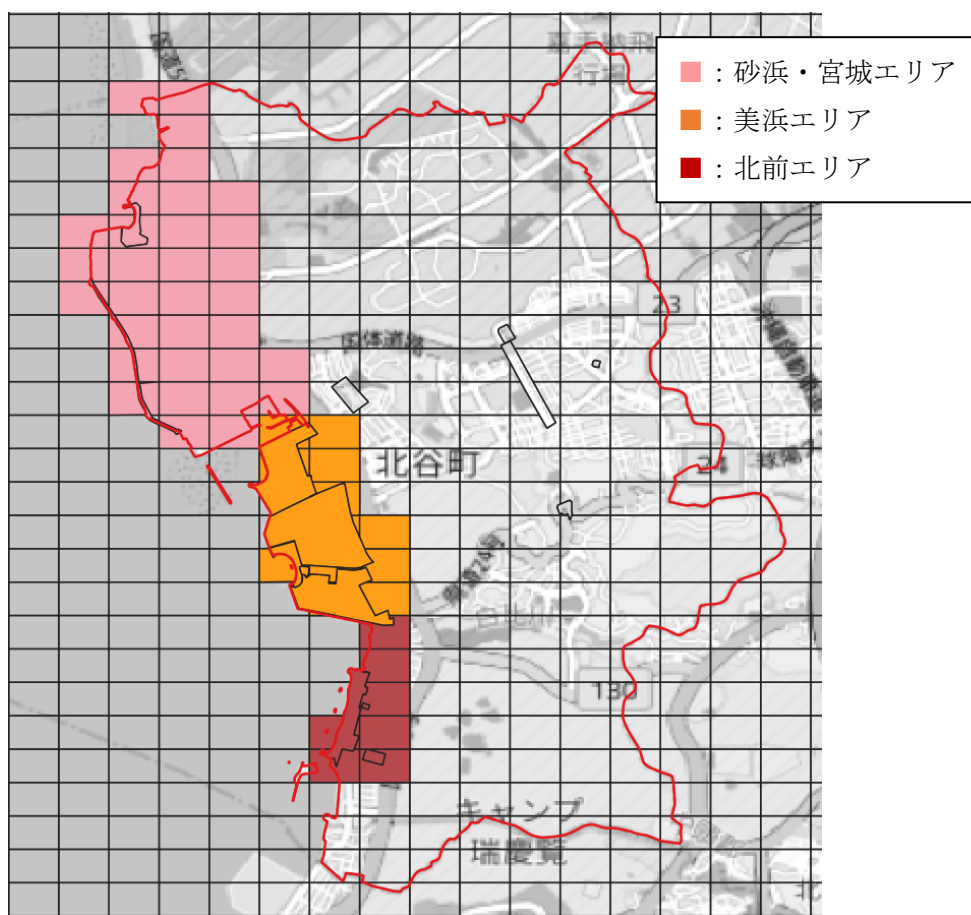


図3-53 サンセットビューライン構想における分析対象場所

4) サンセットビューライン間の移動

3つのエリア内の移動のみ着目すると、砂浜・宮城エリア内の移動量は65,986であり北谷町内移動の約5%である。美浜エリア内の移動量は761,991であり北谷町内移動の約58%である。北前エリア内の移動量は11,332であり北谷町内移動の約1%である。

3つのエリア内間の移動のみ着目すると、砂浜・宮城エリア⇄美浜エリアの移動量は83,134であり北谷町内移動の約6%である。砂浜・宮城エリア⇄北前エリアの移動量は3,420であり北谷町内移動の約0.3%である。北前エリア⇄美浜エリアの移動量は32,077であり北谷町内移動の約3%である。(表3-19)

以上のことから、北谷町内移動の約64%は特定エリア内の移動であり、サンセットビューライン間の移動は北谷町内移動の約9%である。

表3-19 サンセットビューライン間の移動

	移動量	比率
北谷町内の移動	1,305,897	
砂浜・宮城エリア内の移動	65,986	5%
美浜エリア内の移動	761,991	58%
北前エリア内の移動	11,332	1%
砂浜・宮城エリア⇄美浜エリア	83,134	6%
砂浜・宮城エリア⇄北前エリア	3,420	0.3%
美浜エリア⇄北前エリア	34,077	3%

(9) 集計ツールの作成

これまで集計した観光客について、居住地、性別、年齢、月別北谷町来訪者数、流入、流出について関係者が容易に活用できるように、Excelのグラフを用いダッシュボードを作成した。宿泊・日帰り、居住地、年、月、日、曜日については、クリックすることで自動的に抽出された集計結果が表示される。

さらに、観光スポットに関しても同様なダッシュボードを作成することで、より詳細に任意で分析が可能となる。(図3-54、図3-55)



図3-54 観光客用ダッシュボード



4章 観光客満足度・消費動向調査

本章では、北谷町の観光動向（内部環境）として、町内でアンケート調査を実施し、人流ビッグデータでは把握できない観光満足度や観光目的などの質的なデータ）を把握している。

5-1 調査企画

(1) 調査の企画

1) 調査目的

北谷町で発生している観光課題、消費実態を把握し、今後の観光施策を検討することを目的に、北谷町を来訪している観光客の実態を観光満足度、消費額等を把握する。

2) 調査対象者

北谷町を来訪している観光客を対象とするため、町内居住者は対象外とした。

また、修学旅行等の団体旅行も対象とするが、団体移動の実態に偏る恐れがあるため、団体旅行客については、一部の対象にとどめる。

3) サンプル数設計

令和5年度と同様に RESAS による 2022 年の滞在人口（観光客母数）から北谷町の観光客数を約 100 万人と仮定し、母集団構成に対する誤差の許容範囲を 10%、信頼度係数を 1.64（100 回調査をして 90 回が母平均に含まれる設定）、集計カテゴリー数を 10（性別 2 区分、年齢 5 区分として設定）とした際の統計的に必要なサンプル数を試算（表 4-1）した。

試算結果として、統計精度を担保できる必要サンプル数としては、2,400 サンプルが必要であるため、2,400 サンプルを獲得目標に設定した。

《サンプル数の計算式》

$$RSD = K \times \sqrt{(ZK - 1) \times (1 - r) \div r \div N}$$

表 4-1 サンプル設計指標の意味

指標	使用数値	意味
RSD：標準誤差	10%	母集団構成に対する誤差の許容範囲 *1：誤差率は、母集団構成に対しての誤差の範囲を示す。許容誤差 10%は一般的な数値であり、通常、5～10%で設定する。
K：信頼度	1.64	100 回抽出を行い、90 回が母平均に含まれる数値 *2：信頼度 1.64 は一般的な数値であり、通常、1.64（90%） or 1.96（95%）で設定する。
N：母集団の大きさ	1,000,000 人	RESAS による 2022 年北谷町の観光客数
ZK：カテゴリー数	10	回答選択肢数で設定 *集計カテゴリーによって変動
r：標本率	0.1%	N（母集団）に占めるサンプル割合＝1,075 サンプル

4) 調査日時

本調査の調査日時および目標サンプル数、必要調査員数を以下に示す（表4-2）。調査時間帯は観光客が多いと想定される 10時頃～18時頃に実施した。なお、調査実施の判断については、回収率および安全を考慮し、悪天候時は避けるものとし、調査前日（調査日が日曜日の場合は金曜日）の天気予報（11時の気象台発表）をもとに協議決定した。

表4-2 調査日

調査月	調査日および調査時期の想定		サンプル 目標数	調査員数 (合計)
	日程	日数		
9月	連休期間:9/21～9/23の3連休期間中うち2日間 ※ビーチエリアを中心に実施	2	480	12
10月	連休期間:10/12～10/14の3連休期間中うち2日間 ※リゾートエリア、ビーチエリアで均等に実施	2	480	12
11月	連休期間:11/2～11/4の3連休期間中うち2日間 ※リゾートエリアを中心に実施	2	480	12
12月	通常期:通常の週末1日間 ※リゾートエリアを中心に実施	1	240	6
1月	連休期間:1/11～1/13の3連休期間中うち2日間 ※リゾートエリアを中心に実施	2	480	12
2月	イベント期:ドラゴンズキャンプ期間のうち1日間 ※イベント会場付近を中心に実施	1	240	6
合計		10	2,400	60

5) 調査場所

本調査の調査地区および調査員配置予定の観光施設を以下（図4-1）に示す。詳細な調査員配置位置を次ページに示す。なお、11月上旬からサンセットビーチ改良工事が始まったため、ビーチ周辺でのアンケート調査は実施していない。



出典：baseMap(一社) 北谷町観光協会

図4-1 調査予定箇所位置図





6) 調査方法

本調査の調査方法（手順）を以下に示す。

- i) 調査対象施設の来訪者に声を掛け、アンケート調査の協力依頼を行う。
- ii) 協力が得られたら、調査票を見せながら、ヒアリング調査を実施する。
協力が得られない場合は、無理強いを行わずヒアリング調査は実施しない。
- iii) 外国人の場合は、英語または中国語（繁体字）や韓国語に翻訳した調査票を用いてヒアリングを実施する。
*調査員は多言語対応な人員も配置する。
- iv) その場で回答をした方に対しては、調査協力の謝礼として粗品を提供する。

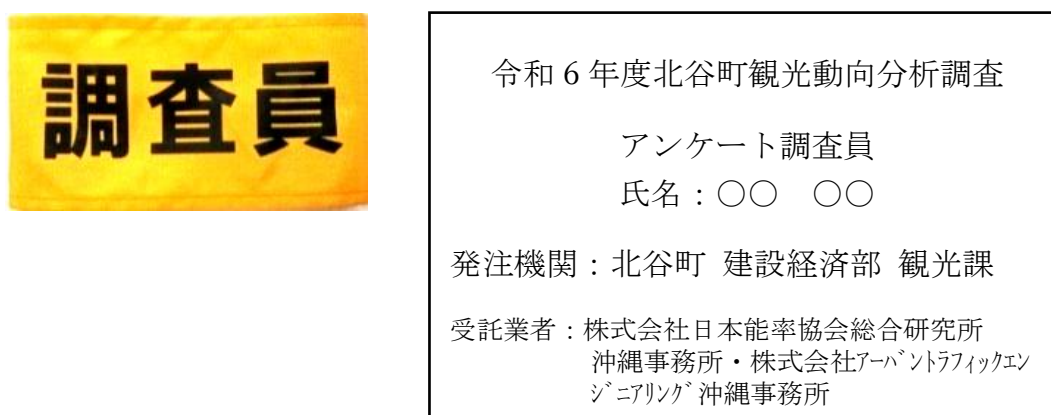


図4-2 調査で着用する調査員腕章・ネームプレートの例



図4-3 調査イメージ写真

7) 調査項目

調査目的を達成するため、アンケートは下表（表4－3）の項目を把握する。

調査で使用した調査票は参考資料に掲載する。

表4－3 調査項目

項目	内容
(1) 属性	性・年代、居住地、国籍、同行者
(2) 北谷町訪問経験	訪問回数（沖縄県、北谷町別）
(3) 滞在実態	滞在日数・時間、宿泊施設タイプ
(4) 観光目的	海水浴・マリンレジャー、ダイビング、釣り、スパ・エステ、伝統工芸・芸能体験、ショッピング、イベント、伝統行事、帰省・親戚等の訪問、仕事、ワーケーション、プロスポーツキャンプ見学 等
(5) 移動手段	北谷町来訪、北谷町内別（レンタカー、マイカー、タクシー、バス、自動運転バス、自転車、徒歩等）
(6) 町内観光の情報 収集媒体	雑誌、パンフレット、観光案内所、テレビ、SNS 等
(7) 町内での観光 消費額	宿泊費、交通費、土産・買物費、飲食費、娯楽・入場費、その他
(8) 観光満足度 (各5段階)	宿泊、飲食、買い物、娯楽・イベント、情報、総合
(9) 再訪問意向	次回の訪問意向、再訪問の理由
(10) お勧め度	11段階のお勧め度、お勧めする要素
(11) 受入れ環境整備 (外国人のみ)	看板、パンフレット、観光情報HP、バス停時刻表、観光案内所、飲食店、土産・土産店、宿泊施設の多言語対応の充足度

5-2 調査結果

(1) 獲得サンプル数

調査の結果、以下のサンプル数を獲得し、統計精度を担保できるサンプル数を確保した。

調査日	獲得票数		
	日本人	外国人	合計
9月21日(土)	212	18	230
9月22日(日)	230	15	245
10月12日(土)	198	28	226
10月13日(日)	233	14	247
11月2日(土)	181	86	267
11月3日(日)	213	39	252
12月21日(土)	162	43	205
1月11日(土)	190	54	244
1月12日(日)	214	33	247
2月1日(土)	212	61	273
合計	2,045	391	2,436

(2) 調査の様子

調査当日の様子は、以下のとおりである。



5-3 調査分析

本項目では主な集計結果を示している。

なお、調査結果については、誤差の許容範囲を10%として設計しているため、カテゴリー（クロス集計軸）が10以内の場合は、集計値の±10%内に真値があるものとなる。

（1）回答者属性

① 性・年代

- 昨年と異なり、調査回答者の男女比（図4-5）は、同程度となっている。
- 年代（図4-6）は10～30代と比較的若年層の割合が高く、男性女性ともに10～30代で半数以上を占めている。

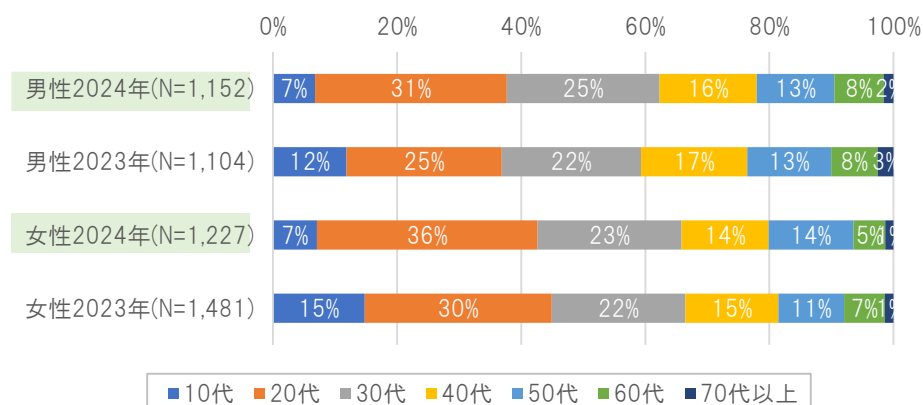


図4-4 性・年代

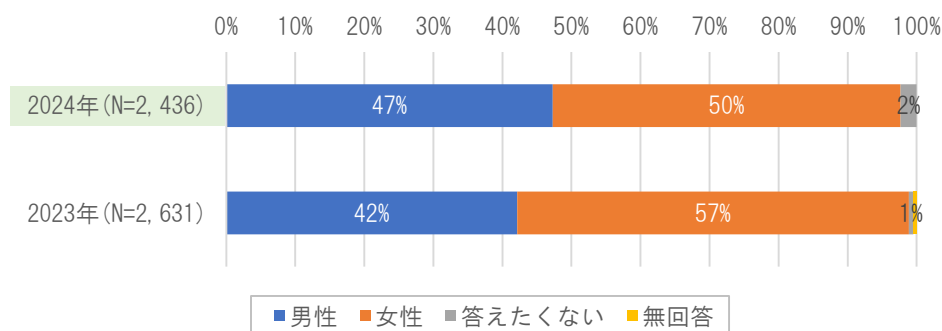


図4-5 性別

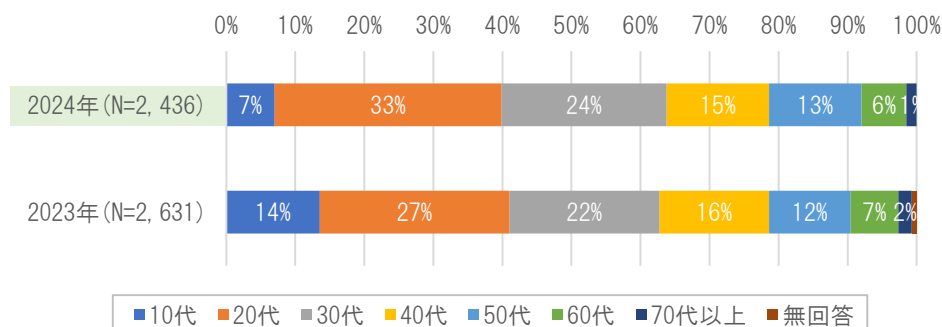


図4-6 年代

- 昨年と同様、居住地別（図4－7）でみても県内観光客、県外観光客、訪日外国人観光客ともに10～30代までの年齢層で半数以上を占める。
- 令和4年度観光統計実態調査報告書（沖縄県）では、県内全域における県外観光客の年齢構成は、10～30代で約41%であり、今回の調査結果は約62%であることから、相対的に若年層の割合が高い。

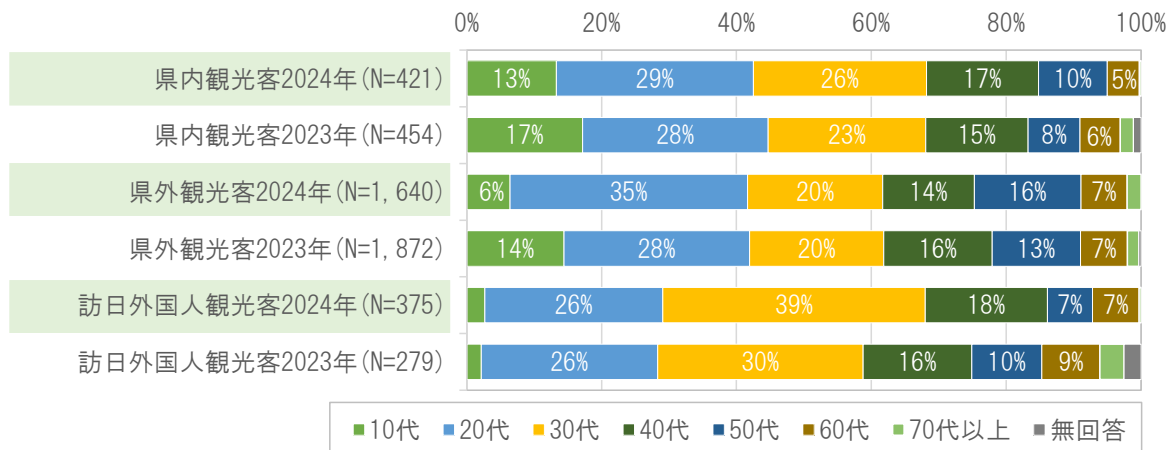


図4－7 居住地別の年代

② 居住地

- 居住地（図4-8）は昨年と同様に、『県外観光客』が約70%、『県内観光客』が約17%となっている。
- 県外観光客（図4-9、図4-11）についても、昨年度同様、『首都圏』が約36%と最も高く、『近畿圏』が約15%、『中京圏』が約12%、『福岡県』が約8%と首都圏の比率が半数程度を占める。
- 県内観光客（図4-10）についても、昨年同様、『那覇市』が約24%と最も高く、隣接の『宜野湾市』、『沖縄市』が続いている。
- 訪日外国人観光客（図4-12）については、昨年度と順番が若干変わっており、『台湾』が約48%と最も高く、次いで、『中国』が約12%、『アメリカ』が約11%、『韓国』が約9%、『香港』が約7%、アメリカと東アジアの国・地域で9割程度を占める。

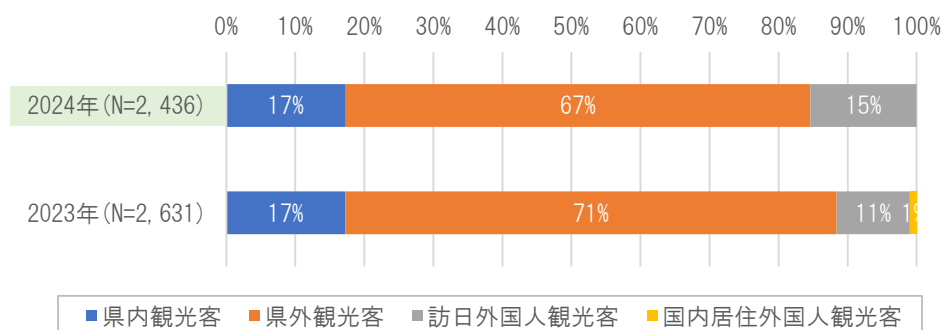


図4-8 居住地

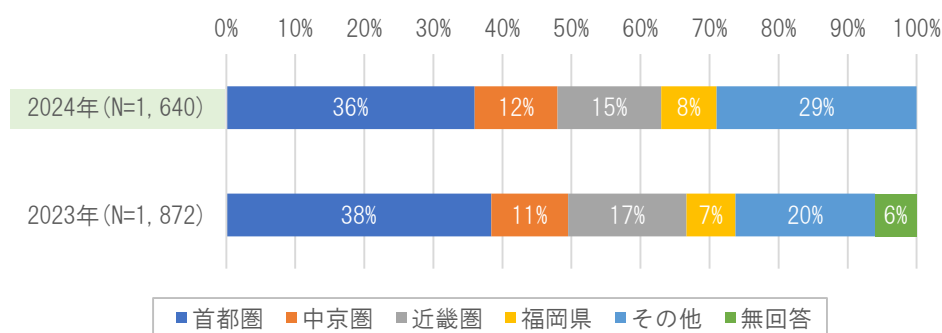


図4-9 県外観光客の居住地分類

- * 首都圏は、東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県が対象。
- 中京圏は、愛知県、静岡県、岐阜県、三重県が対象。
- 近畿圏は、京都府、大阪府、兵庫県が対象。

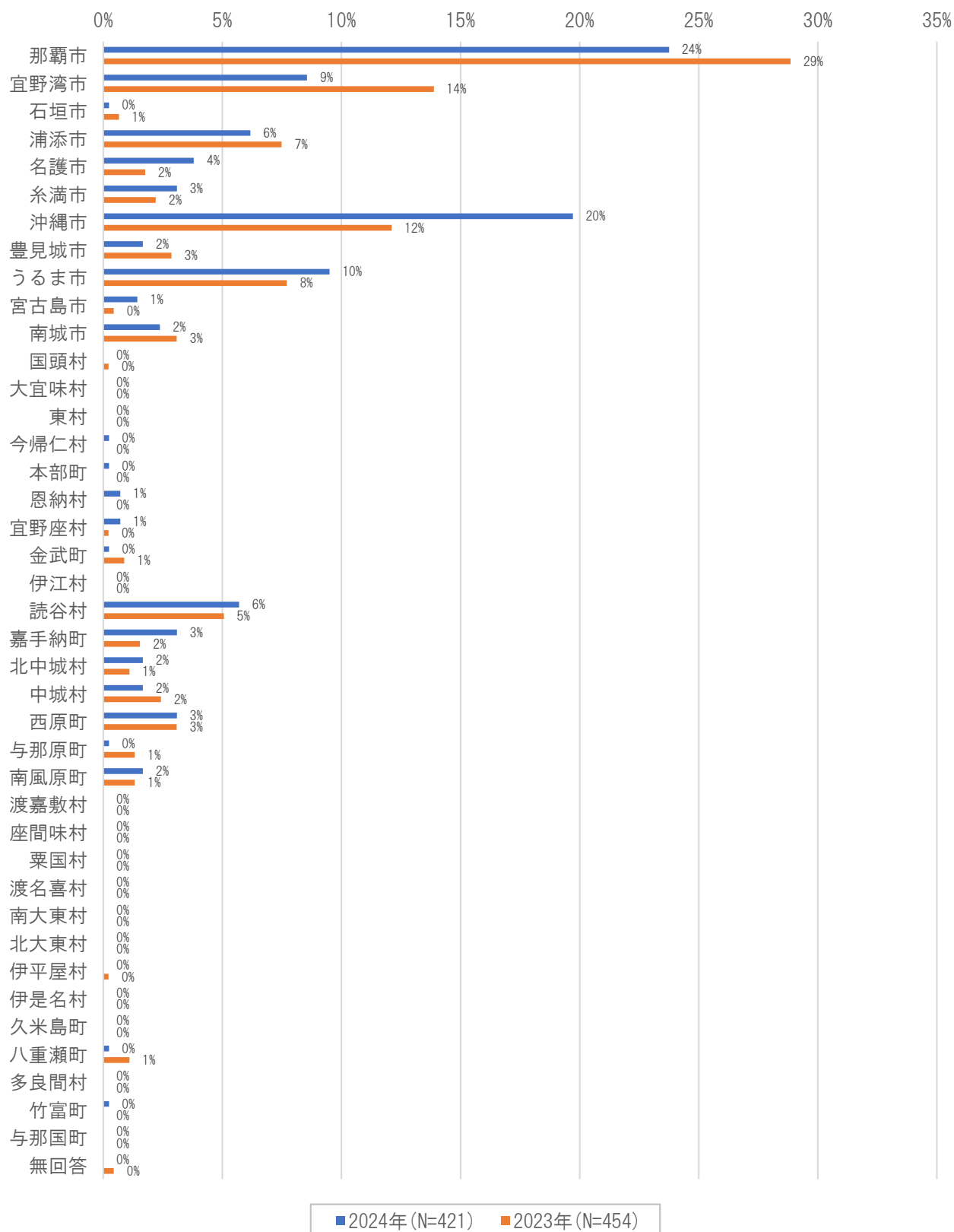


図4-10 県内観光客の居住地

4章 観光客満足度・消費動向調査

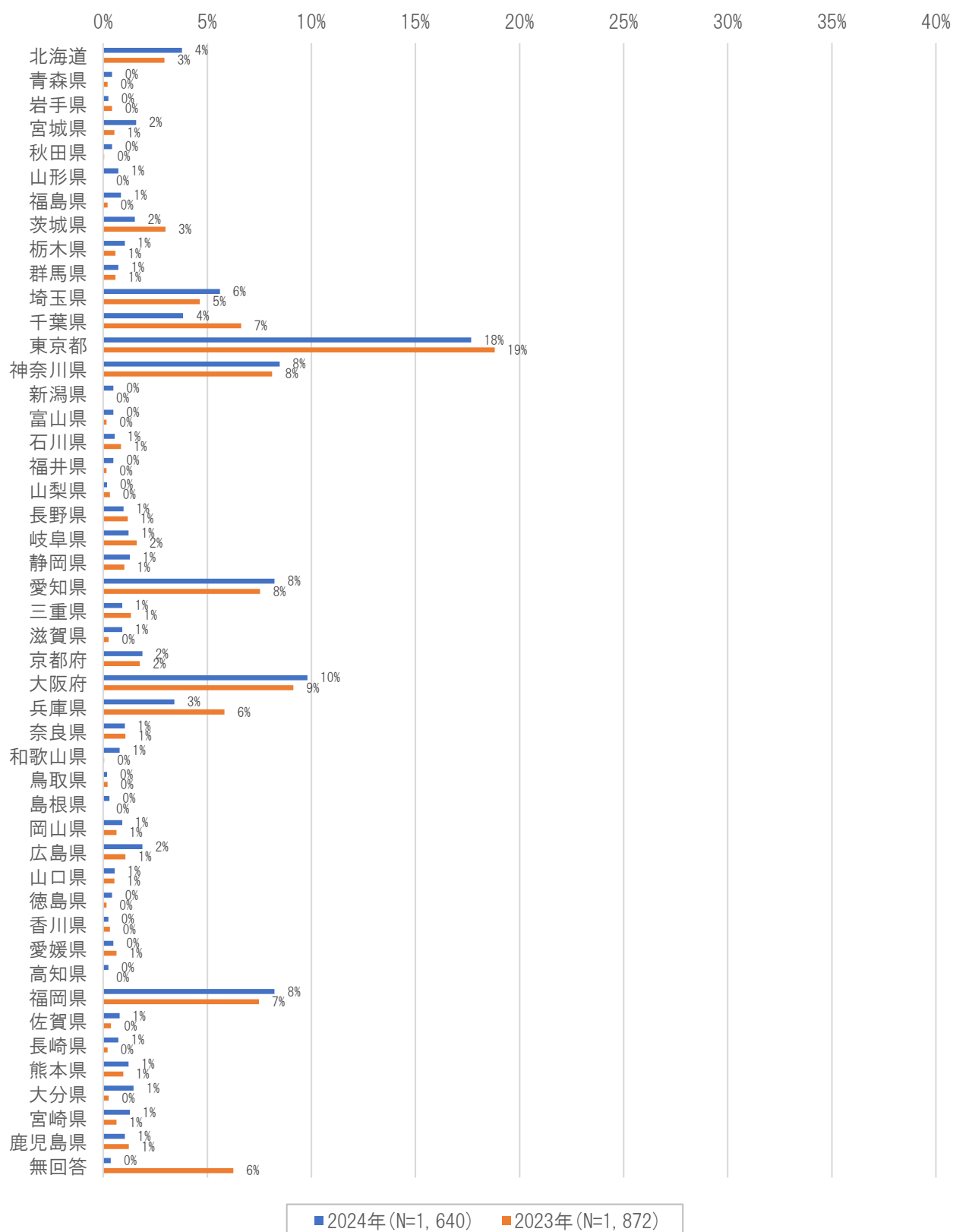


図4-11 県外観光客の居住地

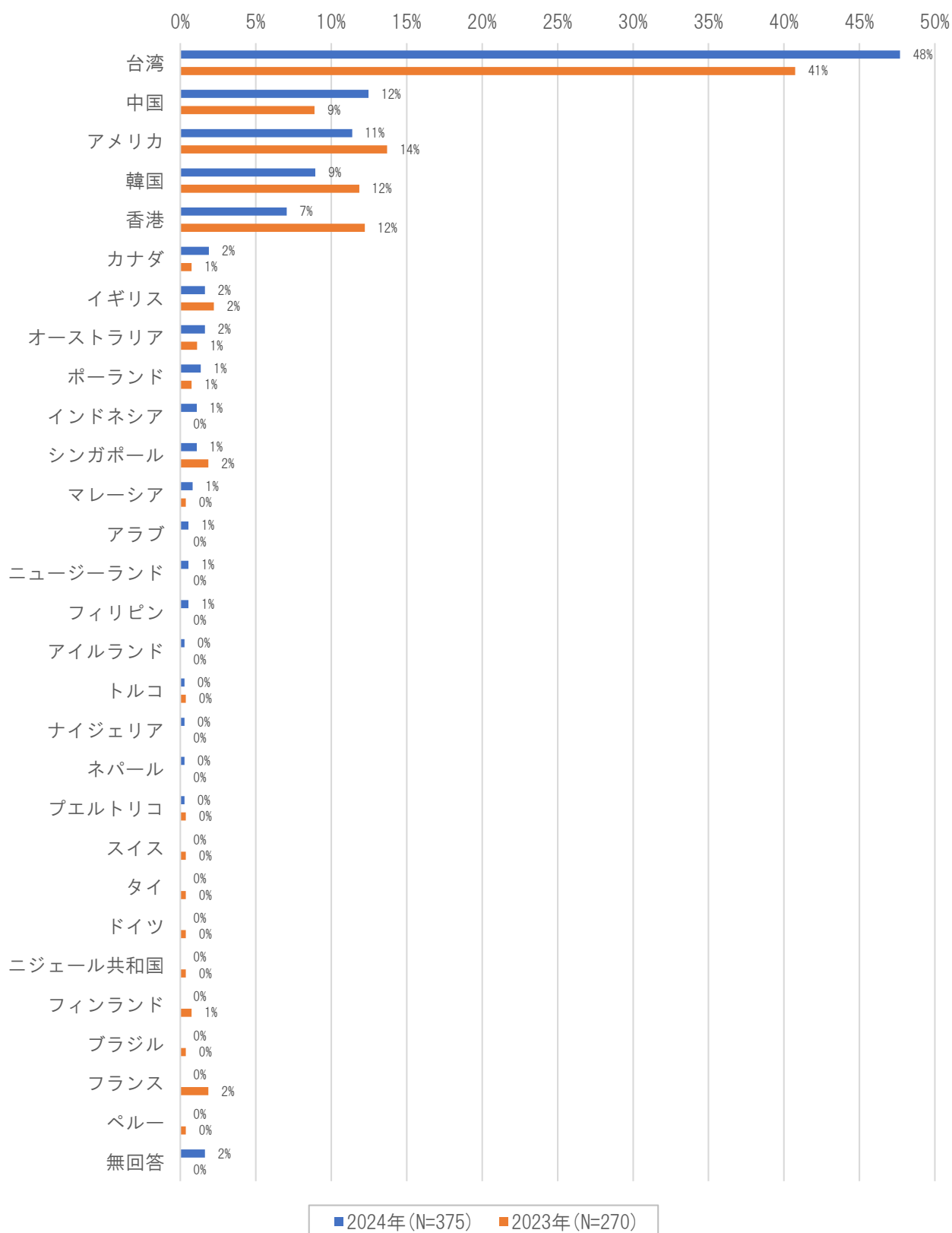


図4-12 訪日外国人観光客の居住地

③ 同行者

- 昨年と同様、『複数人グループ』が約92%と圧倒的に高く、人数構成としては『2人』の割合が約41%と最も高い。(図4-13、図4-14)
- 昨年と同様、同行者属性(図4-15)は、『家族(子連れ)』が約31%と最も高いが、『夫婦・カップル』も約28%と高く、とファミリー層の割合が高い。

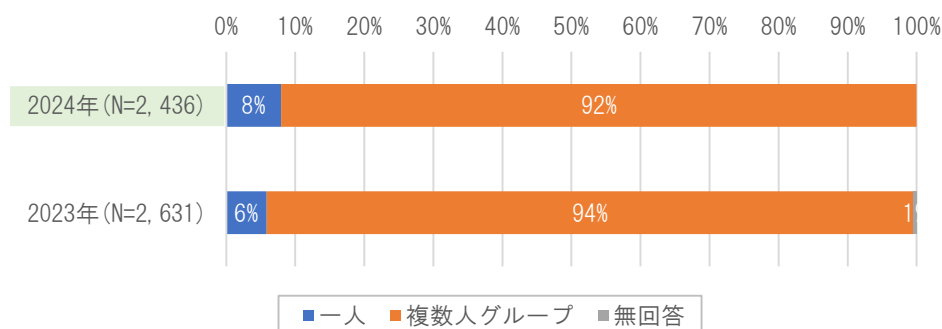


図4-13 グループ人数形態

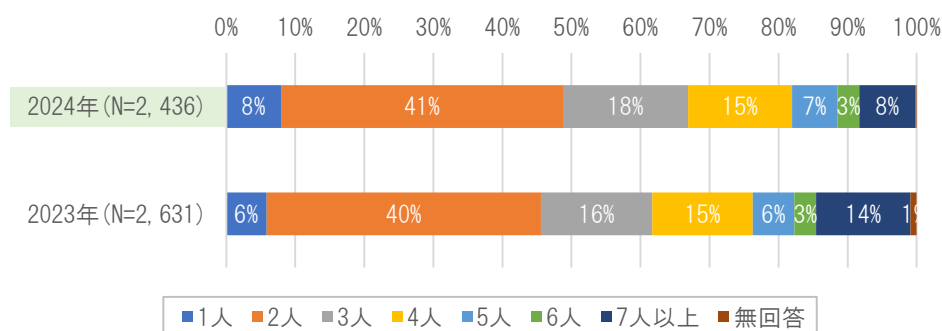


図4-14 グループ人数

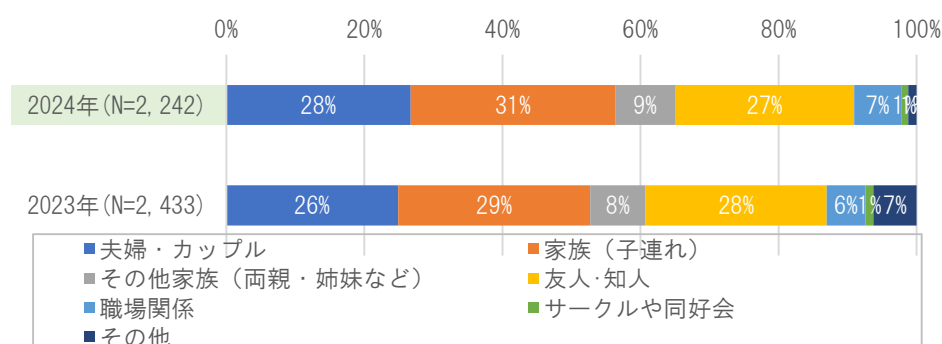


図4-15 同行者

- 昨年と同様、県内観光客は「友人・知人」が多く、県外観光客は「夫婦・カップル」、「家族（子連れ）」、「友人・知人」が約 26～28%程度と多様な同行者構成となっている。（図 4－16）
- 訪日外国人観光客は昨年度同様「家族（子連れ）」が最も割合が高い。（図 4－16）

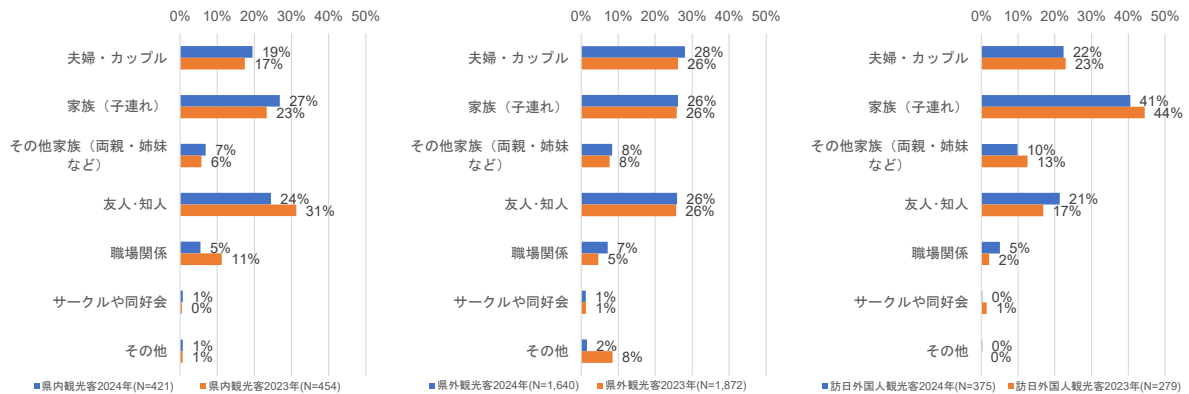


図 4－16 居住地別の同行者（左：県内観光客、中央：県外観光客、右：訪日外国人観光客）

(2) 北谷町訪問経験

《県外居住者のみで整理》

- 北谷町を訪れる観光客の沖縄県訪問回数（図4-17）は、『初めて』が約40%に対し、複数回の訪問が約60%を占めるなどリピーターが多い。
- 一方、北谷町の訪問回数（図4-18）は、『初めて』が約63%と沖縄県訪問回数と比較して高い傾向にある。ただし、複数回の訪問も約37%を占めるなどリピーターは一定数存在する。
- なお、北谷町に初めて訪問する観光客の6割は、昨年同様、沖縄県に初めて来る観光客となっている。（図4-19）

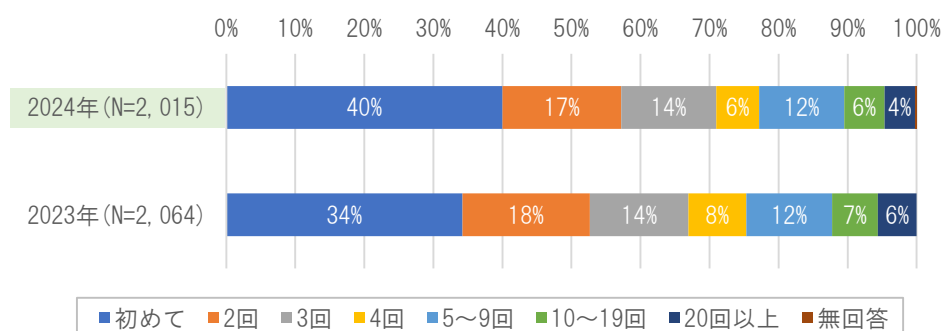


図4-17 沖縄県訪問回数（県外居住者のみ）

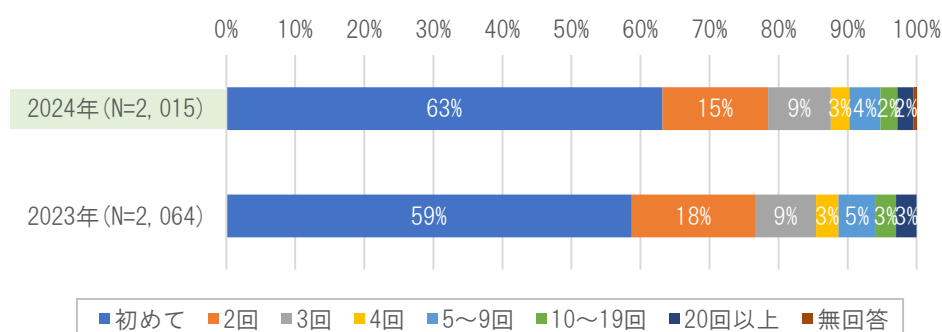


図4-18 北谷町訪問回数（県外居住者のみ）

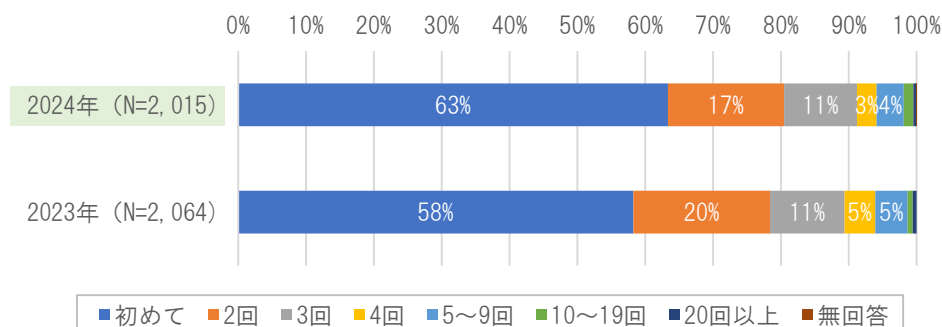


図4-19 北谷町に初めて訪問した観光客の沖縄県訪問回数の関係（県外居住者のみ）

- 居住地別（図4-20）でみると県外観光客は6割が初めての訪問となっており、4割程度がリピーターとなっている。
- 訪日外国人観光客は5割が初めての訪問だが、リピーターも5割程度いるなど一定数存在する。（図4-20）

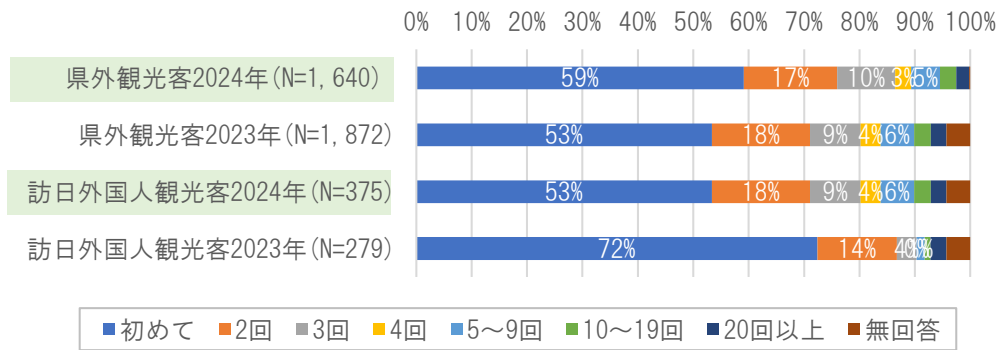


図4-20 居住地別の北谷町訪問回数

(3) 滞在実態

① 滞在日数

《県外居住者のみで整理》

○ 昨年と変わり、沖縄県滞在は『2泊』がボリュームゾーンで約38%と半数近くを占める。(図4-21)

○ 一方、北谷町滞在(図4-22)は『日帰り』が7割を占める。

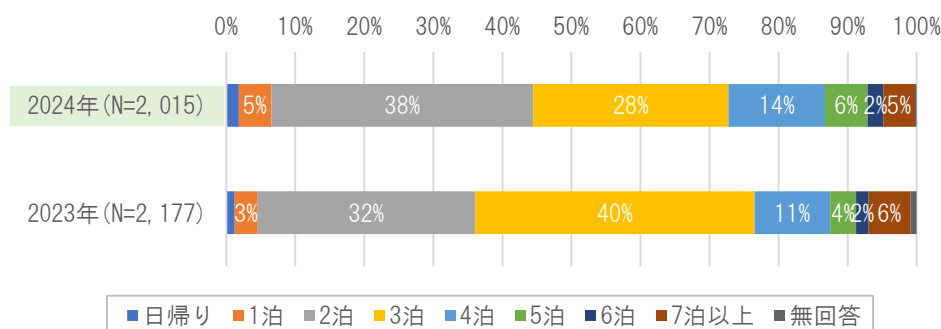


図4-21 沖縄県滞在日数

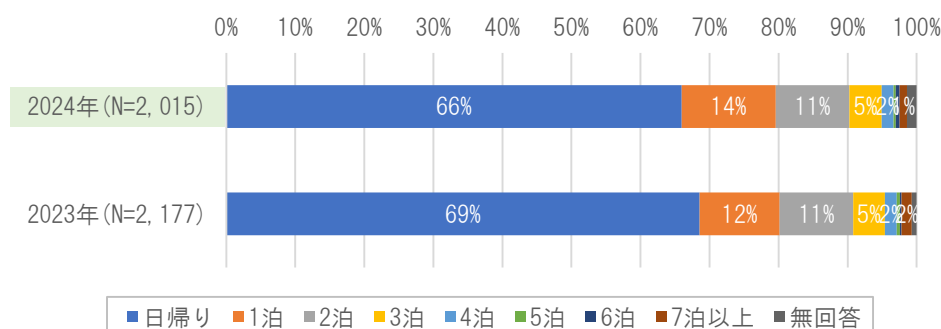


図4-22 北谷町滞在日数

② 北谷町内滞在時間

○ 昨年と同様、北谷町の滞在時間(図4-23)は、『2時間～3時間』が約43%と最も高く、『2時間～3時間』も約26%存在する。

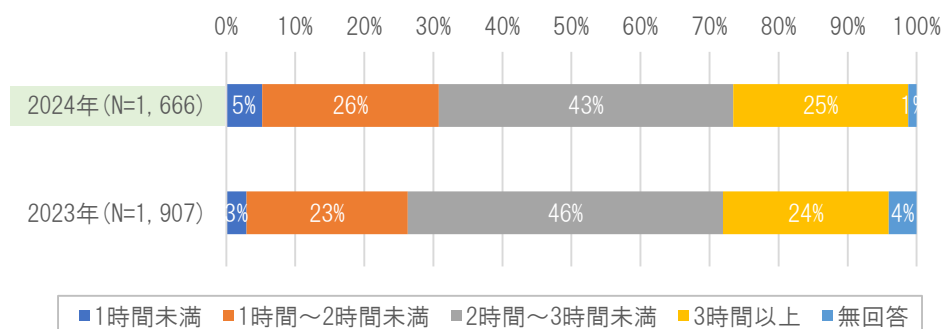


図4-23 北谷町滞在時間

③ 北谷町内での宿泊施設タイプ

- 昨年度と同じく『リゾートホテル』が約62%と最も高い。(図4-24)
- 居住地別でみると日本人宿泊客の7割は「リゾートホテル」の宿泊となっている。(図4-25)
- 一方、訪日外国人観光客は5割が「リゾートホテル」、2割が「シティホテル」と分散傾向にあり、「民宿」、「民泊」も1割程度存在する。(図4-25)

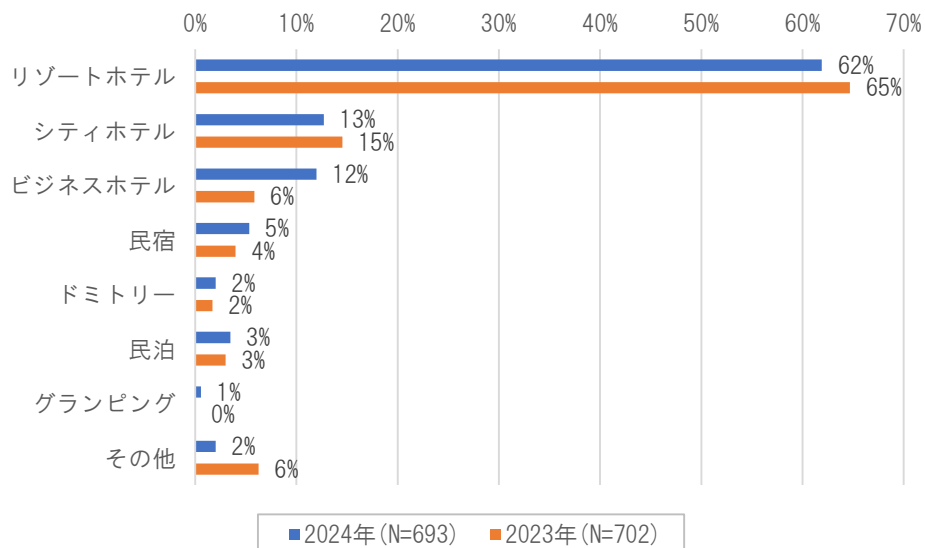


図4-24 北谷町内での宿泊施設タイプ

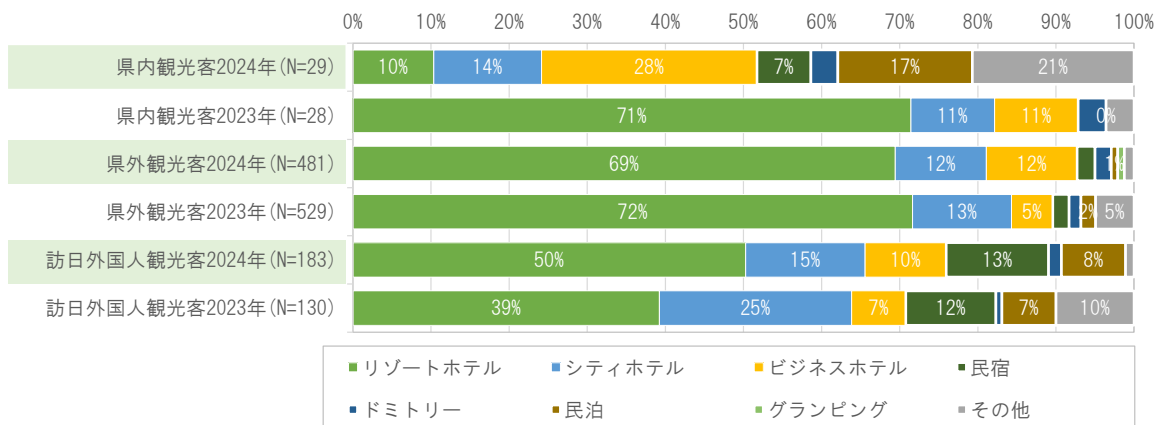


図4-25 居住地別の北谷町内での宿泊施設タイプ

(4) 観光目的

- 『観光地めぐり』が約70%と圧倒的に高く、『ショッピング』が約25%、『保養・休養』が約16%と続く。(図4-26)
- 居住地別(図4-27)でみると県内観光客は「観光地めぐり」、が約33%でともに最も高いが、「ショッピング」も約31%と同程度となっている。県外観光客は昨年と同様に「観光地めぐり」が約80%と圧倒的に高い。外国人観光客も昨年と同様に「観光地めぐり」が7割と高いが、訪日は「保養・休養」も約4割と相対的に高い。

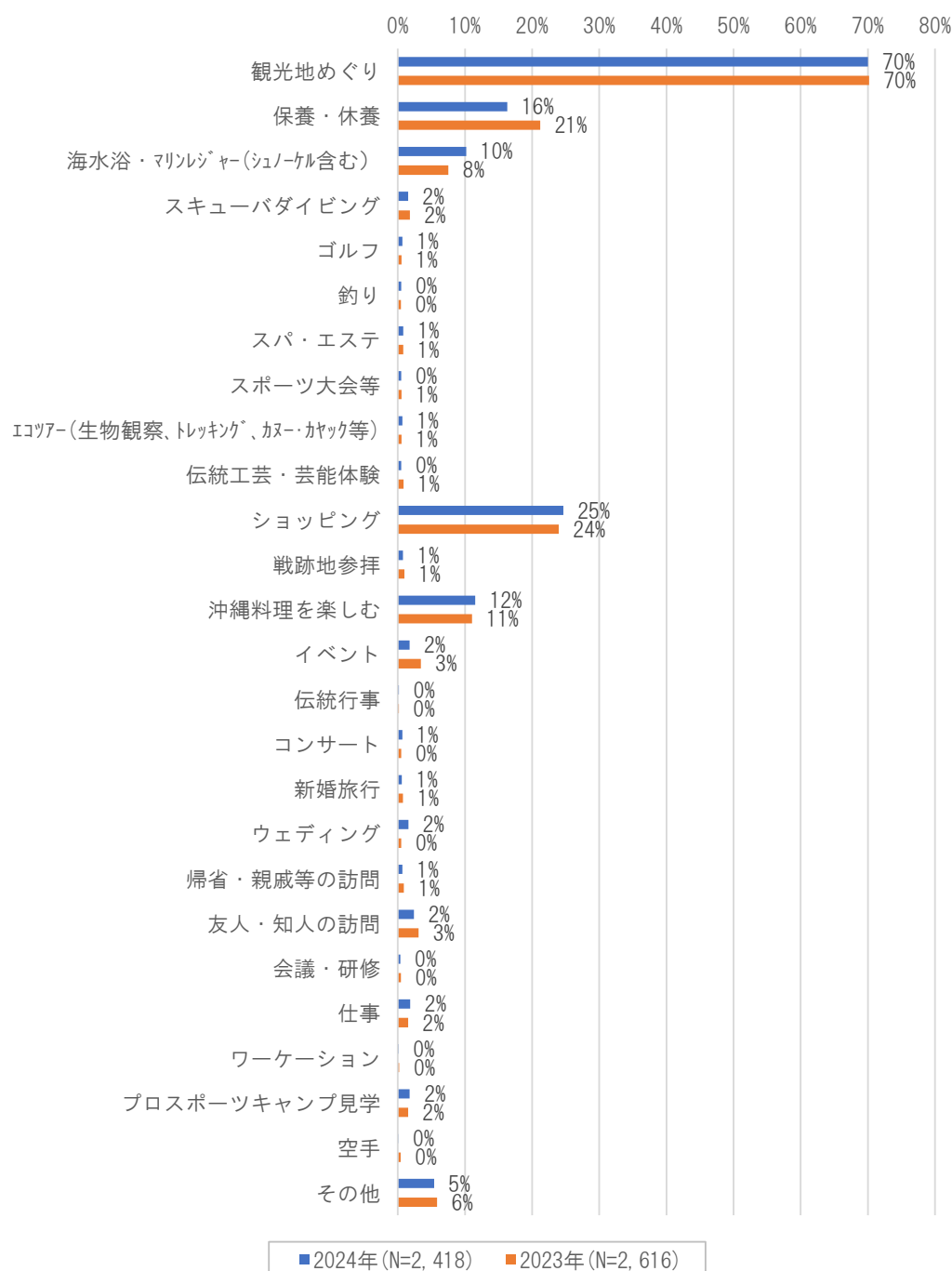


図4-26 観光目的

県内観光客

2024年		2023年	
観光地めぐり	33%	保養・休養	31%
ショッピング	31%	ショッピング	31%
保養・休養	18%	観光地めぐり	29%
海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	13%	海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	12%
沖縄料理を楽しむ	7%	イベント	11%
仕事	5%	友人・知人の訪問	4%
イベント	4%	沖縄料理を楽しむ	3%
友人・知人の訪問	3%	仕事	2%
スパ・エステ	1%	スポーツ大会等	2%
ゴルフ	1%	プロスポーツキャンプ見学	1%

県外観光客

2024年		2023年	
観光地めぐり	78%	観光地めぐり	80%
ショッピング	24%	ショッピング	22%
沖縄料理を楽しむ	11%	保養・休養	15%
保養・休養	10%	沖縄料理を楽しむ	11%
海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	10%	海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	6%
その他	3%	友人・知人の訪問	3%
プロスポーツキャンプ見学	2%	プロスポーツキャンプ見学	2%
ウェディング	2%	イベント	2%
友人・知人の訪問	2%	スキューバダイビング	1%
スキューバダイビング	2%	仕事	1%

訪日外国人観光客

2024年		2023年	
観光地めぐり	73%	観光地めぐり	66%
保養・休養	42%	保養・休養	43%
ショッピング	21%	ショッピング	23%
沖縄料理を楽しむ	20%	沖縄料理を楽しむ	19%
海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	9%	海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	9%
友人・知人の訪問	3%	スキューバダイビング	6%
スキューバダイビング	2%	戦跡地参拝	4%
釣り	2%	友人・知人の訪問	4%
戦跡地参拝	2%	エコツアー(生物観察、トレッキング、カヌー・カヤック等)	4%
仕事	2%	仕事	3%

図4-27 居住地別の観光目的

(5) 移動手段

- 北谷町までの移動手段（図4-28）、町内の移動手段（図4-29）については、レンタカー、マイカー、知人等のクルマなど『自動車』関係の割合が8割を占める。
- 一方、公共交通である『路線バス』も約9%を占めるなど一定数は存在する。
- 県外観光客の北谷町までの移動手段（図4-30）は多くの年代で『自動車（レンタカー、知人送迎 等）』が多数を占めている。
- 訪日外国観光客の北谷町までの移動手段（図4-31）は多くの年代で『自動車（レンタカー、知人送迎 等）』と『路線バス』が多数を占めている。特に『路線バス』は県外観光客と比べて高い傾向にある。

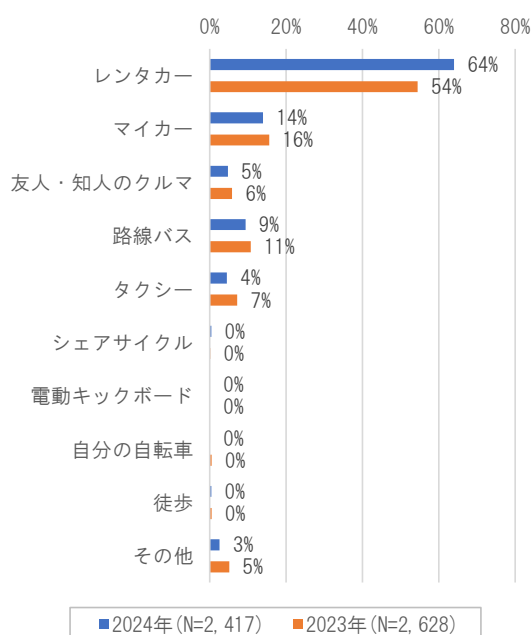


図4-28 北谷町までの移動手段

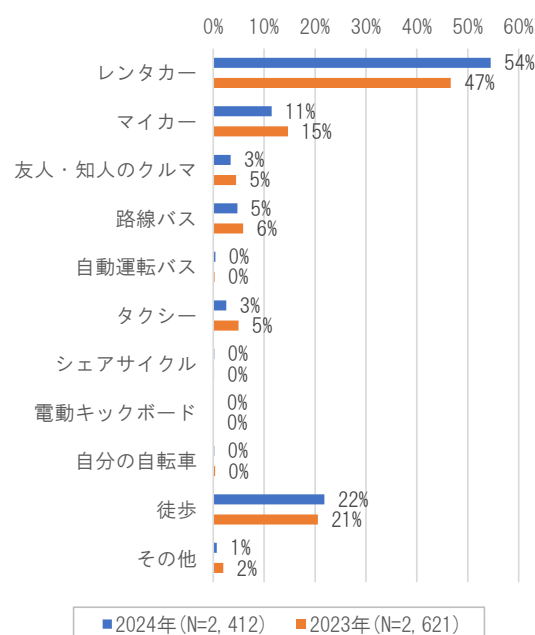


図4-29 北谷町内の移動手段

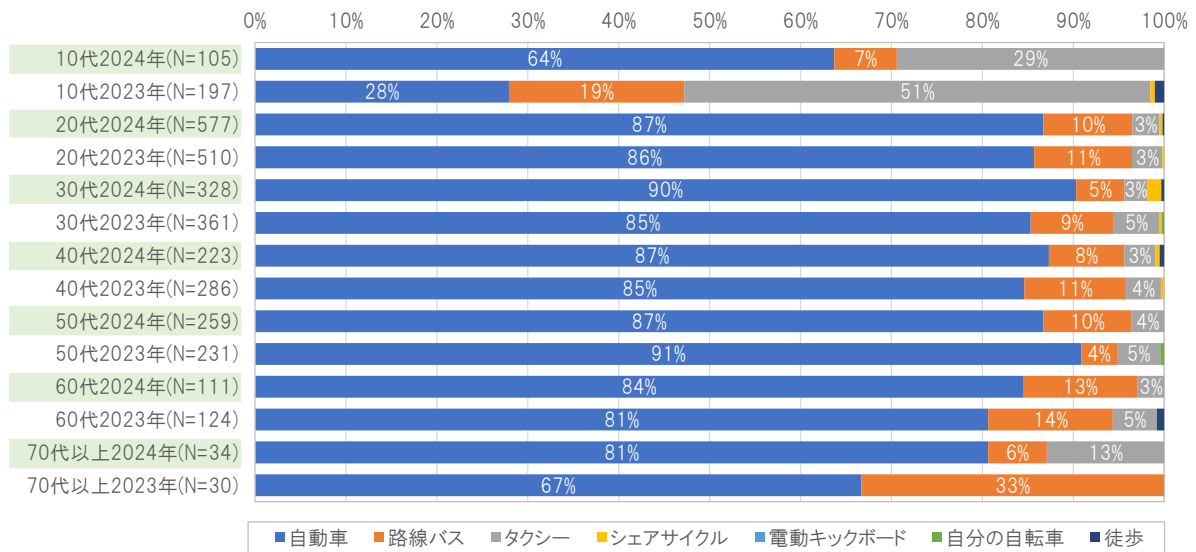


図4-30 年代別の北谷町までの移動手段（県外観光客）

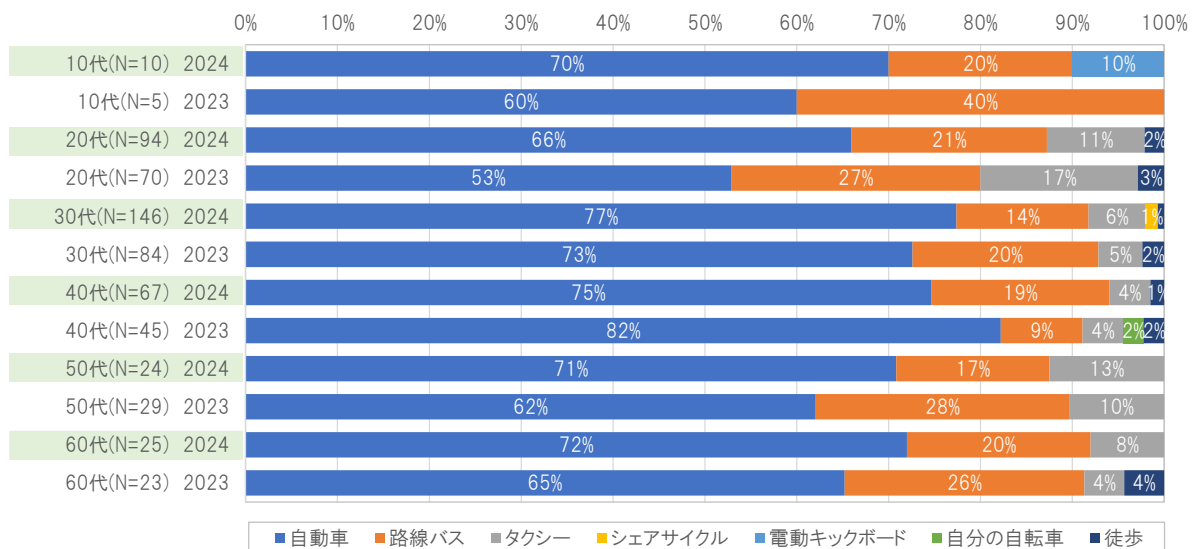


図4-31 年代別の北谷町までの移動手段（訪日外国人観光客）

(6) 町内観光の情報収集媒体

○ 昨年と同様に『SNS』が約61%と最も高い。(図4-32、表4-4)

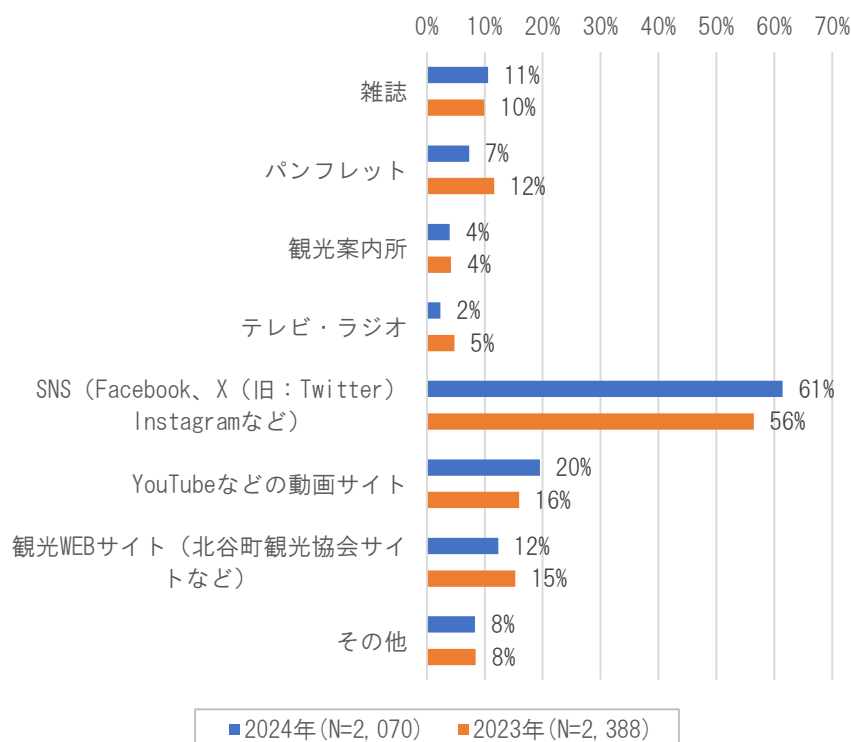


図4-32 町内観光の情報収集媒体

表4-4 年齢別町内観光の情報収集媒体

	雑誌	パンフレット	観光案内所	テレビ・ラジオ	SNS	YouTubeなどの動画サイト	観光WEBサイト(北谷町観光協会サイトなど)	その他	無回答
10代(N=129) 2024年	5%	9%	7%	3%	68%	15%	12%	3%	33%
10代(N=312) 2023年	3%	16%	6%	4%	54%	11%	15%	9%	14%
20代(N=708) 2024年	7%	4%	3%	2%	77%	16%	8%	6%	13%
20代(N=676) 2023年	6%	7%	3%	3%	76%	12%	9%	8%	7%
30代(N=492) 2024年	10%	6%	5%	2%	62%	23%	11%	7%	18%
30代(N=524) 2023年	10%	11%	4%	6%	59%	18%	14%	9%	9%
40代(N=298) 2024年	15%	9%	4%	3%	55%	22%	15%	9%	21%
40代(N=376) 2023年	15%	13%	6%	7%	48%	20%	21%	9%	11%
50代(N=281) 2024年	14%	11%	4%	3%	43%	23%	17%	13%	16%
50代(N=283) 2023年	14%	13%	4%	6%	44%	23%	24%	8%	10%
60代(N=132) 2024年	15%	16%	4%	4%	31%	18%	21%	16%	20%
60代(N=157) 2023年	22%	20%	9%	7%	25%	17%	21%	14%	16%
70代以上(N=30) 2024年	20%	13%	7%	7%	23%	20%	27%	13%	20%
70代以上(N=43) 2023年	21%	28%	9%	12%	14%	16%	16%	7%	19%

(7) 町内での観光消費額

○ 北谷町内での居住地別の観光消費額（表4-5）は、訪日外国人観光客の総額が高く、一人1日当たり27,945円/人・日となっている。県外観光客は、一人当たり25,014円/人・日となっている。

表4-5 属性別の町内での一人当たり観光消費額

(円/人・日)

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客 2024年 (N=399)	9,032	1,886	229	319	1,067	270	12,804
県内観光客 2023年 (N=399)	5,571	880	64	130	297	46	6,988
県外観光客 2024年 (N=1,567)	17,337	3,046	1,252	328	2,674	376	25,014
県外観光客 2023年 (N=1,644)	19,865	3,003	1,230	307	2,323	492	27,220
訪日外国人観光客 2024年 (N=358)	15,791	4,670	1,997	694	4,704	88	27,945
訪日外国人観光客 2023年 (N=258)	19,909	4,662	4,695	902	4,060	404	34,632
観光客全体 2024年 (N=2,324)	16,697	3,097	1,191	383	2,711	314	24,393
訪日外国人観光客 2023年 (N=2,325)	19,104	2,872	1,407	372	2,165	401	26,321

○ 年代別の消費額（表4－6、図4－33）をみると、40代を除くと、年代が高いほど消費額が高まる傾向にある。

表4－6 年代別の町内での一人当たり観光消費額

(円/人・日)

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
10代 2024年 (N=156)	10,920	1,811	622	307	1,433	236	15,329
10代 2023年 (N=195)	12,291	1,138	1,173	132	1,434	64	16,232
20代 2024年 (N=770)	13,847	2,356	801	403	1,989	316	19,712
20代 2023年 (N=677)	13,729	2,428	1,219	256	1,789	197	19,618
30代 2024年 (N=563)	16,514	3,490	978	337	2,824	456	24,599
30代 2023年 (N=539)	18,164	3,301	795	232	2,005	535	25,032
40代 2024年 (N=339)	21,308	3,627	2,195	513	3,538	270	31,451
40代 2023年 (N=381)	19,239	3,069	1,068	252	2,755	799	27,182
50代 2024年 (N=320)	17,901	3,856	1,549	353	3,801	206	27,666
50代 2023年 (N=295)	24,245	3,309	1,435	270	3,131	543	32,933
60代 2024年 (N=145)	19,687	3,910	1,795	307	3,235	200	29,134
60代 2023年 (N=174)	23,969	4,705	2,116	1,066	3,652	1,277	36,785
70代以上 2024年 (N=31)	13,170	3,429	108	369	2,278	161	19,514
70代以上 2023年 (N=48)	51,030	6,039	3,168	215	2,523	81	63,056

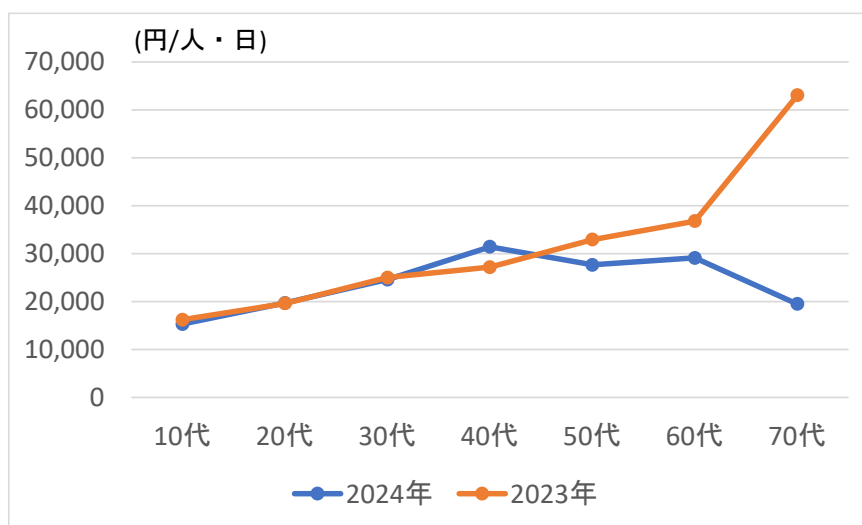


図4－33 年齢別の総観光消費額

(8) 観光満足度

○ 観光満足度（図4-34）は各項目において「満足」、「やや満足」を合わせた好意的評価が8割以上になるなど総じて高いが、『娯楽・イベント』、『情報サービス』は相対的に低くなっている。

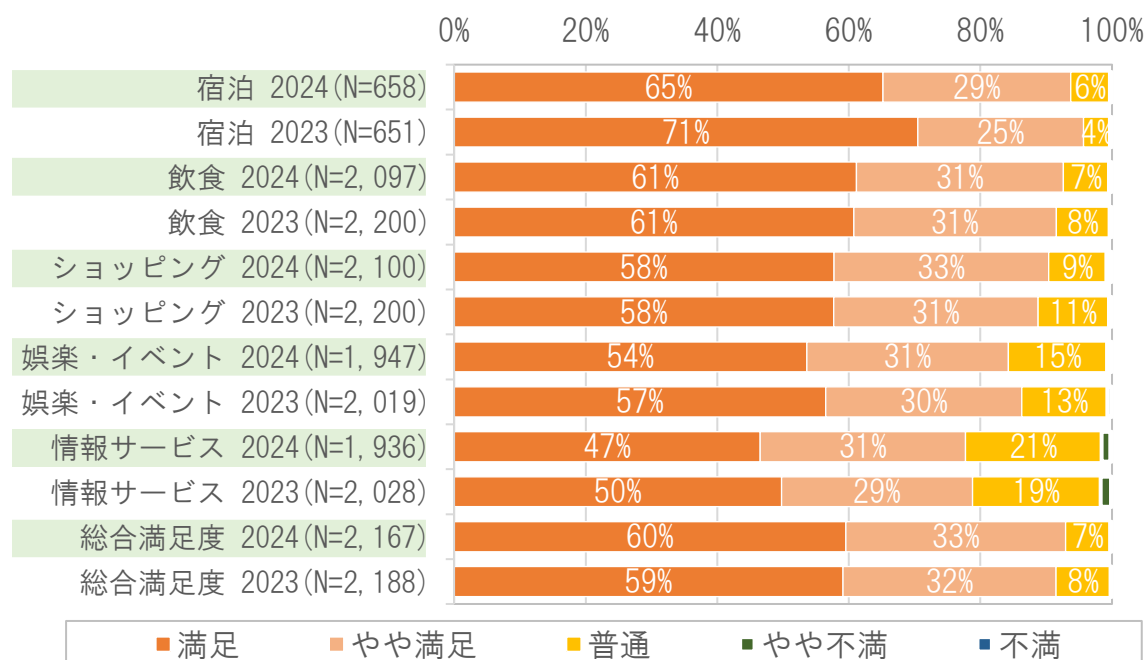
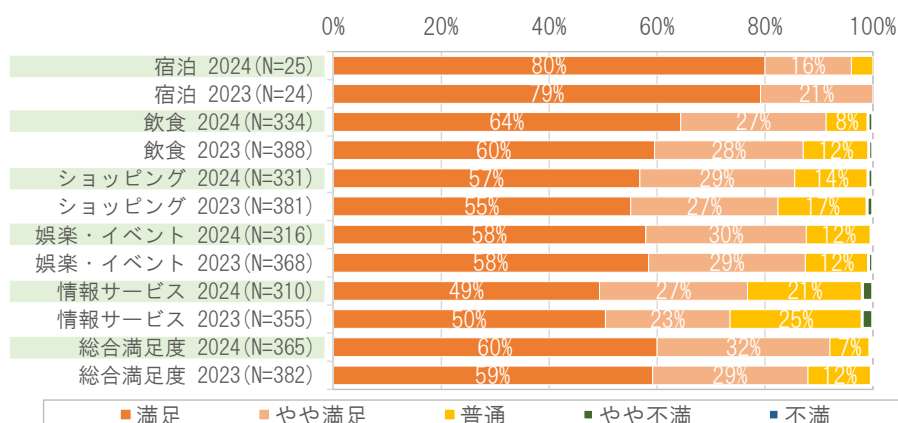


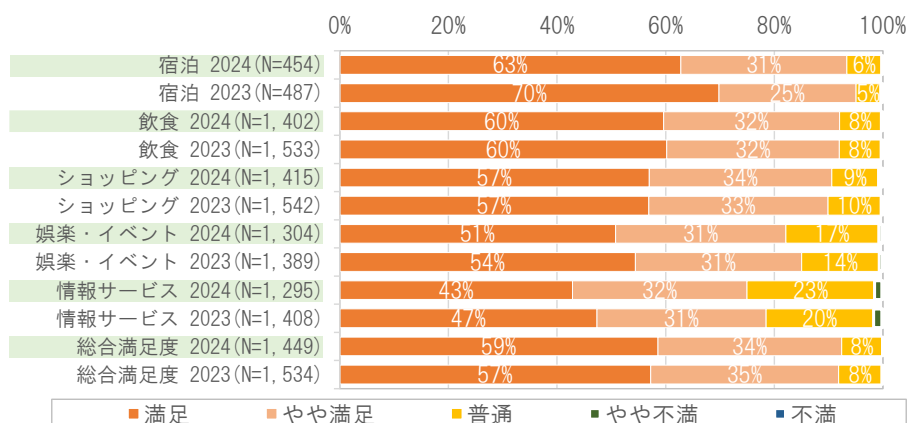
図4-34 観光満足度

- 居住地別でも満足度は、県外観光客、外国人観光客ともに総じて高く、特に「宿泊」の評価が高い。しかし、「情報サービス」について相対的に満足度が低下しており、『不満』をあげる観光客が存在する。(図4-35)
- 不満の理由としては、美浜アメリカンビレッジ内の場所、全体図や地図がわかりづらい、トイレ、施設情報が少ない、施設が古いとの意見等がある。

県内観光客



県外観光客



訪日外国人観光客

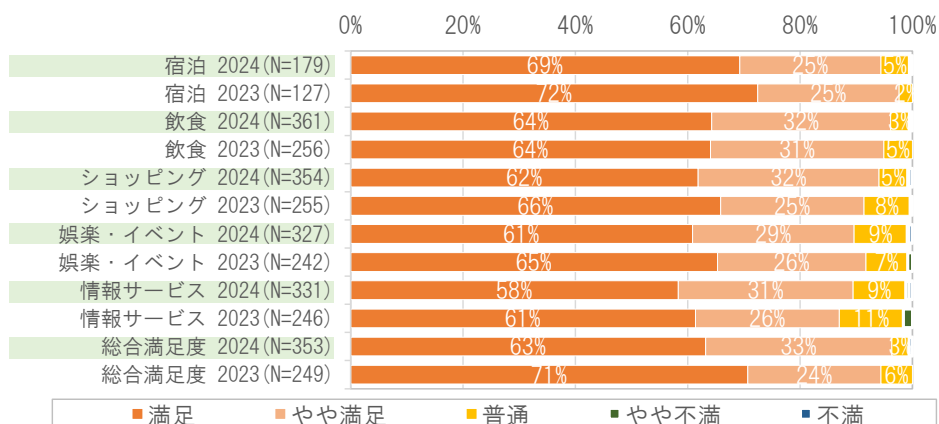


図4-35 居住地別の観光満足度

■主な自由回答意見

○情報サービス

- ・表示が(場所)わかりにくい。(県外観光客)
- ・場所の表示はわかりにくい。(県外観光客)
- ・アメリカンビレッジの全体図がわかりにくい。トイレがわかりにくい。(県外観光客)
- ・トイレが少ない。場所がわかりにくい。(県外観光客)
- ・店内トイレ有と無のサイン表示してほしい。トイレ表示が少ない。(県外観光客)
- ・観光マップが目につく所に置いてあるといい。(県外観光客)
- ・トイレ案内など。例えば看板などはっきりわかるようにしてほしい。(県外観光客)
- ・総合案内があればうれしい(アメリカンビレッジ)授乳室がほしい。(県外観光客)
- ・アメリカンビレッジの地図が見づらい。(県外観光客)
- ・地図がわかりづらい。(県外観光客)
- ・ゴチャゴチャしてたので、よくわかりません。(県外観光客)

○ショッピング

- ・ポリ 100%のスポーツ生地のTシャツがほしいです。スポーツ中に着たいです。もっと古着屋さんを増やしてもらえると良いと思います。(県外観光客)
- ・服とかショッピング系が少ない、食べ物ばかり。(県外観光客)

○食事

- ・おいしくない。(県内観光客)
- ・食べたいものがなかった。また、価格が高かった。(県外観光客)
- ・予約しにくい。(県外観光客)

○その他

- ・さびれてて、にぎやかさにかける。(県外観光客)
- ・施設が古い。(県内観光客)
- ・金額を安くして欲しい。(県内観光客)
- ・公共交通の運行状況(訪日外国人観光客)
- ・グッとくる情報がない。(県外観光客)
- ・営業時間が短い、閉店が早い。(県外観光客)
- ・アピール不足(県外観光客)

(9) 再訪問意向

① 再訪問意向

- 強い再訪意向が高い『是非訪問したい』が約68%を占めるなどリピート意向は高く、『訪問したくない』などは0%となっている。(図4-36)
- 居住地別でも、全ての観光客で再訪問意向は高い。(図4-37)

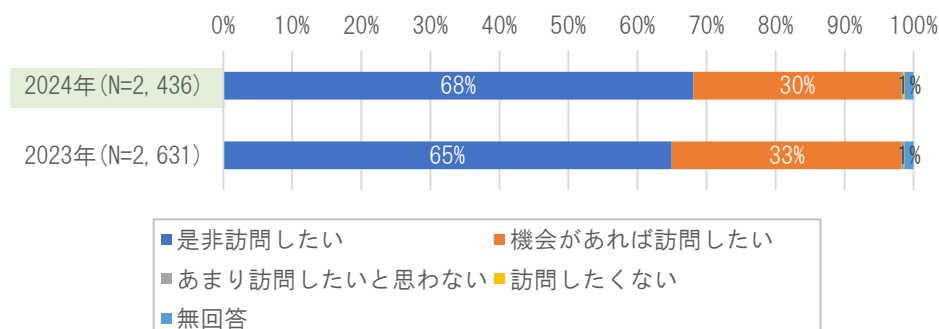


図4-36 再訪問意向

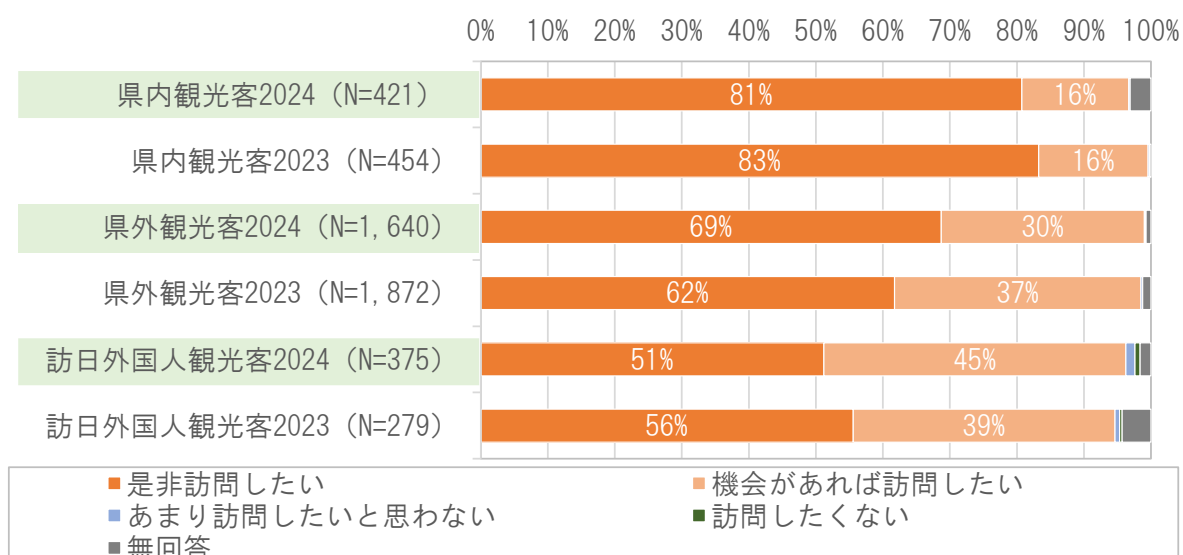


図4-37 居住地別の再訪問意向

② 再訪問の理由

- 再訪問の理由（図4-38）としては、『海や自然が美しいから』が約48%と最も高く、『ショッピング施設が充実しているから』が約45%、『街の景観が良いから』約42%と続いている。
- 居住地別でも、「海や自然が美しいから」が上位にあり、北谷の海が評価されている。（図4-39）

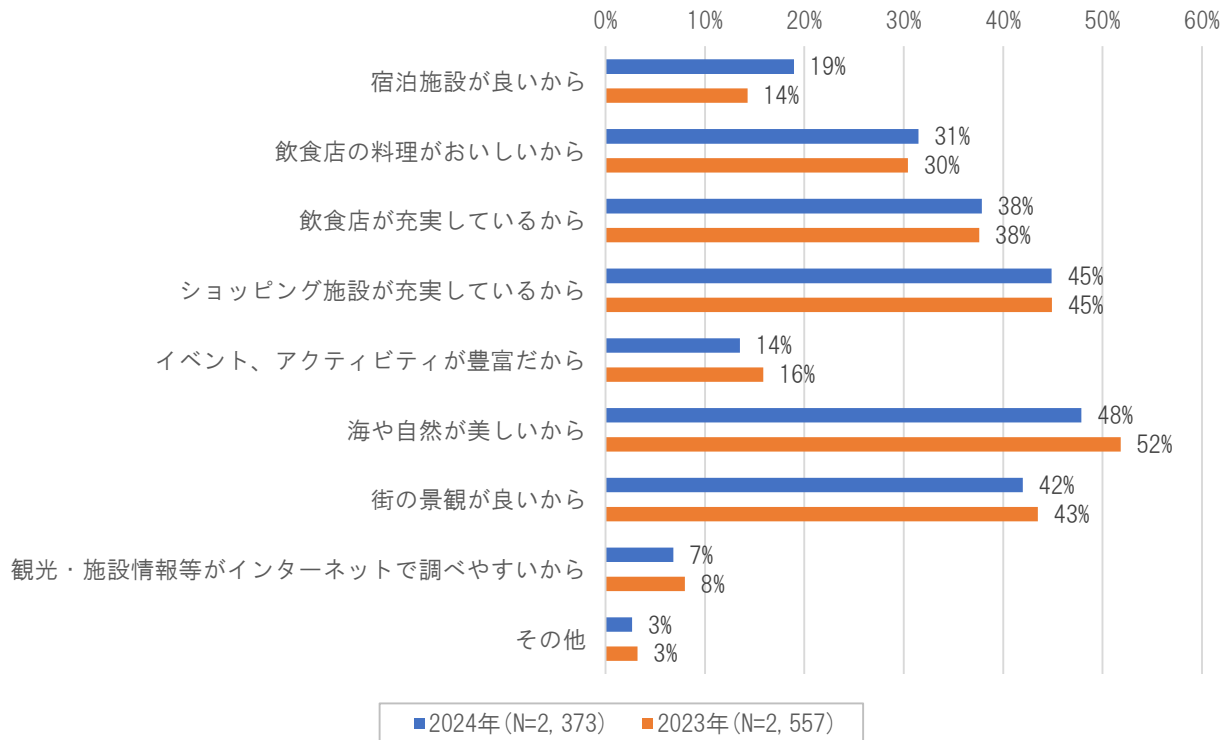


図4-38 再訪問の理由

2024年		2023年	
県内観光客 (N=421)		県内観光客 (N=454)	
街の景観の良さ	41%	海や自然の美しさ	51%
飲食店の充実度	41%	街の景観の良さ	45%
海や自然の美しさ	41%	飲食店の充実度	43%
ショッピング施設の充実度	35%	ショッピング施設の充実度	37%
飲食店の料理のおいしさ	30%	飲食店の料理のおいしさ	30%
県外観光客 (N=1,640)		県外観光客 (N=1,872)	
ショッピング施設の充実度	49%	海や自然の美しさ	48%
海や自然の美しさ	43%	ショッピング施設の充実度	47%
街の景観の良さ	40%	街の景観の良さ	41%
飲食店の充実度	36%	飲食店の充実度	34%
飲食店の料理のおいしさ	28%	飲食店の料理のおいしさ	27%
訪日外国人観光客 (N=375)		訪日外国人観光客 (N=279)	
海や自然の美しさ	69%	海や自然の美しさ	63%
街の景観の良さ	44%	街の景観の良さ	45%
飲食店の料理のおいしさ	42%	飲食店の料理のおいしさ	43%
飲食店の充実度	35%	飲食店の充実度	39%
ショッピング施設の充実度	31%	ショッピング施設の充実度	34%

図4-39 居住地別の再訪問の理由

(10) お勧め度

① ネット・プロモーター・スコア

- 観光客全体のネット・プロモーター・スコアは、『56』となっている。
- 居住地別でみると、県内観光客が最も高く、訪日外国人観光客の順に高い。他市と比較しても総じて高い数値となっており、観光満足度は高いことが推察される。

	2023 年	2024 年
県内観光客	62	→ 69
県外観光客	45	→ 53
訪日外国人観光客	52	→ 54
観光客全体	49	→ 56

*NPS（ネット・プロモーター・スコア）とは顧客ロイヤルティ（商品やサービスに対する信頼・愛着）を測る指標で、顧客満足度とは異なり、企業の収益と相関が強いといわれており、海外を中心に経営指標としての導入が進んでいる。数値が高いほど良い評価を示している。観光地評価としては、公益社団法人京都市観光協会が導入しており、京都では、日本人観光客が 20.4、外国人観光客が 53.9（平成 28 年）となっている。

② お勧めしたい要素

○ お勧めしたい要（図4-40）としては、『海や自然が美しいから』が約53%と最も高く、ついで、『ショッピング施設が充実しているから』が49%で、『街の景観が良いから』が47%となっている。

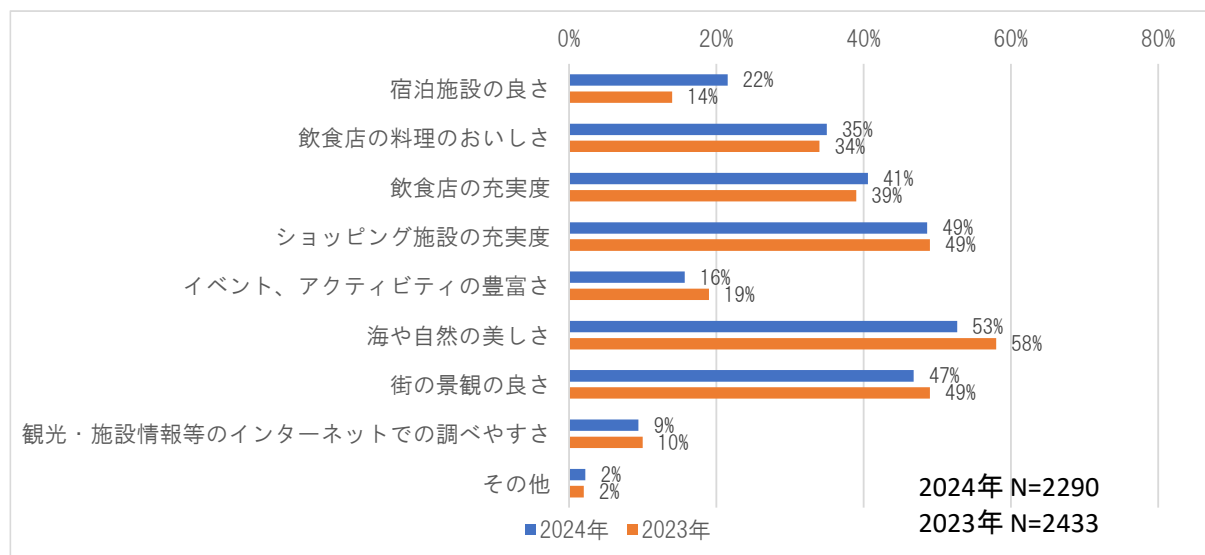


図4-40 お勧めしたい要素

4章 観光客満足度・消費動向調査

2024年

県内観光客 (N=392)	
街の景観の良さ	56%
海や自然の美しさ	54%
飲食店の充実度	48%
ショッピング施設の充実度	43%
飲食店の料理のおいしさ	39%
イベント、アクティビティの豊富さ	24%
宿泊施設の良さ	17%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	12%
その他	3%

県外観光客 (N=1,548)	
ショッピング施設の充実度	52%
海や自然の美しさ	49%
街の景観の良さ	44%
飲食店の充実度	39%
飲食店の料理のおいしさ	31%
宿泊施設の良さ	19%
イベント、アクティビティの豊富さ	13%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	6%
その他	3%

訪日外国人観光客 (N=350)	
海や自然の美しさ	70%
飲食店の料理のおいしさ	51%
街の景観の良さ	50%
飲食店の充実度	41%
ショッピング施設の充実度	39%
宿泊施設の良さ	36%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	20%
イベント、アクティビティの豊富さ	19%
その他	0%

2023年

県内観光客 (N=454)	
海や自然の美しさ	56%
街の景観の良さ	50%
飲食店の充実度	41%
ショッピング施設の充実度	35%
飲食店の料理のおいしさ	32%
イベント、アクティビティの豊富さ	31%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	10%
宿泊施設の良さ	3%
その他	2%

県外観光客 (N=1,872)	
海や自然の美しさ	52%
ショッピング施設の充実度	49%
街の景観の良さ	43%
飲食店の充実度	33%
飲食店の料理のおいしさ	30%
宿泊施設の良さ	14%
イベント、アクティビティの豊富さ	14%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	7%
その他	2%

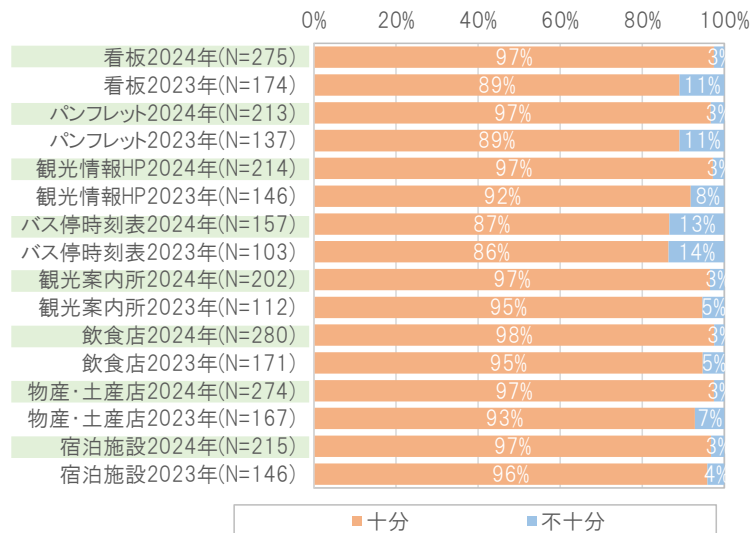
訪日外国人観光客 (N=279)	
海や自然の美しさ	65%
街の景観の良さ	48%
飲食店の料理のおいしさ	43%
ショッピング施設の充実度	41%
飲食店の充実度	41%
イベント、アクティビティの豊富さ	24%
宿泊施設の良さ	23%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	20%
その他	5%

図4-41 居住地別のお勧め要素

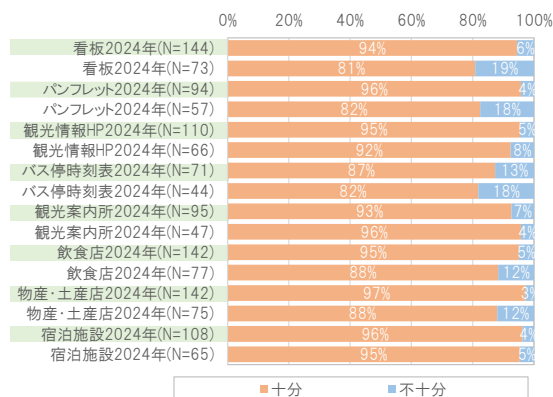
(11) 外国語表記の充実度

- 昨年と同様に、英語の多言語表記は十分との回答割合が各項目で高い。
- サンプルが少ないものの、国・地域別でも軒並み十分の割合が高いが、昨年に比べ、十分の割合が増えている項目がみられる。(図4-42)

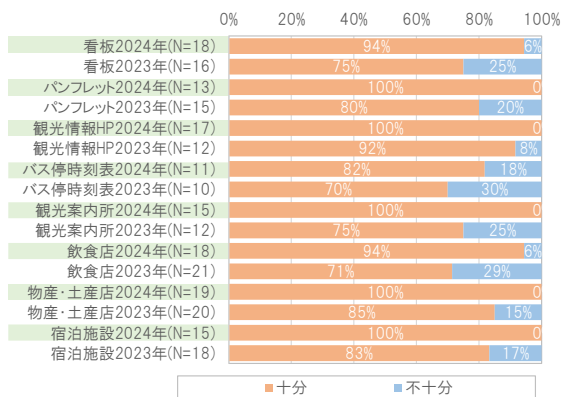
英語圏



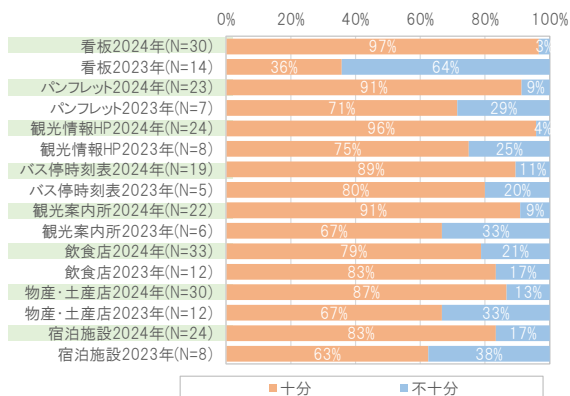
台湾



香港



韓国



中国

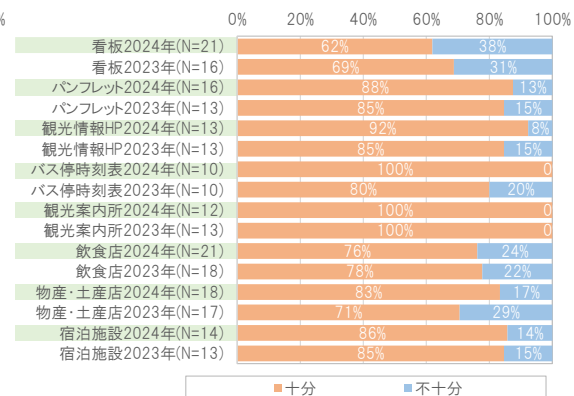


図4-42 母国語表記の充実度

5章 ロコミデータによる観光課題の抽出

本章では、北谷町の観光動向（内部環境）として、ロコミデータを収集することで、町内観光の課題等を把握している。

5-1 分析に使用するデータの概要

(1) 分析データの概要

メディアによりロコミ投稿者の属性が異なると考えられるため、本調査では多様なメディアからデータを取得することができる Quid Monitor を使用します。(表 5-1)

表 5-1 Quid Monitor の概要

	Quid Monitor
対応メディア	SNS (x (旧: twitter)、instagram)、ブログ、掲示板、レビューサイト等
個人属性	地域、性別、年齢

※X (旧: Twitter) は規約の関係上 10% サンプルングデータとなっている。

(2) 観光スポットのロコミ分析

1) アラハビーチ・安良波公園

過去 2 年間に SNS に投稿された状況を見ると約 2.5 万投稿であった。(表 5-2)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブを感情や行動に分けると、主に感情では「いい」「最高」「綺麗」などのポジティブなキーワードがある。

行動では「行く」「遊ぶ」などのポジティブなキーワードや「 見れる (見れない)」などのネガティブなキーワードもある。(図 5-1)

表 5-2 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・アラハビーチ ・安良波公園	2 年 (2023 年 2 月 25 日～ 2025 年 2 月 25 日)	25,104



※緑：ポジティブ 赤：ネガティブ

※ 否定を意味する

図 5-1 ワードクラウド (右：感情キーワード 左：行動キーワード)

2) サンエーハンビータウン

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると約910万投稿であった。(表5-3)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表5-3 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・サンエーハンビータウン	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	910

3) サンセットビーチ

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると約4万投稿であった。(表5-4)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブを感情や行動に分けると、主に感情では「素敵」「最高」「綺麗」などのポジティブなキーワードなどのや「うるさい」「残念」などのネガティブなキーワードもある。

行動では「見れる」「楽しむ」などのポジティブなキーワードや「見れる（見れない）」などのネガティブなキーワードもある。(図5-2)

表5-4 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・アラハビーチ ・安良波公園	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	40,219



※緑：ポジティブ 赤：ネガティブ

※否定を意味する

図5-2 ワードクラウド(右：感情キーワード 左：行動キーワード)

4) テルメヴィラちゅら一ゆ

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると525投稿であった。(表5-5)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブを感情や行動に分けると、行動で「おすすめ」「使える」のポジティブなキーワードしかなかった。(図5-3)

表5-5 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・テルメヴィラちゅら一ゆ	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	525

おすすめ
使える

※緑：ポジティブ 赤：ネガティブ

※否定を意味する

図5-3 ワードクラウド(行動キーワード)

5) 北谷フッシャリーナ

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると約2千投稿であった。(表5-6)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブを感情や行動に分けると、「羨ましい」「綺麗」「楽しめる」などのポジティブなキーワードしかない。(図5-4)

表5-6 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・北谷フィッシャリーナ ・フィッシャリーナ	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	2,302

羨ましい 行く
キレイ 綺麗 楽しい 目指す 取り込む 利用 楽しめる

※緑：ポジティブ 赤：ネガティブ

※否定を意味する

図5-4 ワードクラウド(右：感情キーワード 左：行動キーワード)

6) ユニオン北谷店

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると867万投稿であった。(表5-7)

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表5-7 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・ユニオン北谷店	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	867

7) 北谷公園

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると527投稿であった。(表5-8)

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表5-8 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・北谷公園	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	527

8) 宮城海岸

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると約2千投稿であった。(表5-9)

口コミについて、ポジティブ・ネガティブを感情や行動に分けると、主に感情では「綺麗」などのポジティブなキーワードがある。

行動では「駐車」などのポジティブなキーワードがある。(図5-5)

表5-9 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・宮城海岸	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	2,642



※緑：ポジティブ 赤：ネガティブ

※否定を意味する

図5-5 ワードクラウド（右：感情キーワード 左：行動キーワード）

9) 山手通り

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると144投稿であった。（表5-10）

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表5-10 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・山手通り ※文章に北谷や沖縄がある もの	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	144

10) 砂辺馬場公園・モニュメント

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると905投稿であった。（表5-11）

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表5-11 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・砂辺馬場公園	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	905

1 1) 美浜アメリカンビレッジ

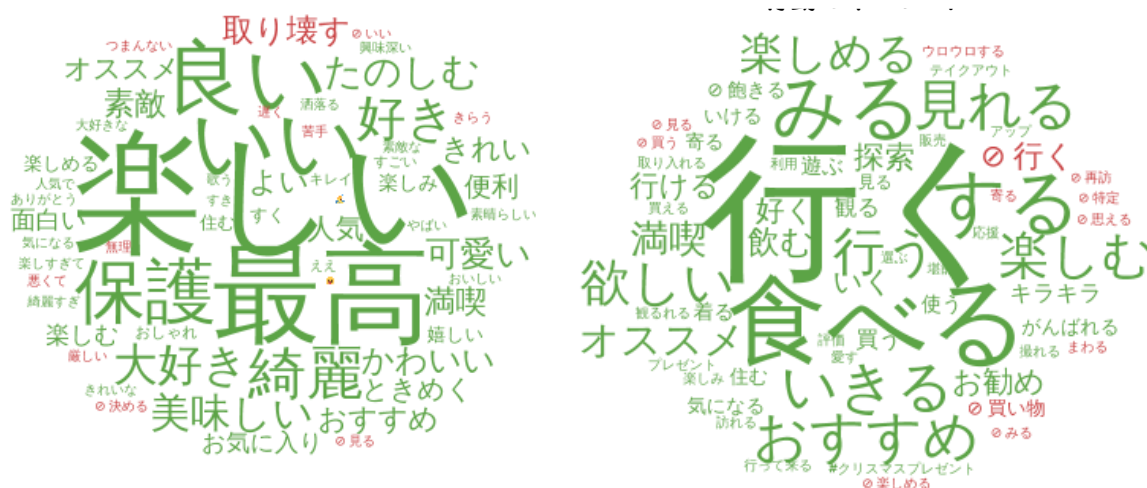
過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると約9万投稿であった。(表5-12)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブを感情や行動に分けると、主に感情では「楽しい」「最高」「綺麗」などのポジティブなキーワードや「つまらない」「苦手」などのネガティブなキーワードもある。

行動では「食べる」「楽しめる」などのポジティブなキーワードや「 買う (買えない)」「 楽しめる (楽しめない)」などのネガティブなキーワードもある。(図5-6)

5-12 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・美浜アメリカンビレッジ ・アメリカンビレッジ	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	88,570



※緑：ポジティブ 赤：ネガティブ

※ 否定を意味する

図5-6 ワードクラウド(右：感情キーワード 左：行動キーワード)

1 2) 謝苺公園

過去2年間にSNSに投稿された状況を見ると103投稿であった。(表5-13)

ロコミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表5-13 ロコミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・謝苺公園	2年 (2023年2月25日～ 2025年2月25日)	103

13) うちなあ家

過去2年間に SNS に投稿された状況を見ると 146 投稿であった。(表 5-14)

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表 5-14 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・うちなあ家	2 年 (2023 年 2 月 25 日～ 2025 年 2 月 25 日)	146

14) ハンビーフリーマーケット

過去2年間に SNS に投稿された状況を見ると 13 投稿であった。(表 5-15)

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表 5-15 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・ハンビーフリーマーケット	2 年 (2023 年 2 月 25 日～ 2025 年 2 月 25 日)	13

15) 北谷町立博物館

過去2年間に SNS に投稿された状況を見ると 447 投稿であった。(表 5-16)

口コミについて、ポジティブ・ネガティブの意見はなかった。

表 5-16 口コミ数

キーワード	検索期間	投稿数
・北谷町立博物館	2 年 (2023 年 2 月 25 日～ 2025 年 2 月 25 日)	447

(3) ネガティブな意見

美浜アメリカンビレッジのSNSのロコミについて、ネガティブな意見を抽出したところ、以下のようになった。(図5-7)

- ・インスタ映え spot なので子供連れてはきついと思います。
- ・周辺にホテルが多々ありますが、オーシャンビューばかりで、アメリカンビレッジの夜景が部屋から楽しめるホテルが見当たりません。
- ・アメリカンビレッジってテーマパークでもなんでもなくて、イオンとふつうのイオンの専門店に入ってそうな店が広範囲に点在しているだけです。
- ・一人だとアメリカンビレッジはつまらないかも
- ・アメリカンビレッジお店が多すぎて何処に行こうか決められず、帽子だけ購入した
- ・店がごちゃごちゃたくさんあってちょっと苦手
- ・謎のお土産や洋服が多くて買うものは無かった
- ・万座毛とアメリカンビレッジ寄って空港までを4時間では無理です。

さらに美浜アメリカンビレッジの旅行サイトのロコミについて、ネガティブな意見を抽出したところ、①お店が多いことによる複雑化 ②観光客のターゲット層が限定的 ③インフラの不便さといったネガティブなロコミがあり、その抜粋は以下の通り。

①お店が多いことによる複雑化	②観光客のターゲットが限定的	③インフラの不便さ
・<u>トイレがもっとわかりやすくある</u>といい ・<u>どこに何があるかは分かりにく</u>かったです。 ・とてもたくさんのお店があって、回りきれませんでした。塔がいくつもあり、<u>地図を見てもどこがどこ</u>だかわからない感じでした。 ・お店の数がたくさんあるのでまわりきれない!HPはやや見にくいから事前に調べてから行くと良いかも	・60代のおばさんには、イマイチの場所でした。 ・お土産やさんは外国の観光客向けなのか。 ・子ども向けではなく、大人向けなのかな...と ・どちらかというと、カップルや友達同士向け。子連れはゲームセンターやボウリング場などしかないので退屈します。	・ベビーカーを弾いてとかはちょっと人が多いので大変かもしれません。 ・駐車場がほとんど無料なのは有難いのですが、満車状態が常日頃でなかなか空が見つからずいつもウロウロしてしまいます。 ・案外中の方も空いていたりしましたが、分からないと見つけるのが難しい

※じゃらのロコミを表示

図5-7 ネガティブロコミ

6章 観光消費による経済波及効果の把握

本章では、北谷町の観光客数、観光消費額から観光総消費額を推計するとともに、産業連関表を作成することで観光消費による経済波及効果等を試算している。

6-1 経済波及効果の推計方法

旅行者や観光客による消費が北谷町内の産業へ与える影響を定量的に把握するため、産業連関分析を用いて経済波及効果を推計した。

なお、北谷町内への経済波及効果の分析を行うためには、北谷町の産業連関表が必要となるが、北谷町では産業連関表の作成を行っていない。そのため、平成 27 年沖縄県産業連関表をベースとして、経済センサス等の各種統計データの沖縄県と北谷町の比率で縮小推計することで、平成 27 年北谷町産業連関表を作成し、経済波及効果の推計を行った。

(1) 産業連関表とは

産業連関表とは、一定期間（通常 1 年間）において、財・サービスが各産業部門でどのように生産され、販売され、そして消費されたかを、行列の形で一覧表にとりまとめたものである。

(2) 北谷町産業連関表の作成

1) 産業連関表の作成方法

産業連関表の作成方法は、大きく 2 つに分類される。1 つは、サーベイアプローチと呼ばれるもので、既存の統計資料に加えて、アンケート調査やヒアリング調査等を独自に実施することで、対象地域の取引額を直接的に把握して産業連関表を作成するものである。もう 1 つは、ノンサーベイアプローチと呼ばれ、既存の統計資料によりデータを補完することで対象地域の取引額を推計するものである。

サーベイアプローチによる産業連関表の作成は、より実態に即したデータを反映することが可能だが、アンケート調査やヒアリング調査を実施して、既存の統計資料だけでは収集できない、その地域独自のデータを収集する必要があるため、作成には多大なコストと時間を要する。そのため、今回使用する北谷町産業連関表の作成にあたっては、ノンサーベイアプローチを使用することとした。

ノンサーベイアプローチによる産業連関表の作成にあたっては、①域内生産額の推計、②中間投入額の推計、③粗付加価値額の推計、④域内最終需要額の推計、⑤移輸入額の推計、⑥移輸出額の推計（バランス調整）、の順に推計を行う。（図 6-1、表 6-1）

		中間需要					最終需要					移輸入	域内 生産額
		農業	林業	漁業	…	内生 部門計	消費	固定資本 形成	在庫	移輸出	最終需要 部門計		
中間 投入	農業	②					④			⑥	④	⑤	①
	林業										+		
	漁業										⑥		
	⋮												
	内生部門計										⑥		
粗 付 加 価 値	家計外消費支出	③											
	雇用者所得												
	営業余剰												
	⋮												
	粗付加価値部門計												
域内生産額		①											

図 6-1 北谷町産業連関表の作成順序

表 6-1 北谷町産業連関表の作成手順

作成手順	推計方法
①域内生産額の推計	(01. 農業) →県内生産額を、沖縄県と北谷町の農業算出額（農業センサス）の比率で按分。
	(02. 林業、03. 漁業、29. 公務) →県内生産額を、沖縄県と北谷町の就業者数（国勢調査）の比率で按分。
	(24. 商業) →県内生産額を、沖縄県と北谷町の年間商品販売額（経済センサス）の比率で按分。
	(38. その他) →県内生産額を、沖縄県と北谷町の全従業者数（経済センサス）の比率で按分。
	(その他の産業) →県内生産額を、沖縄県と北谷町の従業者数（経済センサス）の比率で按分。
②中間投入額の推計	→沖縄県の投入係数に、①で推計した域内生産額を乗じて推計。
③粗付加価値額の推計	→沖縄県の粗付加価値係数に、①で推計した域内生産額を乗じて推計。
④最終需要額の推計	(家計外消費支出、民間消費支出) →沖縄県の当該項目を、沖縄県と北谷町の人口比率により按分。
	(一般政府消費支出、域内総固定資本形成（公的）) →沖縄県の当該項目を、沖縄県と北谷町の公務員数比率により按分。
	(域内総固定資本形成（民間）、在庫純増) →沖縄県の当該項目を、沖縄県と北谷町の総従業者数比率により按分。
⑤移輸出入額の推計	(輸入) →沖縄県の輸入額を、沖縄県と北谷町の域内需要計の比率で按分。
	(県内他地域からの移入) →特化係数（ LQ ）法を用いて推計。 ＜参考＞特化係数（ LQ ）法 $LQ_{i,r} = \left[x_{i,r} / \sum_{i=1}^n x_{i,r} \right] \div \left[x_{i,s} / \sum_{i=1}^n x_{i,s} \right]$ 地域供給係数 $t_{i,r}$ を以下のように定義し、これをもとに推計した移入率（ $1 - t_{i,r}$ ）に、北谷町の域内需要計を乗じて推計。 $t_{i,r} = \begin{cases} LQ_{i,r} & \text{if } LQ_{i,r} < 1 \\ 1 & \text{if } LQ_{i,r} \geq 1 \end{cases}$
	(県外からの移入) →沖縄県の移入額を、沖縄県と北谷町の生産額比率で按分。
	(輸出) →沖縄県の輸出額を、沖縄県と北谷町の生産額比率で按分。
	(移出) →全体のバランス調整の結果として推計。

2) 北谷町産業連関表の作成に利用した統計データ

ノンサーベリアプローチによる北谷町産業連関表の作成にあたって利用した統計データは、下表（表6-2）のとおり。

表6-2 利用した統計データ

利用データ	利用統計（発行元）
・平成27年沖縄県産業連関表（35部門） （取引基本表及び各種係数） ・平成27年沖縄県産業連関表（公表用基本分類（行部門458×列部門367））	・平成27年沖縄県産業連関表（沖縄県）
・平成27年市町村別農業産出額（推計）	・平成27年農林業センサス（農林水産省）
・平成27年国勢調査（就業状態等基本集計）	・平成27年国勢調査（総務省）
・平成28年経済センサス-活動調査（事業所に関する集計）	・平成28年経済センサス（経済産業省）

3) 北谷町産業連関表の部門分類

北谷町産業連関表の部門分類は下表（表6-3）のとおり。なお、沖縄県産業連関表（35部門）では、一般消費者を対象としたサービス業が「対個人サービス」としてまとめられており、このままでは、観光業の詳細な分析を行うことができない。そのため、「対個人サービス」を「宿泊業」「飲食サービス」「娯楽サービス」「その他の対個人サービス」に分割し、38部門表とした。

表6-3 北谷町産業連関表（38部門）の部門分類

No	部門名	No	部門名
0100	農業	2000	建築及び補修
0200	林業	2100	土木建設
0300	漁業	2200	電気・ガス・熱供給
0400	鉱業	2300	水道・廃棄物処理
0500	食料品・たばこ・飲料	2400	商業
0600	繊維製品	2500	金融・保険
0700	製材・木製品・家具	2600	不動産
0800	パルプ・紙・紙加工品	2700	運輸・郵便
0900	化学製品	2800	情報通信
1000	石油製品・石炭製品	2900	公務
1100	窯業・土石製品	3000	教育・研究
1200	鉄鋼	3100	医療・保健・社会保障・介護
1300	非鉄金属	3200	その他の公共サービス
1400	金属製品	3300	対事業所サービス
1500	一般機械	671	宿泊業
1600	電気機械	672	飲食サービス
1700	輸送機械	674	娯楽サービス
1800	精密機械	679	その他の対個人サービス
1900	その他の製造工業製品	3500	その他

4) 北谷町産業連関表から見た産業構造

北谷町の域内生産額構成比（図6-2）は、「不動産」が最も大きく、次いで、「飲食サービス」、「医療・保健・社会保障・介護」、「対事業所サービス」、「建築及び補修」、「商業」の順となっており、一次産業や二次産業（建設業以外）がほとんどなく、三次産業が中心となっている。

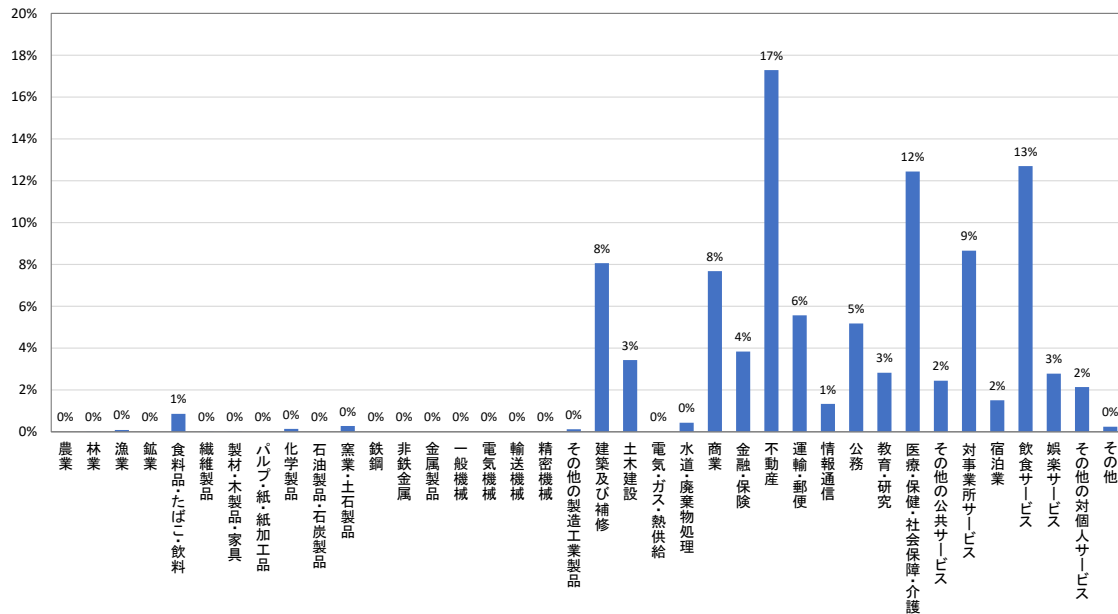


図6-2 部門別の域内生産額構成比（北谷町）

参考として、沖縄県の域内生産額構成比（図6-3）を見ると、「医療・保健・社会保障・介護」が最も大きく、次いで、「運輸・郵便」、「商業」、「建築及び補修」、「不動産」、「対事業所サービス」の順となっている。

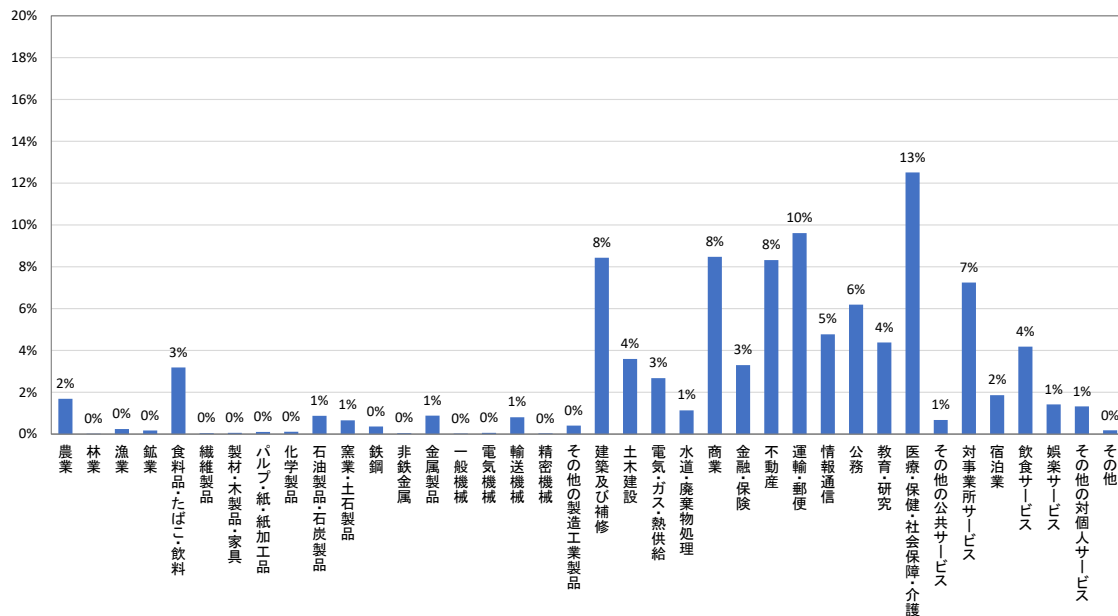


図6-3 【参考】部門別の域内生産額構成比（沖縄県）

6章 観光消費による経済波及効果の把握

また、全国の域内生産額構成比（図6－4）を見ると、「商業」が最も大きく、次いで、「不動産」、「対事業所サービス」、「医療・保健・社会保障・介護」、「輸送機械」、「情報通信」の順となっている。

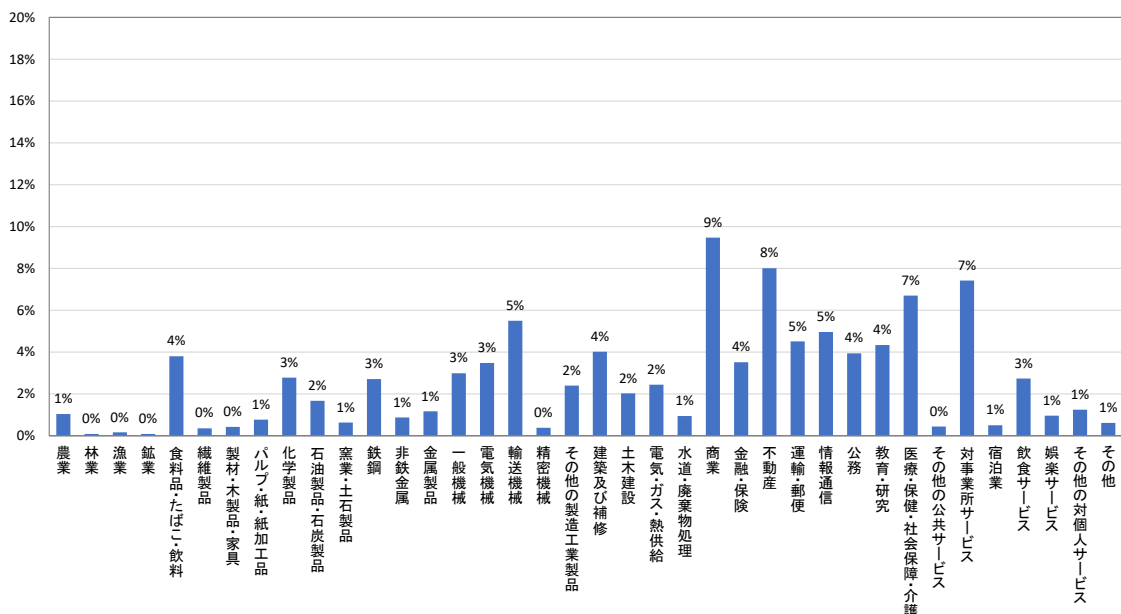


図6－4 【参考】部門別の域内生産額構成比（全国）

また、生産額特化係数¹（図6－5）で見ると、「その他の公共サービス」（5.56）が最も高く、次いで、「飲食サービス」（4.65）、「宿泊業」（2.98）、「娯楽サービス」（2.90）、「不動産」（2.16）、「建築及び補修」（2.01）、「医療・保健・社会保障」（1.86）、「その他の対個人サービス」（1.72）、「土木建設」（1.70）となっている。

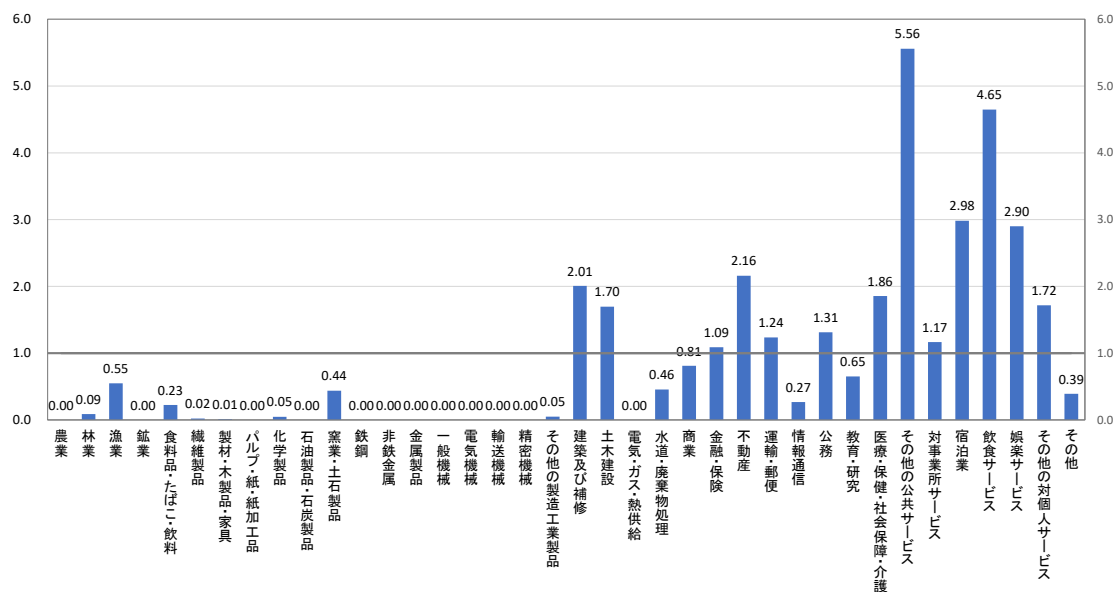


図6－5 部門別の生産額特化係数（北谷町）

¹北谷町の生産額構成比を、沖縄県の生産額構成比で除したもので、北谷町の産業構造がどの部門に特化しているかを図る指標で、1を超えると、沖縄県と比較して、特化した部門となっている。

（２）経済波及効果の推計

１）経済波及効果とは

ある産業部門に新たに消費や投資（最終需要）等が発生すると、その産業部門の生産が誘発されるとともに、その産業部門と取引のある他産業部門にも原材料の購入等の需要が発生することになる。このように、その他の産業部門にも波及し、次々と新たな生産を誘発することで、地域産業全体に次々と波及していく効果を経済波及効果という。

経済波及効果は、通常「直接効果」「第１次間接波及効果」「第２次間接波及効果」の３段階に分けて推計されることが多い。（図６－６）

【経済波及効果とは？】

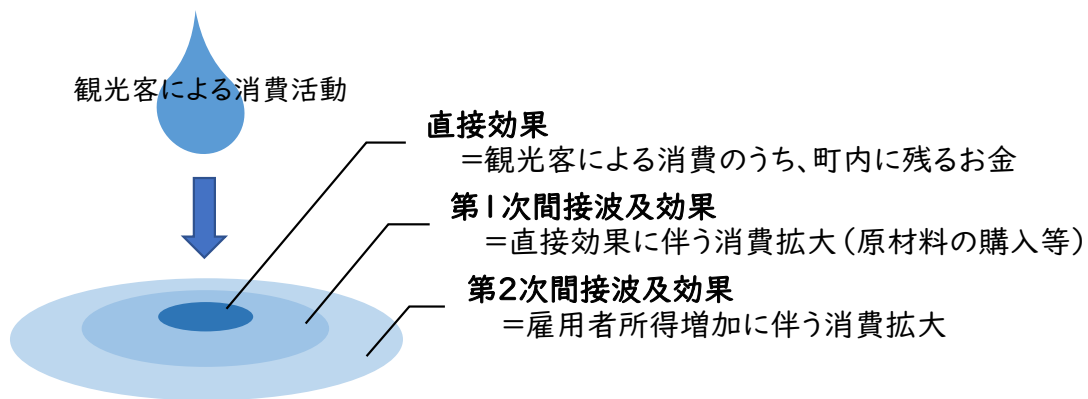


図６－６ 経済波及効果の概念イメージ

①直接効果（町内需要額）

観光客等が北谷町内に宿泊し、食事をし、お土産等を購入することにより消費需要が増加することで、北谷町内の宿泊業や飲食業、小売業の生産増加等をもたらすことになる。

直接効果（町内需要額）とは、新たに発生した消費や投資等に伴って、町内の産業部門に誘発された生産額のことである。

②第１次間接波及効果

ある財の需要が増加することで、財を生産するために必要となる原材料や投資財に対する増加をもたらすことになり、さらに、原材料を供給する企業の生産額を増加させることになる。

第１次間接波及効果とは、直接効果によって新たに誘発される生産額（原材料の購入等）のことである。

③第２次間接波及効果

生産額を増加させるためには、原材料だけではなく、これを生産するために投入された労働力も増加させることが必要となり、賃金支払等によって所得が増加することとなる。この所得の増加分が新たな消費需要を喚起することとなり、この消費需要の増加が、それに見合うだけの新たな生産の増加を生み出すこととなる。

第２次間接波及効果とは、直接効果、第１次間接波及効果によって誘発された粗付加価値額の一部（雇用者所得の増加）が家計消費に回することで、新たに誘発される生産額のことである。

2) 経済波及効果の推計手順

経済波及効果の推計手順は以下のとおり。(表6-4)

表6-4 経済波及効果の推計手順

	項目	内容
1	直接効果（町内需要額）の推計 (図6-7)	・北谷町内での観光客による消費活動により、新たに誘発される需要額（総観光消費額）を算出する。 ・算出された総観光消費額は購入者価格であるため、生産者価格に変換する。 ・総観光消費額のうち、北谷町内で調達される分（町内需要額）を求めるため、総観光消費額に町内自給率（産業部門別）を乗じる。 ※商業、運輸・郵便、宿泊業、飲食サービス業、娯楽サービス、その他の対個人サービスについては、旅行客・観光客による総観光消費額はすべて北谷町内での購入・消費であるため、域内自給率の調整を行い、100%として設定する。
2	第1次間接波及効果の推計 (図6-8)	・投入係数に町内需要額を乗じることで、町内需要額を満たすために必要となる原材料投入額を算出する。 ・算出された原材料投入額のうち、北谷町内で調達される分（町内需要額）を求めるため、原材料投入額に町内自給率（産業部門別）を乗じる。 ・逆行列係数に得られた町内需要額を乗じることで、第1次間接波及効果を算出する。
3	第2次間接波及効果の推計 (図6-9)	・直接効果、第1次間接波及効果の算出結果から得られた生産誘発額に、各産業部門の賃金・俸給比率（域内生産額に占める雇用者所得の割合）を乗じることで、雇用者所得誘発額を算出する。 ・得られた雇用者所得誘発額のうち、町内家計消費として支出される分を算出するため、消費転換係数を乗じる。 ・得られた家計消費支出額に、産業部門別の家計消費ベクトルを乗じることで、家計消費支出額を各部門に振り分ける。 ・家計消費支出額のうち、北谷町内で調達される分を求めるため、各部門に振り分けた家計消費支出額に自給率を乗じる。 ・逆行列係数に北谷町内で調達される家計消費支出額を乗じることで、第2次間接波及効果を算出する。
4	粗付加価値誘発額の推計	・直接効果、第1次間接波及効果、第2次間接波及効果の算出結果から得られる生産誘発額に、産業部門別の粗付加価値率（域内生産額に占める粗付加価値額の割合）を乗じることで算出する。
5	雇用誘発数の推計	・直接効果、第1次間接波及効果、第2次間接波及効果の算出結果から得られる生産誘発額に、雇用係数（雇用者数／町内生産額：労働生産性の逆数）を乗じることで算出する。
6	税収誘発額（個人町民税・法人町民税）の推計	・直接効果、第1次間接波及効果、第2次間接波及効果の算出結果から得られる粗付加価値誘発額に、税収係数を乗じることで算出する。

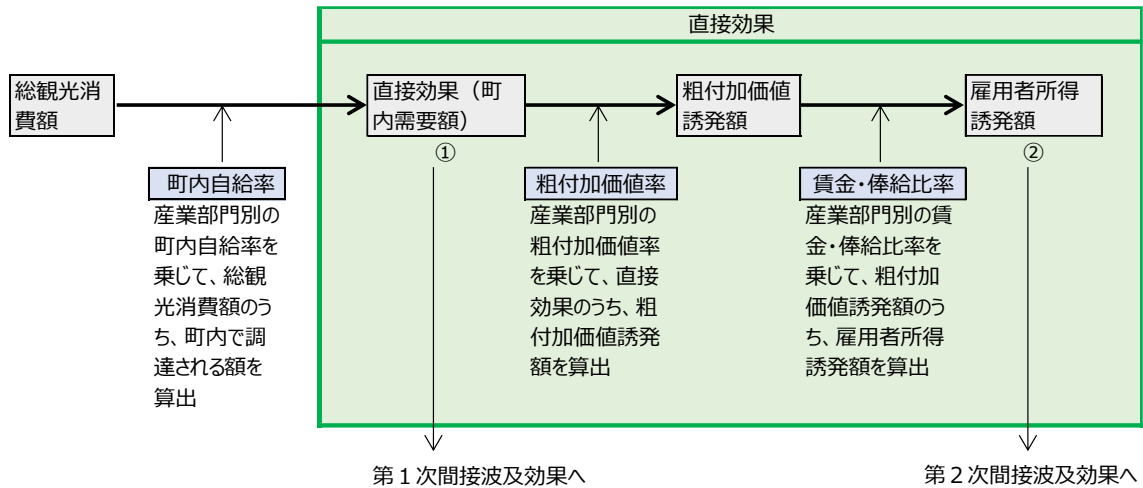


図6-7 直接効果の推計フロー

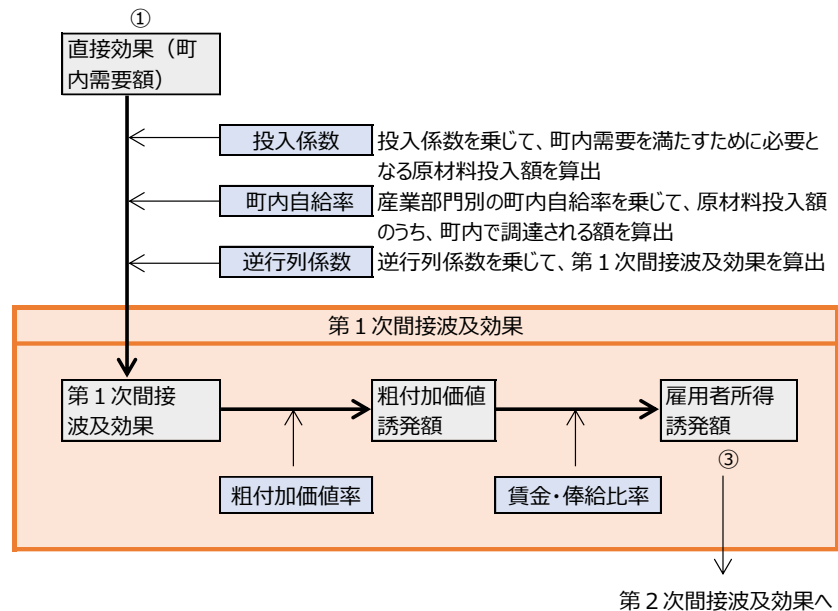


図6-8 第1次波及効果の推計フロー

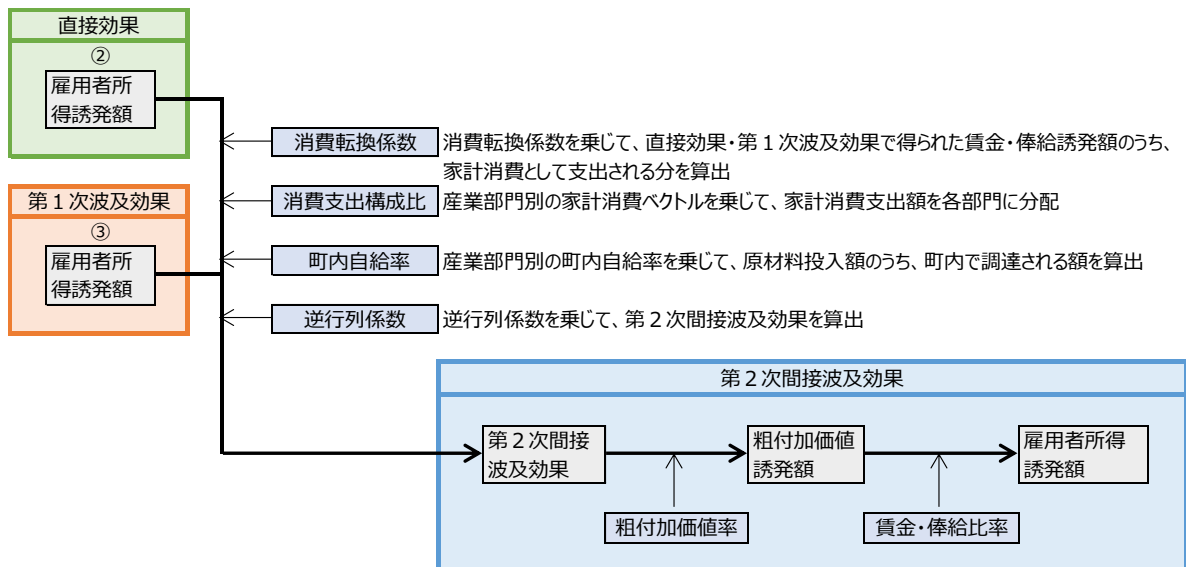


図6-9 第2次波及効果の推計フロー

6-2 経済波及効果の推計結果

(1) 令和5年データを用いた経済波及効果の推計

1) 総観光消費額の推計

総観光消費額は、観光客1人1日当たり観光消費額に延べ観光客数を乗じることで推計する。

1人1日当たり観光消費額は、「観光客満足度・消費動向調査」で収集した「町内での消費額」のデータをもとに推計するとともに、延べ観光客数は、GPSデータをもとに推計した。

令和5年度に実施した「観光客満足度・消費動向調査」の結果から推計した観光客1人1日当たり観光消費額と、令和5年1月～12月のGPSデータをもとに推計した延べ観光客数は、下表（表6-5、表6-6）のとおり。

表6-5 居住地別・費目別の観光客1人1日あたり観光消費額（令和5年）

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	5,571	880	64	130	297	46	6,988
県外観光客	19,865	3,003	1,230	307	2,323	492	27,220
訪日外国人観光客	19,909	4,662	4,695	902	4,060	404	34,632

表6-6 居住地別の延べ観光客数（令和5年）

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他
県内観光客	37,666	570,987	570,987	570,987	570,987	570,987
県外観光客	753,045	2,556,994	2,556,994	2,556,994	2,556,994	2,556,994
訪日外国人観光客	16,143	20,297	20,297	20,297	20,297	20,297

両データを用いて推計した令和5年の総観光消費額は、下表（表6-7）のとおり。

表6-7 居住地別・費目別の総観光消費額（令和5年）

（百万円・年）	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	210	502	37	74	170	26	1,019
県外観光客	14,959	7,679	3,145	785	5,940	1,258	33,766
訪日外国人観光客	321	95	95	18	82	8	620
合計	15,490	8,276	3,277	878	6,192	1,293	35,405

令和5年の総観光消費額について、産業連関表の部門分類に合わせて、需要が発生する部門に割り振ると、下表（表6－8）のとおりとなる。

「宿泊」は「宿泊業」、「飲食」は「飲食サービス」、「交通」は「運輸・郵便」、「娯楽」は「娯楽サービス」へ全て割り振る。ただし、「土産」および「その他」は、購入した商品によって、割り振るべき産業部門が分かれるが、本調査では、購入した品目等を調査していないことから、沖縄県が公表している「平成29年度観光統計実態調査・外国人観光客実態調査における詳細品目別消費額構成比調査結果」における比率を乗じて、発生する産業部門に割り振ることとした。

なお、総観光消費額は、あくまで北谷町内での観光消費によって発生する金額であり、この結果に域内調達率を乗じて、北谷町内での需要額（直接効果（町内需要額））を算出する。

表6－8 産業部門別の観光消費額（総額・令和5年）

		県内観光客 (百万円)	県外観光客 (百万円)	訪日外国人 観光客 (百万円)	総観光消費額 (百万円)
0100	農業	10	360	6	376
0200	林業	0	0	0	0
0300	漁業	5	179	0	184
0400	鉱業	0	0	0	0
0500	食料品・たばこ・飲料	92	3,240	22	3,354
0600	繊維製品	12	403	6	421
0700	製材・木製品・家具	0	0	0	0
0800	パルプ・紙・紙加工品	0	0	0	0
0900	化学製品	7	253	30	290
1000	石油製品・石炭製品	0	0	0	0
1100	窯業・土石製品	10	344	1	355
1200	鉄鋼	0	0	0	0
1300	非鉄金属	0	0	0	0
1400	金属製品	0	0	0	0
1500	一般機械	0	0	0	0
1600	電気機械	1	25	4	30
1700	輸送機械	0	0	0	0
1800	精密機械	3	114	3	120
1900	その他の製造工業製品	29	1,024	9	1,062
2000	建築及び補修	0	0	0	0
2100	土木建設	0	0	0	0
2200	電気・ガス・熱供給	0	0	0	0
2300	水道・廃棄物処理	0	0	0	0
2400	商業	0	0	0	0
2500	金融・保険	0	0	0	0
2600	不動産	0	0	0	0
2700	運輸・郵便	46	3,604	95	3,745
2800	情報通信	0	0	0	0
2900	公務	0	0	0	0
3000	教育・研究	0	0	0	0
3100	医療・保健・社会保障・介護	0	0	0	0
3200	その他の公共サービス	0	0	0	0
3300	対事業所サービス	0	0	0	0
671	宿泊業	210	14,959	321	15,490
672	飲食サービス	502	7,679	95	8,276
674	娯楽サービス	74	785	18	878
679	その他の対個人サービス	17	799	8	824
3500	その他	0	0	0	0
		1,019	33,766	620	35,405

2) 経済波及効果の推計

令和5年の総観光消費額（350億5百万円）からの直接効果（町内需要額）は315億24百万円、粗付加価値誘発額は151億73百万円、雇用者所得誘発額は70億95百万円となっている。

（図6-10）

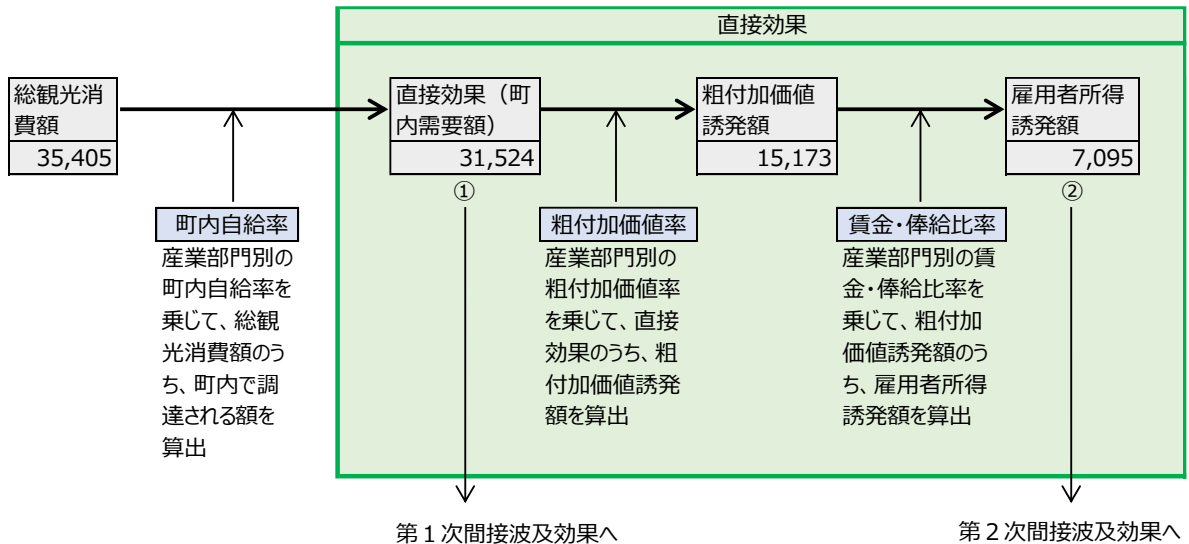


図6-10 直接効果の推計フロー（令和5年・単位：百万円）

直接効果（町内需要額）（315億24百万円）からの第1次間接波及効果は66億34百万円、粗付加価値誘発額は40億47百万円、雇用者所得誘発額は19億06百万円となっている。（図6-11）

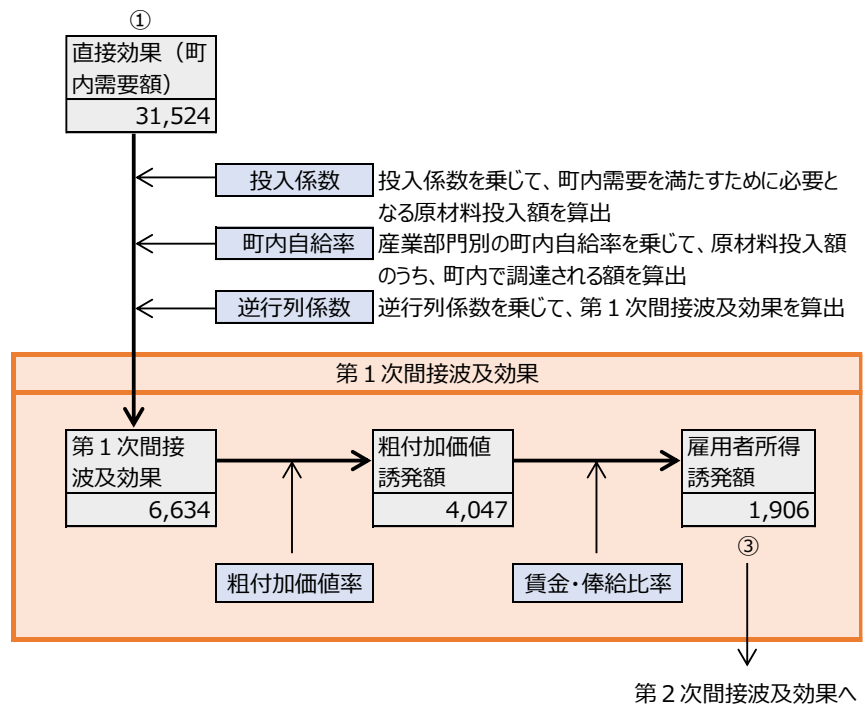


図6-11 第1次波及効果の推計フロー（令和5年・単位：百万円）

直接効果（町内需要額）の雇用者所得誘発額（89 億 33 百万円）と第 1 次間接波及効果の雇用者所得誘発額（20 億 61 百万円）からの第 2 次間接波及効果は 47 億 20 百万円、粗付加価値誘発額は 5 億 84 百万円、雇用者所得誘発額は 5 億 37 百万円となっている。（図 6－12）

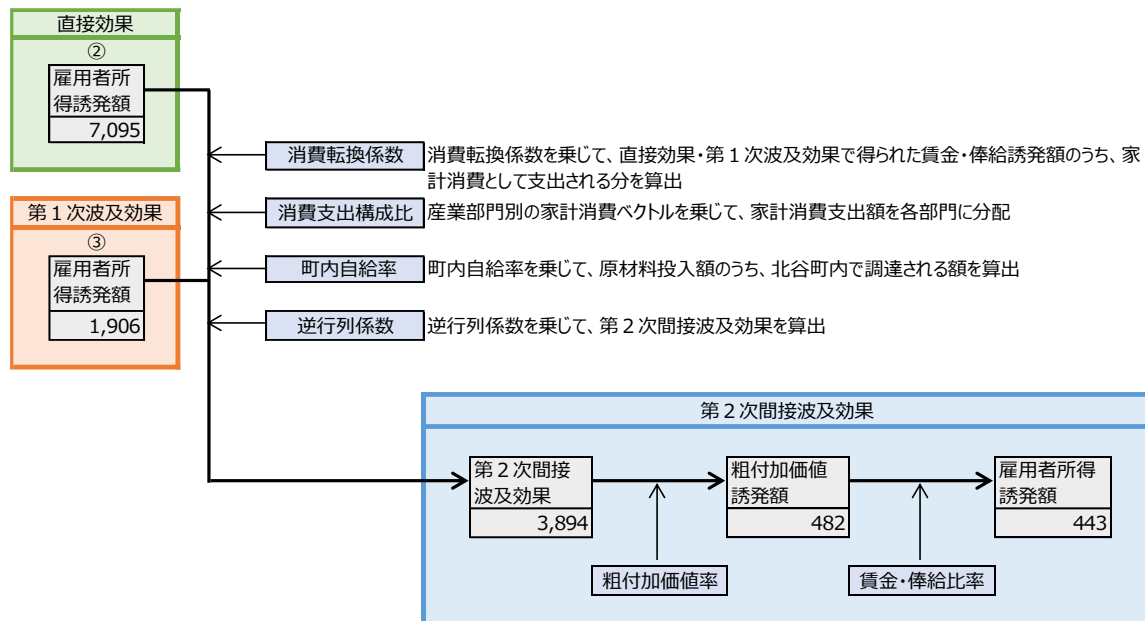


図 6－12 第 2 次波及効果の推計フロー（令和 5 年・単位：百万円）

令和 5 年の観光消費がもたらす経済波及効果（表 6－9）は、総額で 420 億 52 百万円となっている。内訳をみると、直接効果が 315 億 24 百万円、第一次間接波及効果が 66 億 34 百万円、第二次間接波及効果が 38 億 94 百万円となっており、経済波及効果を総観光消費額で除して求める波及倍率は、1.19 となっている。また、経済波及効果に伴う雇用誘発数²は、4,547 人となっており、税収誘発額³は、4 億 23 百万円となっている。

表 6－9 観光消費による経済波及効果（令和 5 年）

	生産誘発額 (百万円)	うち粗付加価値誘発額 (百万円)		雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
		うち粗付加価値誘発額 (百万円)	うち雇用者所得誘発額 (百万円)		
総観光消費額	35,405	-	-	-	-
うち町内需要額	31,524	-	-	-	-
総合効果	42,052	19,702	9,444	4,547	423
直接効果（町内需要額）	31,524	15,173	7,095	3,540	317
第 1 次間接波及効果	6,634	4,047	1,906	672	87
第 2 次間接波及効果	3,894	482	443	336	18
波及倍率（総合効果/総観光消費額）	1.19				

²雇用誘発数：町内において生産誘発額分の生産活動を行うのに必要となる雇用者数。生産誘発額に雇用係数（雇用者数（L）／町内生産額（X）：労働生産性の逆数）を乗じて推計する。労働生産性の逆数であることから、「町内の平均的な労働生産性を持つ労働者の 1 年分の雇用機会を誘発している」と捉えることができる。ただし、臨時雇用者も含まれているため、常時雇用者 1 年分の雇用機会とは解釈できないことに留意が必要である。

³生産誘発額分の生産活動に伴い誘発される税収額。粗付加価値誘発額に税収係数を乗じて推計する。

6章 観光消費による経済波及効果の把握

なお、全国の産業連関表における1単位当たりの最終需要に対する生産波及の大きさ（波及倍率）は、平成27年の全産業平均で1.77倍となっており、これと比較すると、北谷町における波及倍率は低くなっている。これは、北谷町に一次産業・二次産業がほとんどなく、生産が波及する先が限られているためと考えられる。

居住地別（表6-10）にみると、県内観光客が12億15百万円、県外観光客が400億87百万円、訪日外国人観光客が7億51百万円となっており、県外観光客による経済波及効果が圧倒的に大きい。

表6-10 居住地別 観光消費による経済波及効果（令和5年）

	総合効果				雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	直接効果 (百万円)	第1次間接 波及効果 (百万円)	第2次間接 波及効果 (百万円)		
県内観光客	1,215	913	180	121	137	13
県外観光客	40,087	30,049	6,333	3,706	4,332	403
訪日外国人観光客	751	563	121	67	79	7
合計	42,052	31,524	6,634	3,894	4,547	423

産業部門別（表6-11）に見てみると、「宿泊業」が155億02百万円で最も大きく、次いで、「飲食サービス」（87億34百万円）、「運輸・郵便」（47億18百万円）、「商業」（38億49百万円）、「不動産」（15億87百万円）の順となっている。

表6-11 産業部門別 観光消費による経済波及効果（令和5年）

	総合効果				雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	直接効果 (百万円)	第1次間接 波及効果 (百万円)	第2次間接 波及効果 (百万円)		
1 農林水産業	107	40	64	3	10	1
2 鉱業	0	0	0	0	0	0
3 製造業	615	245	310	59	49	5
4 建設業	66	0	52	14	4	1
5 電気・ガス・水道	329	0	307	22	25	4
6 商業	3,849	1,822	1,351	675	594	56
7 金融・保険	873	0	509	364	66	10
8 不動産	1,587	0	371	1,216	50	12
9 運輸・郵便	4,718	3,949	678	91	214	50
10 情報通信	293	0	214	79	12	3
11 公務	26	0	1	24	2	0
12 医療・保健・社会保障・介護	411	0	7	404	44	1
13 宿泊業	15,502	15,490	0	11	1,860	135
14 飲食サービス	8,734	8,276	225	233	1,048	90
15 娯楽サービス	1,049	878	45	127	126	10
16 その他サービス	3,810	824	2,423	563	443	45
17 その他	84	0	77	7	0	0
合計	42,052	31,524	6,634	3,894	4,547	423

(2) 令和6年データを用いた経済波及効果の推計

1) 総観光消費額の推計

令和6年度に実施した「観光客満足度・消費動向調査」の結果から推計した観光客1人1日当たり観光消費額と、令和6年1月～12月のGPSデータをもとに推計した延べ観光客数は、下表のとおり。(表6-12、表6-13)

表6-12 居住地別・費目別の観光客1人1日あたり観光消費額（令和6年）

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	9,032	1,886	229	319	1,067	270	12,803
県外観光客	17,337	3,046	1,252	328	2,674	376	25,013
訪日外国人観光客	15,791	4,670	1,997	694	4,704	88	27,944

表6-13 居住地別の延べ観光客数（令和6年）

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他
県内観光客	15,810	519,696	519,696	519,696	519,696	519,696
県外観光客	312,584	2,322,741	2,322,741	2,322,741	2,322,741	2,322,741
訪日外国人観光客	292,047	1,157,638	1,157,638	1,157,638	1,157,638	1,157,638

両データを用いて推計した令和6年の総観光消費額は、下表（表6-14）のとおり。

表6-14 居住地別・費目別の総観光消費額（令和6年）

(百万円・年)	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	143	980	119	166	555	140	2,103
県外観光客	5,419	7,075	2,908	762	6,211	873	23,249
訪日外国人観光客	4,612	5,406	2,312	803	5,446	102	18,680
合計	10,174	13,461	5,339	1,731	12,211	1,116	44,032

6章 観光消費による経済波及効果の把握

令和6年の総観光消費額について、産業連関表の部門分類に合わせて、需要が発生する部門に割り振ると、下表（表6-15）のとおりとなる。

なお、総観光消費額は、あくまで北谷町内での観光消費によって発生する金額であり、この結果に域内調達率を乗じて、北谷町内での需要額（直接効果（町内需要額））を算出する。

表6-15 産業部門別の観光消費額（総額・令和6年）

		県内観光客 (百万円)	県外観光客 (百万円)	訪日外国人 観光客 (百万円)	総観光消費額 (百万円)
0100	農業	34	376	401	810
0200	林業	0	0	0	0
0300	漁業	17	187	0	203
0400	鉱業	0	0	0	0
0500	食料品・たばこ・飲料	302	3,387	1,461	5,151
0600	繊維製品	38	422	378	837
0700	製材・木製品・家具	0	0	0	0
0800	パルプ・紙・紙加工品	0	0	0	0
0900	化学製品	24	264	2,012	2,300
1000	石油製品・石炭製品	0	0	0	0
1100	窯業・土石製品	32	360	84	476
1200	鉄鋼	0	0	0	0
1300	非鉄金属	0	0	0	0
1400	金属製品	0	0	0	0
1500	一般機械	0	0	0	0
1600	電気機械	2	26	296	324
1700	輸送機械	0	0	0	0
1800	精密機械	11	119	192	321
1900	その他の製造工業製品	96	1,070	622	1,788
2000	建築及び補修	0	0	0	0
2100	土木建設	0	0	0	0
2200	電気・ガス・熱供給	0	0	0	0
2300	水道・廃棄物処理	0	0	0	0
2400	商業	0	0	0	0
2500	金融・保険	0	0	0	0
2600	不動産	0	0	0	0
2700	運輸・郵便	170	3,227	2,312	5,709
2800	情報通信	0	0	0	0
2900	公務	0	0	0	0
3000	教育・研究	0	0	0	0
3100	医療・保健・社会保障・介護	0	0	0	0
3200	その他の公共サービス	0	0	0	0
3300	対事業所サービス	0	0	0	0
671	宿泊業	143	5,419	4,612	10,174
672	飲食サービス	980	7,075	5,406	13,461
674	娯楽サービス	166	762	803	1,731
679	その他の対個人サービス	89	555	102	746
3500	その他	0	0	0	0
		2,103	23,249	18,680	44,032

2) 経済波及効果の推計

令和6年の総観光消費額（440億32百万円）からの直接効果（町内需要額）は360億1百万円、粗付加価値誘発額は174億60百万円、雇用者所得誘発額は89億33百万円となっている。

（図6-13）

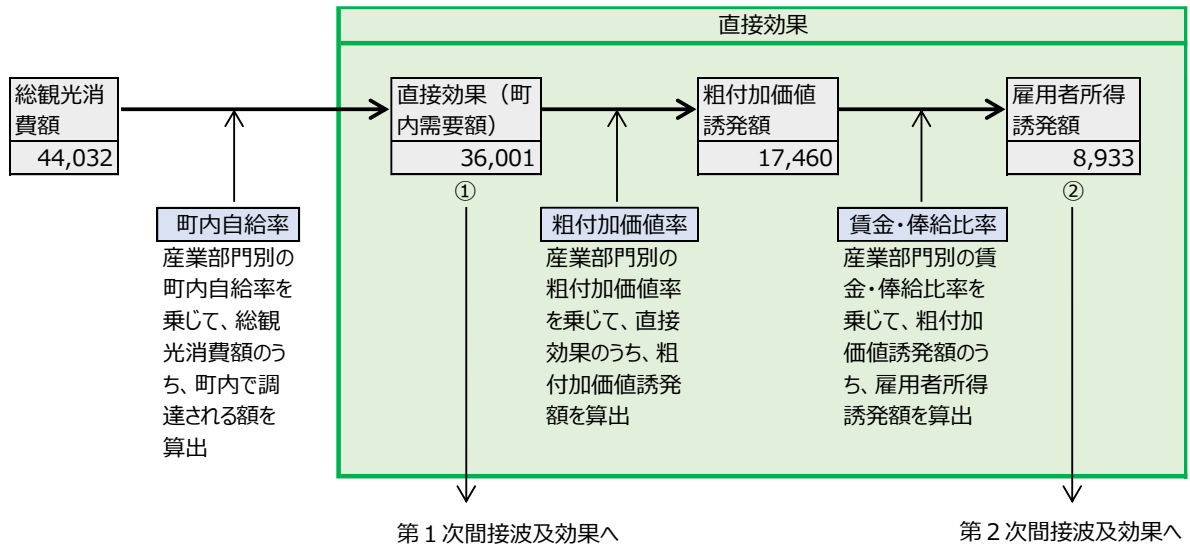


図6-13 直接効果の推計フロー（令和6年・単位：百万円）

直接効果（町内需要額）（360億1百万円）からの第1次間接波及効果は71億55百万円、粗付加価値誘発額は43億68百万円、雇用者所得誘発額は20億61百万円となっている。（図6-14）

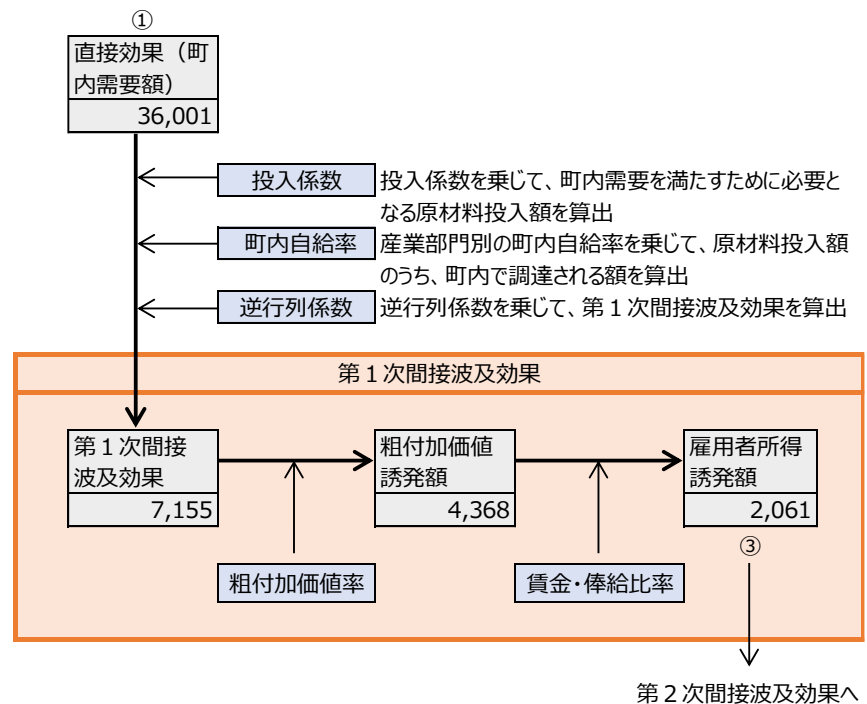


図6-14 第1次波及効果の推計フロー（令和6年・単位：百万円）

6章 観光消費による経済波及効果の把握

直接効果（町内需要額）の雇用者所得誘発額（89 億 33 百万円）と第 1 次間接波及効果の雇用者所得誘発額（20 億 61 百万円）からの第 2 次間接波及効果は 47 億 20 百万円、粗付加価値誘発額は 5 億 84 百万円、雇用者所得誘発額は 5 億 37 百万円となっている。（図 6－15）

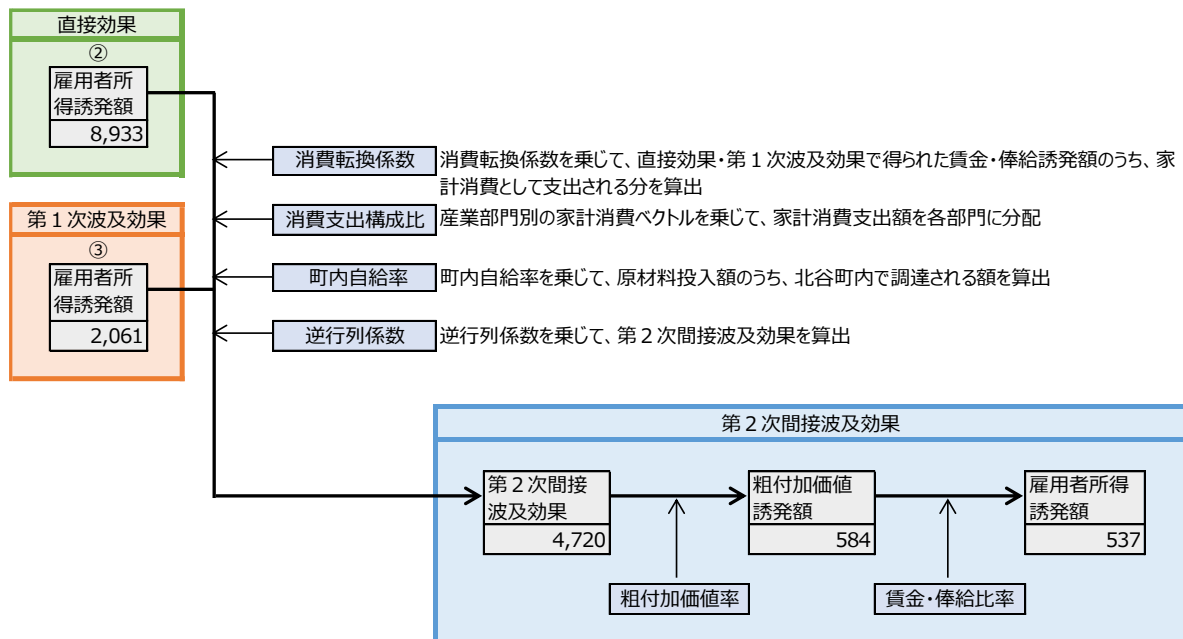


図 6－15 第 2 次波及効果の推計フロー（令和 6 年・単位：百万円）

令和 6 年の観光消費がもたらす経済波及効果（表 6－16）は、総額で 478 億 76 百万円となっている。内訳をみると、直接効果が 360 億 01 百万円、第一次間接波及効果が 71 億 55 百万円、第二次間接波及効果が 47 億 20 百万円となっており、経済波及効果を総観光消費額で除して求める波及倍率は、1.09 となっている。また、経済波及効果に伴う雇用誘発数は、5,106 人となっており、税収誘発額は、5 億円となっている。

表 6－16 観光消費による経済波及効果（令和 6 年）

	生産誘発額			雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	うち粗付加価値誘発額 (百万円)	うち雇用者所得誘発額 (百万円)		
総観光消費額	44,032	-	-	-	-
うち町内需要額	36,001	-	-	-	-
総合効果	47,876	22,412	11,532	5,106	500
直接効果（町内需要額）	36,001	17,460	8,933	3,966	383
第 1 次間接波及効果	7,155	4,368	2,061	733	95
第 2 次間接波及効果	4,720	584	537	407	22
波及倍率（総合効果/総観光消費額）	1.09				

居住地別（表6-17）に見てみると、県内観光客が23億29百万円、県外観光客が257億42百万円、訪日外国人観光客が198億05百万円となっており、県外観光客が最も多く、次いで訪日外国人観光客による経済波及効果が大きくなっている。

表6-17 居住地別 観光消費による経済波及効果（令和6年）

	総合効果				雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	直接効果 (百万円)	第1次間接 波及効果 (百万円)	第2次間接 波及効果 (百万円)		
県内観光客	2,329	1,756	330	243	257	25
県外観光客	25,742	19,362	3,841	2,540	2,731	269
訪日外国人観光客	19,805	14,884	2,984	1,937	2,118	206
合計	47,876	36,001	7,155	4,720	5,106	500

産業部門別（表6-18）に見てみると、「飲食サービス」が139億40百万円で最も大きく、次いで、「宿泊業」（101億87百万円）、「運輸・郵便」（68億68百万円）、「商業」（58億37百万円）、「不動産」（18億77百万円）の順となっている。

表6-18 産業部門別 観光消費による経済波及効果（令和6年）

	総合効果				雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	直接効果 (百万円)	第1次間接 波及効果 (百万円)	第2次間接 波及効果 (百万円)		
1 農林水産業	115	44	67	4	11	1
2 鉱業	0	0	0	0	0	0
3 製造業	845	365	408	72	68	6
4 建設業	78	0	61	17	5	1
5 電気・ガス・水道	318	0	291	27	24	3
6 商業	5,837	3,391	1,627	819	900	88
7 金融・保険	999	0	558	442	75	11
8 不動産	1,877	0	404	1,473	59	15
9 運輸・郵便	6,868	6,089	669	111	312	73
10 情報通信	339	0	244	96	14	3
11 公務	31	0	1	29	2	0
12 医療・保健・社会保障・介護	500	0	10	490	54	1
13 宿泊業	10,187	10,174	0	14	1,223	89
14 飲食サービス	13,940	13,461	196	283	1,673	144
15 娯楽サービス	1,925	1,731	41	154	231	19
16 その他サービス	3,927	746	2,498	682	455	45
17 その他	88	0	80	9	0	0
合計	47,876	36,001	7,155	4,720	5,106	500

3) 経済波及効果の大きさの検証

令和6年の観光消費がもたらす経済波及効果について、北谷町の経済活動への影響度を計るため、町内総生産等と比較し、その大きさを検証した。

2) で推計した令和6年の観光消費がもたらす経済波及効果のうち、雇用者所得や営業余剰（企業の利益）など、新たに創出された粗付加価値分を抽出すると、約224億12百万円となっている。これは、町内総生産（北谷町における1年間の経済活動全体の成果）とほぼ対応したもののとなっており、観光消費がもたらした付加価値が北谷町の町内総生産に占める割合により、北谷町の経済活動における影響度を推計することができる。

北谷町の町内総生産874億31百万円（2022（令和4）年度）のうち、観光消費がもたらす経済波及効果（図6-16）は約26%を占めており、大きな割合を占めている。

また、参考として、第2次那覇市観光基本計画より、那覇市の市内総生産と観光消費がもたらす経済波及効果（図6-16）をみると、那覇市の市内総生産1兆3,162億円（2021（令和3）年度）のうち、観光消費がもたらす経済波及効果は約15%となっている。北谷町（約26%）のほうが那覇市（約15%）よりも、観光消費による経済波及効果が大きな割合を占めており、北谷町にとっては、観光業が重要な産業であるといえる。

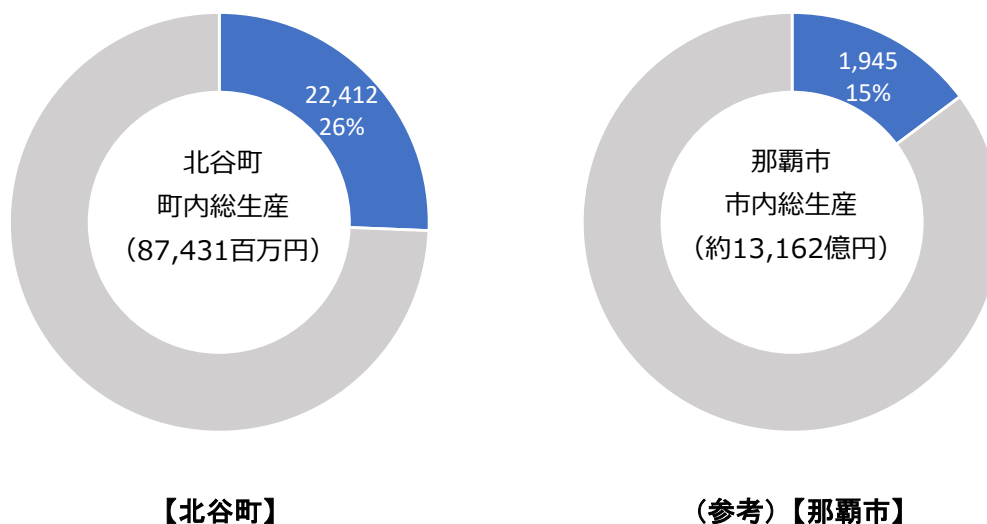


図6-16 域内総生産に占める観光消費による経済波及効果の割合

出典) 沖縄県「令和4年度沖縄県市町村民経済計算」
那覇市「第2次那覇市観光基本計画」

(3) 産業連関表を用いたシミュレーション分析

1) 観光消費による経済波及効果を高める方法

観光消費による経済波及効果を高める方法として、以下の3つの方法が考えられる。

1. 北谷町を訪れる「観光客数」を増加させる。
2. 北谷町における「1人あたり観光消費額」を増加させる。
3. 「町内自給率」を高め、北谷町内での取引を拡大させることで、お金が必要以上に域外に漏れることを防ぐ（地産地消の促進）。

上記の3手法については、どれか1つに取り組めばよいというわけではない。例えば、1の「観光客数」を増加させる施策のみに取り組んだ場合、オーバーツーリズムを招く恐れもあるためである。そのため、これら3つの手法については、バランスよく取り組むことで、経済波及効果の最大化を図ることが可能となる。

2) 北谷町において観光消費による経済波及効果を高める方法

北谷町の産業構造については、6-1(2)4)や6-2(1)2)でも記述のとおり、一次産業・二次産業がほとんどなく、新たな需要（生産）の波及先が限定されてしまっている。

そのため、3の「町内自給率」を高めるためには、新たな産業（一次産業や二次産業）の誘致が必要となるため、北谷町において観光消費による経済波及効果を高める方法として、3の「町内自給率」を高めることは現実的ではない。

これを踏まえると、1の「観光客数」を増加させること、および2の「1人あたり観光消費額」を増加させることにより、経済波及効果を高めることが現実的な方法として想定される。

そのため、以下においては、以下2パターンについて、シミュレーション分析することで、北谷町における観光消費による経済波及効果を高める方法の検証を行った。

6章 観光消費による経済波及効果の把握

2) シミュレーション分析①

○ 外国人をターゲットにした観光施策の実施により、訪日外国人観光客数が20%増加した場合の経済波及効果（表6-19、表6-20）

表6-19 居住地別・費目別の総観光消費額の増減額①

（百万円・年）	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	143	980	119	166	555	140	2,103
県外観光客	5,419	7,075	2,908	762	6,211	873	23,249
訪日外国人観光客	5,534	6,487	2,774	964	6,535	122	22,417
合計	11,096	14,543	5,801	1,892	13,300	1,136	47,768

（百万円・年）	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	0	0	0	0	0	0	0
県外観光客	0	0	0	0	0	0	0
訪日外国人観光客	+922	+1,081	+462	+161	+1,089	+20	+3,736
合計	+922	+1,081	+462	+161	+1,089	+20	+3,736

表6-20 シミュレーション結果と経済波及効果の増減額①

	生産誘発額			雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	うち粗付加価値誘発額			
		(百万円)	うち雇用者所得誘発額 (百万円)		
総観光消費額	47,768	-	-	-	-
うち町内需要額	38,978	-	-	-	-
総合効果	51,837	24,265	12,479	5,530	541
直接効果（町内需要額）	38,978	18,901	9,664	4,296	415
第1次間接波及効果	7,752	4,732	2,233	794	102
第2次間接波及効果	5,107	632	581	440	24
波及倍率（総合効果/総観光消費額）	1.09				

	生産誘発額			雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	うち粗付加価値誘発額			
		(百万円)	うち雇用者所得誘発額 (百万円)		
最終需要額	+3,736	-	-	-	-
うち町内需要額	+2,977	-	-	-	-
総合効果	+3,961	+1,853	+947	+424	+41
直接効果（町内需要額）	+2,977	+1,441	+731	+329	+31
第1次間接波及効果	+597	+364	+172	+61	+8
第2次間接波及効果	+387	+48	+44	+33	+2

3) シミュレーション分析②

○ 買い物需要を喚起する施策の実施により、土産物需要が20%増加した場合の経済波及効果
(表6-21、表6-22)

表6-21 居住地別・費目別の総観光消費額の増減額②

(百万円・年)	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	143	980	119	166	665	140	2,213
県外観光客	5,419	7,075	2,908	762	7,453	873	24,491
訪日外国人観光客	4,612	5,406	2,312	803	6,535	102	19,770
合計	10,174	13,461	5,339	1,731	14,653	1,116	46,474

(百万円・年)	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客	0	0	0	0	+111	0	+111
県外観光客	0	0	0	0	+1,242	0	+1,242
訪日外国人観光客	0	0	0	0	+1,089	0	+1,089
合計	0	0	0	0	+2,442	0	+2,442

表6-22 シミュレーション結果と経済波及効果の増減額②

	生産誘発額			雇用誘発数 (人)	税収誘発額 (百万円)
	(百万円)	うち粗付加価値誘発額			
		(百万円)	うち雇用者所得誘発額 (百万円)		
総観光消費額	46,474	-	-	-	-
うち町内需要額	36,837	-	-	-	-
総合効果	48,997	23,030	11,872	5,247	515
直接効果（町内需要額）	36,837	17,968	9,215	4,081	396
第1次間接波及効果	7,301	4,460	2,103	747	96
第2次間接波及効果	4,859	602	553	419	23
波及倍率（総合効果/総観光消費額）	1.05				

	生産誘発額	うち粗付加価値誘発額		雇用誘発数	税収誘発額
	(百万円)	(百万円)	うち雇用者所得誘発額 (百万円)		
最終需要額	+2,442	-	-	-	-
うち町内需要額	+836	-	-	-	-
総合効果	+1,121	+618	+340	+141	+15
直接効果（町内需要額）	+836	+509	+282	+115	+13
第1次間接波及効果	+146	+93	+42	+14	+2
第2次間接波及効果	+139	+17	+16	+12	+1

7章 調査結果の利活用に向けた成果報告会の開催

本章では、調査結果を町内の観光事業者等の関係者に報告した際の実施概要と関係者からの意見を整理している。

7-1 中間報告会

(1) 第1回開催概要

中間報告会（第1回）の開催概要は下表（表7-1）の通り。

表7-1 中間報告会（第1回）の開催概要

開催日時	令和6年12月23日（月） 13:00～14:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面＋WEB）
開催場所	北谷町商工業等研修施設（ホール）
内容	◆資料説明 ①観光統計調査の整理 ②国内観光客に係る調査 ③国外観光客に係る調査 ④観光客満足度・消費動向調査 ⑤口コミによる観光地評価 ⑥観光消費による経済波及効果 等 ◆質疑応答
参加者数	【対面参加】：6名 【WEB参加】：0名 計6名

(2) 第1回質疑応答

参加者からの質問・意見等はなかった。

(3) 第2回開催概要

中間報告会（第2回）の開催概要は下表（表7-2）の通り。

表7-2 中間報告会（第2回）の開催概要

開催日時	令和6年12月23日（月） 15:00～16:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面＋WEB）
開催場所	北谷町商工業等研修施設（ホール）
内容	◆資料説明 ①観光統計調査の整理 ②国内観光客に係る調査 ③国外観光客に係る調査 ④観光客満足度・消費動向調査 ⑤口コミによる観光地評価 ⑥観光消費による経済波及効果 等 ◆質疑応答
参加者数	【対面参加】：2名 【WEB参加】：3名 計5名

(4) 第2回質疑応答

参加者からいただいた質問とそれに対する回答は下表（表7-3）の通り。

表7-3 質疑応答

質問①	・国内の宿泊客数は増えている実感を持っていたが、19ページの報告では減っているとのことだった。この点、何か理由等がわかれば教えていただきたい。
回答①	・日本人の宿泊客数の減少幅が大きい点については、集計の誤りがないか確認作業を行っている。最終報告会で、日本人宿泊客数の確定値を示せればと思う。
質問②	・沖縄県などの調査では、年度で整理することが多い一方、今回の集計は1月から12月で集計しているのはなぜか。関係者に説明する際、集計期間がそろっていたほうが望ましいと感じている。
回答②	・年と年度で整理する予定だが、中間報告では年のみを提示していた。最終報告会では、年度の結果について報告できればと思う。
質問③	・観光協会の会員から聞いている内容や実感と比べると、宿泊者数の結果にギャップを感じる。（宿泊施設タイプ別の集計値で示されているような）県外観光客のリゾートホテル宿泊割合の減少による影響とは考えにくい。県の観光DX調査でも宿泊者数が落ち込んでいるため、原因を明らかにしていただきたい。
回答③	・宿泊客数について、現在精査中だが、統計調査のデータを見ると、減少傾向が県内の他の市町村で想定される。だとしても、北谷町における宿泊客数の減り幅が大きいので、改めて見直す。
質問④	・性別構成比は、女性のほうが多いとのことだったが、他の調査では男性が多い。この違いは何か。
回答④	・県の観光DX調査はブログウォッチャー社のデータを用いている一方、今回の中間報告ではAgoop社のデータを用いており、この違いが考えられる。
意見①	・データの違いによって分析結果が反転したのだとすると、施策の検討・判断がしにくいのではないかと。
質問⑤	・観光客の居住地の判別はどのように行っているのか。
回答⑤	・夜間に頻度高く観測される地点を、居住地として判定している。
質問⑥	・これまでは福岡県が来訪者居住地ランキング5位だったが、今年は6位等に位置しているのか。ランキング構成に大きな変化はないか。
回答⑥	・順位の入れ替えはあるものの、大きな変化は生じにくいと想定している。
意見②	・最終報告ではランキングの10位くらいまで掲載してほしい。
質問⑦	・情報サービスの満足度が相対的に低いとのことだが、情報サービスとは何を指すのか。（情報発信内容が悪いのか等）質問項目の意図を教え

	てほしい。
回答⑦	・情報の内容の充実さについて質問していた。
質問⑧	・情報の内容の充実さというのは、北谷町に着いてからの情報についてか、それとも Web に掲載している情報についてか。
回答⑧	・情報内容の充実さについて、ざっくりとした設問となっている。
意見⑨	・具体的にどこを改善すればいいのかわからないので、判断しにくい内容となっている。
回答⑨	・現状調査紙面に掲載できる質問数の制約上、具体的な内容について聞けていないが、今後、情報サービスの改善項目に焦点をあてて、アンケート項目を代わりに設けてもよいと考えている。この点は北谷町と協議し、判断したい。
意見⑩	・最終報告会での掲載内容について、観光協会の会員に聞き取りを行ったうえで、掲載内容を検討してはどうか。観光協会としては旅前の観光情報収集に関する集計をいれるべきと考えている。
回答⑩	・アンケートの質問設計で改善すべき点かと思う。今後把握できるよう検討する。

7-2 最終報告会

(1) 第1回開催概要

最終報告会（第1回）の開催概要は下表（表7-4）の通り。

表7-4 最終報告会（第1回）の開催概要

開催日時	令和6年2月26日（水） 13:00～14:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面＋WEB）
開催場所	北谷町美浜メディアステーション（IT研修室）
内容	◆資料説明 ①観光統計調査の整理 ②国内観光客に係る調査 ③国外観光客に係る調査 ④観光客満足度・消費動向調査 ⑤口コミによる観光地評価 ⑥観光消費による経済波及効果 等 ◆質疑応答
参加者数	【対面参加】：9名 【WEB参加】：4名 計13名

(2) 第1回質疑応答

参加者からいただいた質問とそれに対する回答は下表（表7-5）の通り。

表7-5 質疑応答

質問①	・P41の県外居住者の滞在・周遊状況で、那覇空港が出てくるが、那覇空港は観光スポットとしてカウントしているのか。
回答①	・今回の調査では、人が長時間滞在しているところを観光スポットとして定義している。どういった理由で長く滞在していたかは、わからないが、那覇空港でも滞在が見られたため、観光スポットとしている。
質問②	・「長時間」というのは、先ほど冒頭でおっしゃっていた「8時間」程度という認識でよいか。
回答②	・「8時間」は観光庁による定義である。8時間だと長すぎて、ほとんどの方が町外に出ていないことになってしまうため、今回は、エリアの中で15分程度滞在している場合を「観光」と定義している。
質問③	・P61において、「情報サービス」に不満を持たれている方が多いということだが、「情報サービス」とは具体的にどういったものか。
回答③	・基本的には「情報発信」を意図している。昨年も同様の傾向にあり、12月の中間報告会でも同様のご質問をいただいた。現状では、「情報サービス」というざっくりした形での設問になってしまっているが、2年連続で同様の傾向が出ているため、少なからず改善の余地があると想定されるため、来年以降に同様の調査があった場合には、深掘り

	する調査が行えるとよい。
質問④	・「情報サービス」について、どのように設問を設定しているのか。
回答④	・北谷町における観光について、各項目について満足度を5段階で伺っている。
質問⑤	・P36の観光スポット間の周遊状況のデータの出典は何か。
回答⑤	・P12において、使用データを整理しているが、日本人は、Agoopが販売しているGPSデータ、外国人は、Aziraという会社のGPSデータを使用している。
質問⑥	・P40の比率は、大きくても3%程度で、大した差がないように見えるがいかがか。
回答⑥	・ここでは、県内全域の観光スポットの中で、北谷町ではどこを訪れているのかを分析しており、県内全域で見ているという特性上、分散傾向になってしまっている。
質問⑦	・観光客の定義について、観光地に訪れている県内客も「観光客」として定義しているということか。
回答⑦	・そのとおりである。県内客であっても、特定のスポットに訪れて、長く滞在しているということで、観光客としてみなしている。事業者によってターゲットは異なるかと思うが、今回の分析では、県内客・県外客・インバウンドの3分類の特徴が見えるように分析している。
質問⑧	・「長く」滞在している人ということだが、具体的に何時間くらいか。
回答⑧	・長く滞在するスポットもあれば、それほど長く滞在しないスポットもあるかと思い、スポットによって滞在時間の基準を変えている。各エリアごとに、来訪者の平均滞在時間を算出し、その平均滞在時間よりも長く滞在していた方を「観光客」と定義している。
質問⑨	・平均滞在時間の一覧表は、報告書に掲載されるのか。
回答⑨	・報告書に掲載予定である。
質問⑩	・シーポートちやたんカーニバルのイベント分析について、この時期はサマーシーズンで、観光客が増える時期のため、このイベントがあったから訪れたという断定ができないと思うがいかがか。エリア設定も北谷町全体ではなく、イベントを行っているエリアに限定したほうがよいのではないか。
回答⑩	・エリア設定を含め、ご指摘いただいたところまで深化できていなかったため、分析を見直してまいりたい。 ・中日ドラゴンズの春季キャンプについてもそうだが、まずは北谷町に宿泊した方の状況を探るという観点から、広いエリア設定としていた、今後エリアを絞って、見ていければと思っている。
意見①	・イベント分析を行うのであれば、どこから訪れていて、誰に波及効果があったかを明らかにすべきではないか。

(3) 第2回開催概要

最終報告会（第2回）の開催概要は下表（表7-6）の通り。

表7-6 最終報告会（第2回）の開催概要

開催日時	令和6年2月26日（水） 15:00～16:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面＋WEB）
開催場所	北谷町美浜メディアステーション（IT研修室）
内容	◆資料説明 ①観光統計調査の整理 ②国内観光客に係る調査 ③国外観光客に係る調査 ④観光客満足度・消費動向調査 ⑤口コミによる観光地評価 ⑥観光消費による経済波及効果 等 ◆質疑応答
参加者数	【対面参加】：3名 【WEB参加】：7名 計10名

(4) 第2回質疑応答

参加者からいただいた質問とそれに対する回答は下表（表7-7）の通り。

表7-7 質疑応答

質問①	・P17において、北谷町の観光客数が、2019年に比べて半減している一方で、P7にも示されているように、沖縄県全体ではコロナ禍前の水準まで回復傾向にあるということで、実態との乖離を感じるが、どういった要因が考えられるか。
回答①	・P17については、県内観光客のデータのため、大きな減少となっているが、県外客数についても、微減となっており、北谷町に立ち寄る観光客数が減少してしまっていることが想定される。 ・沖縄県でも別の会社のGPSデータを用いて、同様の分析を行っているが、同じような分析結果となっているため、「沖縄県に来る方は増えているが、滞在日数が減ってきており、そうした中で滞在する場所として北谷町が選ばれにくくなっている」ということが類推される。
質問②	・国内客が減少し、インバウンドが増加するという統計結果となっている。この結果を受けて、北谷町として、国内向けに観光施策を行うのか、国外向けに観光施策を行うのか、どのようにお考えか。 ・また、2026年度から宿泊税が導入予定だが、この結果を受けて、宿泊税の利用用途が決まっていれば教えていただきたい。
回答②	・結果が出たばかりで、内部で検討ができているわけではないため、すぐにご回答は難しい。ただ、この調査において、美浜エリアの宿泊事

	業者にお話しを伺ったところ、インバウンドが来てくれているおかげで、宿泊単価が高いにも関わらず、売上が確保できているとのことだった。この辺りについては、地域の事業者様と話し合いながら、どういったブランディングをしていくかを検討していきたい。 ・宿泊税の用途についても、現段階ではご回答が難しい。こちらについても、この調査の結果を受けて、どういった用途に利用していくかを検討してまいりたい。
質問③	・インバウンドについて、日本全体ではコロナ前の水準まで戻ってきている一方で、沖縄県は、コロナ前の水準まで戻っておらず、特に中国人の戻りが悪いというところで、飛行機の便数が回復していないから、観光客数も回復していないのか、それとも、沖縄に対する需要が変化してきているため、回復していないのか、どういった原因が考えられるか。
回答③	・さまざまな要因が考えられ一概には言えないが、中国人の所得の減少も一因と考えられる。また、中国人も体験を求めるようになってきているというところで、トレンドの変化も見られる。



図7-1 最終報告会（第1回）のようす

資料編

資料編 1. 観光客アンケートに使用した調査票

北谷町観光客満足度等に関するアンケート調査

本アンケート調査は、北谷町の観光満足度向上に向けた取り組みを行うために実施しています。本調査の結果は、他の目的に使用しません。アンケート調査へのご協力よろしくお願いします。

問 1. あなたの性別、年齢を教えてください。(性別、年代それぞれ一つだけ選択)

性 別	1. 男	2. 女	3. 答えたくない				
年 齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上

問 2. お住まいを教えてください。(一つだけ選択)

1. 沖縄県内:市町村名 ()	2. 沖縄県外:都道府県名 ()
3. 国外:国/地域 ()	

問 3. 何人で旅行していますか。(一つだけ選択)

1. ひとり ⇒ 問 5へ
2. 自分を含めて () 人 ⇒ 問 4へ

問 4. どのようなグループで旅行していますか。(該当するものを全てを選択)

1. 夫婦・カップル	2. 家族(子連れ)	3. その他家族(両親・姉妹など)	4. 友人・知人
5. 職場関係	6. サークルや同好会	7. その他 ()	

問 5. 沖縄県および北谷町の訪問回数を教えてください。(それぞれ一つだけ選択)

沖縄県への訪問	1. 初めて	2. 2回	3. 3回	4. 4回	5. 5~9回	6. 10~19回	7. 20回以上
北谷町への訪問	1. 初めて	2. 2回	3. 3回	4. 4回	5. 5~9回	6. 10~19回	7. 20回以上

問 6. 今回の沖縄旅行の宿泊数と、そのうち北谷町の宿泊数は何泊ですか。日帰りの場合は滞在時間をお答えください。(それぞれ一つだけ選択)

沖縄旅行の泊数
(1. 日帰り 2. 1泊 3. 2泊 4. 3泊 5. 4泊 6. 5泊 7. 6泊 8. 7泊以上)
そのうち北谷町の泊数
(1. 日帰り 2. 1泊 3. 2泊 4. 3泊 5. 4泊 6. 5泊 7. 6泊 8. 7泊以上)
日帰りの場合 (1. 1時間未満 2. 1~2時間未満 3. 2~3時間未満 4. 3時間以上)

問 7. 北谷町内で宿泊される方にお聞きます。宿泊するホテル形態を教えてください。(一つだけ選択)

1. リゾートホテル	2. シティホテル	3. ビジネスホテル	4. 民宿	5. ドミトリー
6. 民泊	7. グランピング	8. その他 ()		

問 8. 北谷町訪問の主たる目的を教えてください。(該当するものを全てを選択)

1. 観光地めぐり 2. 保養・休養 3. 海水浴・マリンレジャー(シュノーケル含む)				
4. スキューバダイビング 5. ゴルフ 6. 釣り 7. スパ・エステ 8. スポーツ大会等				
9. エコツアー(生物観察、トレッキング、カヌー・カヤック等) 10. 伝統工芸・芸能体験				
11. ショッピング 12. 戦跡地参拝 13. 沖縄料理を楽しむ 14. イベント 15. 伝統行事				
16. コンサート 17. 新婚旅行 18. ウェディング 19. 帰省・親戚等の訪問				
20. 友人・知人の訪問 21. 会議・研修 22. 仕事 23. ワークেশン				
24. プロスポーツキャンプ見学 25. 空手 26. その他()				

問 9. 北谷町まで主にどのような移動手段で来たかを教えてください。(一つだけ選択)

1. レンタカー	2. マイカー	3. 友人・知人のクルマ	4. 路線バス	
5. タクシー	6. シェアサイクル	7. 電動キックボード	8. 自分の自転車	9. 徒歩
10. その他 ()				

問 10. 北谷町内での主な移動手段を教えてください。(一つだけ選択)

1. レンタカー	2. マイカー	3. 友人・知人のクルマ	4. 路線バス	5. 自動運転バス
6. タクシー	7. シェアサイクル	8. 電動キックボード	9. 自分の自転車	10. 徒歩
11. その他 ()				

～アンケートは裏面に続きます～

問11. 北谷町内の観光情報収集にあたって利用したツールなどがあれば教えてください。(該当するものを全て選択)

1. 雑誌(雑誌名: _____) 2. パンフレット 3. 観光案内所 4. テレビ・ラジオ
 5. SNS (Facebook、X (旧: Twitter) Instagram など) 6. YouTube などの動画サイト
 7. 観光 WEB サイト(北谷町観光協会サイトなど) 8. その他(_____)

問12. 今回、北谷町内での消費額について教えてください。(総額を記入、これから観光する方は予算総額を記入)

宿泊費	円	飲食費	円
交通費	円	娯楽・入場料	円
お土産・買物	円	その他	円
北谷町内での概ねの消費額の合計			円

問13. 今回の北谷町内における観光の満足度について教えてください。

(それぞれ一つだけに○、これから観光する方は無記入)

	満足 (すばらしい)	やや満足 (よい)	普通(平均)	やや不満 (よくない)	不満 (悪い)
ア) 宿泊等について	5	4	3	2	1
イ) 飲食等について	5	4	3	2	1
ウ) ショッピングについて	5	4	3	2	1
エ) 娯楽・イベントについて	5	4	3	2	1
オ) 情報サービスについて	5	4	3	2	1
カ) 総合満足度について	5	4	3	2	1

※上記で「やや不満」「不満」と回答した方へお聞きします。不満な理由を教えてください

問14. 北谷町へ再び訪問したいと思いますか? (一つだけ選択)

1. 是非訪問したい 2. 機会があれば訪問したい 3. あまり訪問したいと思わない 4. 訪問したくない

訪問したい理由(1~2を選んだ方)(該当するものを全て選択)

1. 宿泊施設が良いから 2. 飲食店の料理がおいしいから
 3. 飲食店が充実しているから 4. ショッピング施設が充実しているから
 5. イベント、アクティビティが豊富だから 6. 海や自然が美しいから
 7. 街の景観が良いから 8. 観光・施設情報等がインターネットで調べやすいから
 9. その他(_____)

訪問したくない理由(3,4を選んだ方)

問15. 北谷町を友人・知人にどの程度お勧めしたいか教えてください。(一つだけ選択)

全く思わない	どちらともいえない										非常にそう思う
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

北谷町を友人・知人に勧めたい要素(6~10を選んだ方)(該当するものを全て選択)

1. 宿泊施設の良さ 2. 飲食店の料理の良さ
 3. 飲食店の充実度 4. ショッピング施設の充実度
 5. イベント、アクティビティの豊富さ 6. 海や自然の美しさ
 7. 街の景観の良さ 8. 観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ
 9. その他(_____)

勧めたくない理由(0~4を選んだ方)

～ 質問は、以上になります。調査にご協力ありがとうございました。～